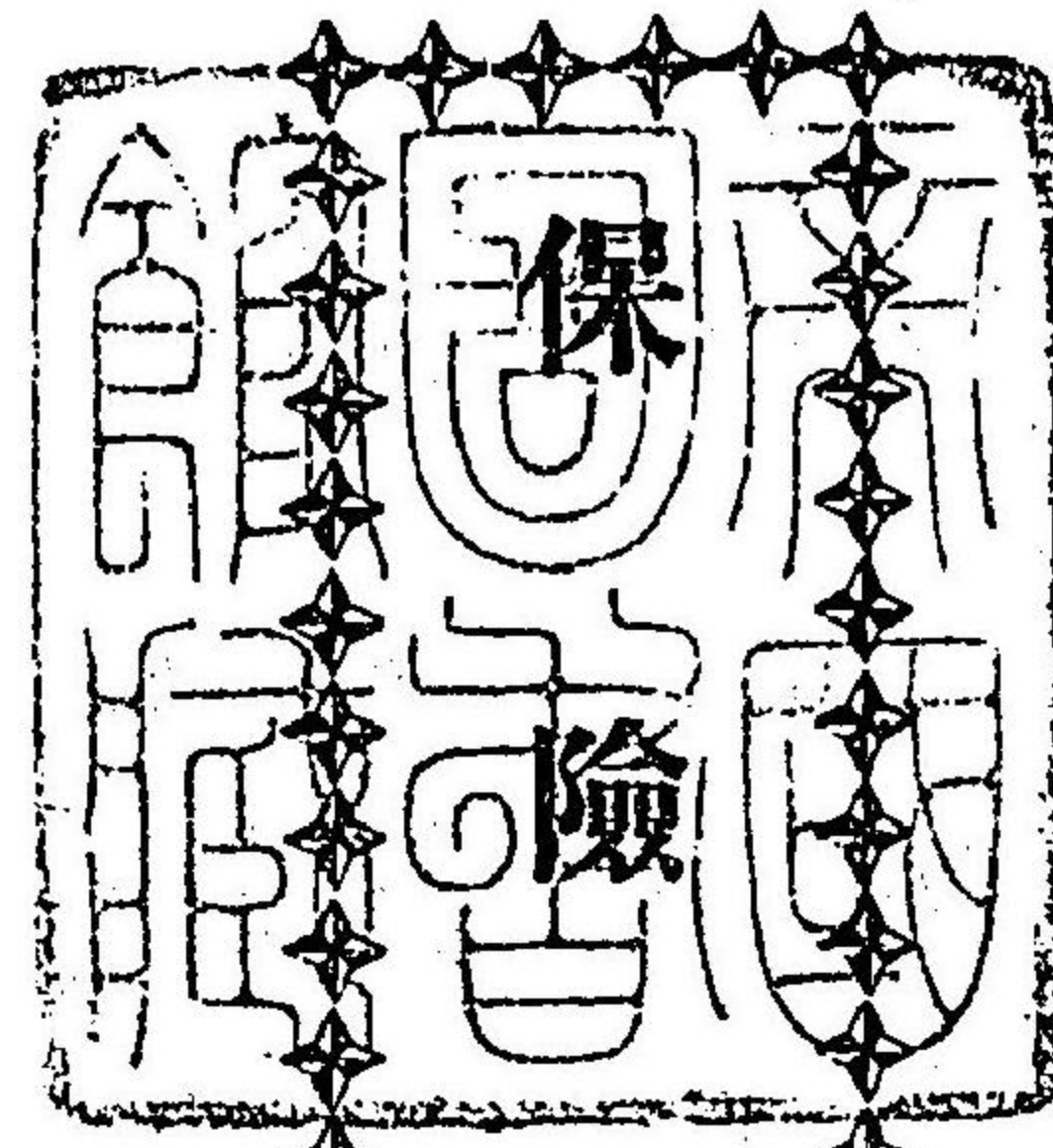


11

法學士 馬場 愿 治 講 述



法

完

東京法學院



保險法

目次

第一編 總論	一
第一章 保險法ノ發達	同
第二章 保險契約ノ定義	一
第三章 保險契約ノ性質	一五
第四章 被保險利益	三三
第五章 危險	四六
第一節 危險ノ性質	同
第二節 危險ノ範圍	四八
第六章 保險料	五七
第七章 保險ノ種類	六九

第一節	重複保險	六九丁
第二節	不足保險	七五丁
第三節	超過保險	七八丁
第四節	再保險	七九丁
第八章 保險證券		
第一節	保險證券ノ性質	八三丁
第二節	保險證券ニ記載ス可キ條件	同 丁
第三節	保險證券ノ種類	八五丁
第一款	記價保險證券、不記價保險證券	八八丁
第二款	指簡式保險證券、無記名式保險證券	同 丁
第三款	航期保證證券、時期保險證券及混同保險證券	八九丁
第四款	終身保險證券、年期保險證券	九一丁
第四節	保險證券ノ解釋	九二丁
		九三丁

第九章 當事者及代理人		
第一節	當事者	九五丁
第二節	代理人	同 丁
第十章	虛陳及默秘	九八丁
第一節	虛陳	一〇四丁
第二節	默秘	同 丁
第十一章	保險契約ノ移轉	一一三丁
第十二章	損失ノ賠償	一一八丁
第十三章	相互ノ保險會社	一二五丁
第十四章	保險營業	一三六丁
第二編 各種ノ保險		
第一章 海上保險		
第一節	海上保險ノ目的物	一三九丁
第二節	被保險物ノ價格	一四五丁
		同 丁
		一四六丁
		一五六丁

第三節	海上ノ危険	一六〇丁
第四節	損失ノ補償	一六五丁
第五節	保険契約ノ解除	一八〇丁
第六節	保険料ノ増減	一八二丁
第七節	委棄	八一六丁
第一款	委棄ノ性質	同 丁
第二款	委棄ヲ爲シ得ヘキ場合	一八七丁
第三款	委棄ノ効果	一九四丁
第二章	火災保険	一九七丁
第一節	火災保険ノ沿革	同 丁
第二節	火災保険ノ性質	二〇二丁
第三節	被保険利益	二〇三丁
第四節	危険	二〇七丁
第五節	損失ノ賠償	二一〇丁

四

第三章	土地ノ產物ノ保險	二一五丁
第四章	運送ノ保險	二一八丁
第五章	生命保險	二二三丁
第一節	生命保險ノ沿革	同 丁
第二節	生命保險ノ性質	二二八丁
第三節	被保險利益	二三三丁
第四節	保険契約ノ無効及解除	二四〇丁

保險法目次終

保險法目次

三

# 保險法

法學士 馬場 愿 治 講義  
卒業生 寺島 元 重 編輯

總論  
保險法ノ  
發達

## 第一編

### 總論

#### 第一章 保險法ノ發達

凡ソ保險法ノ目的ニ不慮ノ事變若クハ不測ノ事故ニ因リテ發生スル所ノ損害ヲ賠償スルニ在リ從テ保險ノ目的物ト爲ルモノハ極メテ廣汎ニシテ如何ナル財產タルヲ問ハス又何等ノ事業タルヲ擇ハス苟モ不慮ノ災害ニ遭遇スルノ虞アルモノハ悉ク之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ヘシ通常保險ナルモノハ火災、生命及海上ノ三種ニ止マルカ如シト雖モ決シテ此三種ニ限ル可キモノニ非ス我商法ニ於テハ尙ホ農產物ニ對スル保險ノ規定ヲ爲セリ其他歐米諸國ノ實例ニ徵スルニ或ハ僕婢ノ忠實ヲ保險ニ付シ或ハ雇主ノ資力ニ付キテ保險契約ヲ取結フモノアリ歐米ニ於テハ火災、生命及海上ノ保險ハ勿論熾ニ行ハレ其他數種ノ保險モ亦甚ク能ク

行ハル而モ尙ホ保險法學者ハ保險ノ行ハル、區域ノ狹隘ナルヲ歎シ一層其區域ヲ擴張セハ更ニ莫大ナル利益ヲ見ル可キコトヲ論セリ

保險法ナルモノハ素ト商業上ノ必要ニ因リ自然ニ發達セルモノニシテ立法者ノ考案ニ依リテ作成セラレタルモノニ非ス從テ其起源ハ如何ナル時代ニ發生セルヤ甚タ明確ナラス唯タ最初ニ海上保險ノ形體ヲ以テ發生シ火災及生命其他ノ保險ノ如キハ後世此海上保險ニ模擬シテ發達シタルモノナルコトハ爭フ可カラサル事實ヲリ今試ニ保險法ノ起源ヲ考フルニ其濫觴ハ決シテ古キモノニ非ス太古歐羅巴地中海ノ海岸ニハ海上ノ商業熾ニ行ハレタルモ其當時保險ナル有益ノ機關ヲ利用シテ商業ヲ保護シタル邦國ナカリシハ明カナリ今日ノ思想ヲ以テ考フレハ保險ノ機關ナシテ海上商業ノ熾ニ行ハレタルハ實ニ意想ノ外ニ在リテ殆ント信用スルヲ得サルノ感ナキ能ハス降テ中世ノ終ニ至リ學術技藝ノ復古商業再興ノ時代アリシカ其當時ニ於テモ保險ノ思想ハ未タ其萌芽タモ發生セザリキ現ニ此時代ニ於テ最モ有名ナル「オレゴン」ノ法律及「ハンシヤ、チン、アツンシエー」ヨシノ法律ヲ見ルモ一モ保險ニ關スル規定アルコトナシ果シテ然ラハ保險法ハ古

代ニ起リタルモノニ非サルコトヲ明言スルモ大過ナカル可シト信ス更ニ降テ第十五世紀ニ至リ始メテ保險ノ事項ヲ規定セル法典ヲ見ルニ至レリ紀元一千四百三十五年ノ「バルスロー」ノ法令即チ是ナリ歐羅巴ニ於テ通常人ノ唱道スル所ニ依レハ保險法ノ濫觴ハ第十四世紀ノ終ニ當リ「バル」海ノ一小島ニ於テ編成シタル「ウエスピ」ノ法律ナリトシ又佛蘭西ノ或學者ノ主張スル所ニ依レハ中古ノ宗教法ハ冒險貸借ヲ以テ高利ノ貸借ナリト看做シ斷然之ヲ禁止セリ然ルニ一千二百二十七年頃ヨリ一千二百三十四年頃ノ間ニ於テ此禁制ヲ免カレンカ爲メニ保險契約ヲ發生シタルナリトセリ然リト雖モ斯法ノ起源ニ付テハ學者ノ間異說紛々トシテ未タ其眞否如何ヲ明知スルコト能ハサルナリ

保險法ニ關シテ今日ニ傳ハレル書籍中最モ古キモノハ「ル」ギボソ」ト稱スル佛語ノ法律書ナリ此著書ニ依レハ保險法ハ第十六世紀ニ在リテ業既ニ完全ナル一科ノ學術ト爲リシコト明白疑フ可カラサル事實ナリトス何トナレハ此著書ニ於テハ數多ノ原則及數多ノ判決例ヲ掲載セルノミナラス其體裁亦頗ル整然タル秩序ヲ具備スレハナリ

英吉利ニ於テ海上保險ノ發達セル事跡ヲ按スルニ同國法廷カ保險事件ニ付キテ下シタル判決ノ最古ノモノニシテ今日吾人ノ知ル所ノモノハコーン氏ノ判決録ニ掲載セルモノ是ナリ而シテ此事件ハエリザベス女王ノ第三十一年ニ判決セラレタルモノナリ斯ノ如ク既ニ判決例アル以上ハ其當時保險事業ノ實際ニ行ハレ保險法モ亦存在セルコト明瞭ナリト謂ハサル可カラス且ツ該判決例ニ依レハ當時法律學者并ニ有識ナル商人ニ於テ大ニ保險ノ有益ナルヲ感シタルモノ、如シエリザベス女王ハ即位第四十三年ニ於テ保險ヲ獎勵スルカ爲メニ一ノ法律ヲ制定シ且ツ保險ニ關スル特別裁判所ヲ設置セリ然レトモ一千二百六十五年頃マテハ實際上保險法ヲ適用スルノ必要ヲ見ルコト稀ナリシ「ミストル」フワーグ氏ノ報告ニ依レハ一千七百五十六年ニ至ルマテニ保險ニ關スル訴件ハ僅々四十件ニ過キスト言ヘリ以テ其頃マテハ保險事業ノ盛大ナラサリシヲ察知ス可シ然ルニ一千七百六十二年ニ至リテ保險ニ關スル判決例頗ニ増加シ當時最モ有名ナリシ「ロイド」マンスフサールド氏カ法廷ニ於テ十年間ニ判決セル所ノ保險事件ハ非常ニ多數ニシテ保險ニ關スル法理ハ實ニ氏ニ依リテ發達シタリ氏一人ノ下シタル判

決例ヲ學術的ニ排列セハ殆ント完全ナル一ノ保險法ヲ見ルニ至ラン以上ハ海上保險ニ關スル歴史ノ大要ナリ是ヨリ更ニ火災保險ノ起源ヲ討スルニ既ニ一言ナル如ク火災保險ハ海上保險ニ準據シテ發達セルナリ然レトモ古代ニ在リテハ不幸ニモ立法者及世人ニ冷遇セラレタリ何トナレハ若シ此保險契約ヲ許ストキハ財産焼失スルモ損害ヲ免カル、コトヲ得ルカ故ニ從テ財産所有者ノ不注意ヲ惹起シ援ヒテ財産ノ増殖ヲ妨ケ一般ノ公益ヲ害スルニ至ルヲ恐レタレハナリ佛國ノボチエ氏ハ其著保險論ノ中ニ於テ一千七百五十二年マテ巴里ニハ火災保險ナルモノ輸入セラレヌ該保險契約ハ全ク無効ノモノト看做シ同年始メテ海上保險會社ハ火災ニ付テモ保險契約ヲ締結スルコトヲ許サレ且ツ此著書ヲ刊行スル當時ニ於テモ火災保險契約ヲ取結フ者極メテ僅少ナルコトヲ明言セリ然ルニ英國ハ佛國ヨリ遙カ以前ニ火災保險業ニ行ハルマーシャル氏ノ保險論ニ依レハ一千八百二年ヨリ遙カ以前ニ於テ火災保險ハ業ニ行ハレ又當時ノ法律ハ該保險ヲ獎勵セサルノミナラス寧ロ之ヲ制限スルノ精神ヲ以テ保險營業者ニ重稅ヲ賦課シタルニモ拘ハラヌ該保險ハ一般ニ行ハレタルコト明カナリ今日ニ於

ケル歐米人ノ意向ヲ察スルニ火災保險ヲ約シテ自己ノ財産ヲ保護セサルヲ以テ非常ナル不注意ト爲シ該保險ヲ以テ財産保護上最モ有益ナル機關ノ一トシ若シ此機關ヲ缺ケハ市町村ノ如キ無形人ノ發達及商業ノ發達ハ到底企圖ス可カラサルモノト認メリ古今思想ノ變遷洵ニ著キモノト謂ハサル可カラス

次ニ生命保險ノ發達如何ト云フニ既ニ一言セルカ如ク通説ニ依レハ保險ノ思想ハ「ウエスビー」ノ法律ニ於テ其萌芽ヲ發セリト雖モ是唯々海上保險ノミニ止マリ社會ノ進歩ニ伴ヒ其原則漸ク海上事業以外ニ適用セラレ而シテ之ヲ人ノ生命ニ適用スルニ至リシハ極メテ近世ノコトニ屬ス現ニ英國ニ於テモ一千六百四十年頃マテハ保險ノ原則ハ之ヲ生命ニ適用ス可キモノニ非ストノ判決ヲ爲セリ今其事實ヲ摘示センニ當時ハ未ダ獨立シタル生命保險會社ナルモノナカリシカ唯々航海事業ニ附從シテ生命保險ノ問題ヲ惹起シ即チ或船長カ或航海中其生命ヲ保險ニ付シタルニ此保險契約ハ有効ナリヤ否トノコト一ノ問題ト爲リ當時ノ裁判長ハ斯カル契約ニ法律上ノ効力ヲ附與ス可キモノニ非ストシテ原告ノ請求ヲ棄却シタリ然ルニ其後生命保險契約ヲ取結フ者漸次輩出シ裁判所ニ於テモ從來ノ

判決例ヲ翻シテ該保險契約ニ効力ヲ附與スルニ至レリ然レトモ其何レノ時代ニ生命保險契約ノ効力ヲ認メタルヤハ之ヲ明知スルコト能ハスアツシトノ氏ハ生命保險ノ有益ナルコトヲ説キ之ヲ獎勵スルニ勉メ且ツ生命保險會社ノ必要ナルコトヲ主張シテ曰ク元來生命保險ナルモノハ長久ノ時間ヲ要スルモノナルノミナラス從テ其資力モ亦確實ナルモノナラサル可カラズ故ニ之ヲ一個人ノ營業ト爲サンヨリモ會社事業ト爲スノ勝レルニ若カスト氏ハ實ニ生命保險ヲ獎勵シ且ツ之ヲ發達セシムル方案ヲ研究スルカ爲メニ殆ント其全力ヲ盡セリ而モ容易ニ効果ヲ見ルコト能ハサリシカ一千六百九十年ニ至リ偶然ニモ或一會社ヲシテ生命保險事業ヲ執リ行ハシムルコトヲ得多年ノ計畫始メテ其緒ヲ開キタリ今日吾人ノ家族又ハ鰥寡孤獨ノ爲メニ養料ヲ供給スルノ方法トシテ生命保險ノ熾ニ行ハルニ至リシハ實ニアツシトノ氏ノ力與ツテ効アリト謂ハサル可カラズ

今日ニ至リテハ諸國共ニ生命保險ノ熾盛ヲ見ルモ歐洲大陸ニ於テハ殆ント近世ニ至ル迄全ク不適法ノモノト認メ多クハ嚴格ナル法規ヲ以テ之ヲ禁止セリ佛國ノルイ第十四世ノ如キ即チ是ナリ然ラハ其不適法トシテ生命保險ヲ嚴禁セル理



由如何ト云フニ其理由タルヤ甚々單純ナリト謂ハサル可カラス即チ自由民ノ生命ハ奴隷ノ生命ト異ナリ金錢ヲ以テ計算シ得ルモノニ非ス全ク金錢ノ上ニ位スルモノタリ若夫レ生命保險ヲ許サンカ自由民ノ品格ハ墮落シテ奴隷ト選ム所ナキニ至ルト蓋シ保險ハ一般ニ金錢上ノ利益即チ被保險利益ヲ必要條件トシ生命保險モ亦此要件ヲ缺如ス可カラス從テ自由民ノ生命ヲ金錢ヲ以テ計算スルニ至レハナリ羅馬法ニ「生命ハ總テ價格ノ上ニ位スルモノナリ」トノ一ノ格言アリ此格言コソ其當時ノ人民ノ腦裡ニ浸染シテ遂ニ斯ノ如キ思想ヲ固守セシムルニ至リタルナレ

翻ツテ米國ノ事跡ヲ觀ンニ同國マサチューセツト州ノ裁判長パルカー氏カ生命保險事件ヲ裁判スルニ當リテ陳述セル所能ク其狀態ヲ言ヒ顯ハシタルモノ、如シ氏曰ク「生命保險ハ英國ヲ除キ歐洲大陸一般ニ獎勵セラレサルノミナラス法律ヲ以テ明カニ之ヲ嚴禁セリ然ルニ其一般ニ嚴禁セル理由ニ至リテハ頗ル分明ヲ缺ク想フニ佛法ニ於テ之ヲ嚴禁スルノ理由ニ外ナラサル可シ而シテ佛法ノ理由トスル所ハ自由民ノ生命ハ價值ヲ以テ評計スルヲ得サルモノナリトノ點ニ在リ然レ

トモ佛國ニ於テ斯ノ如キ理由ヲ認ムルハ甚々奇怪ニ堪ヘス何トナレハ自由又ハ自由ノ民ト云フ思想ハ佛國民ノ腦裡ニ存在セサルニ非スヤ」ト氏又曰ク「生命保險ニ關シテハ未ダ判決例ナシ從テ先例ニ依リテ其有效無效ヲ決スルコトヲ得ス普通法ニ依レハ苟モ適當ニ締結セラレタル契約ニシテ約因ヲ有シ且ツ法律ニ違反スルコトナク又道德其他一般ノ政略ニ背馳スルコトナクハ之ニ法律上ノ保護ヲ與ヘサルノ理由ナシ今生命保險ノ性質ヲ考フルニ法律ニ違反シ又ハ道德其他一般ノ政略ニ背馳スルモノニ非ス然ラハ之ニ法律上ノ保護ヲ與ヘサルノ理由那邊ニ在リヤ」ト元來米國ニ於ケル生命保險ナルモノハ他ノ諸法律ト等シク英國ヨリ輸入セラレテ一時大ニ衆人ノ注意ヲ惹起シ其法律上果シテ有效ナルヤ否ハ一ノ難問題ト爲リ一千八百十九年マサチューセツト州ノ上等裁判所ニ於テ此問題ニ關シ大ニ議論ヲ生セリ元來同州ニテハ英國普通法ヲ採用シ而シテ該法ハ既ニ生命保險ノ效力ヲ認ムルニ拘ハラス斯ノ如ク大疑問ト爲リタルヲ以テ遂ニ前顯パルカー氏ノ陳辯ヲ見ルニ至レルナリ其後又同州上等裁判所ノ判事フレッチャー氏生命保險事件ニ判決ヲ與ヘテ說明シテ曰ク「從來生命保險ハ不適法ノモノト認メラ

レ或國ニ於テハ特別法ヲ以テ之ヲ禁止セリ是蓋シ其道德ノ主義ニ背反シ且ツ濫用ノ弊ヲ生センコトヲ恐ルレハナリ然ルニ今日ニ於テハ却テ之ト反對ノ狀況ヲ呈シ且ツ社會モ亦正當トシテ之ヲ認ムルカ故ニ生命保險ノ効力ニ付キ賑々ノ論辯ヲ用フルノ必要ナシト以テ米國ニ於ケル生命保險ノ沿革ヲ察知ス可シ  
 惟フニ生命保險ナルモノハ人智發達シテ各自其身後ノ畫策ヲ爲スニ至リテ倍々熾ニ行ハル可キモノナリ特ニ他人ノ庇蔭ニ依リテ生活スルカ如キ者ノ爲メニハ一日モ缺ク可カラサルモノナリ從テ彼ノ生命ハ價值ノ上ニ在リ金錢ヲ以テ之ヲ計算ス可カラスト云フカ如キハ實ニ陳腐ノ迂説ニシテ到底齒牙ニ懸クルニ足ラサルナリ

上來講述セル海上火災及生命保險ノ外尙ホ種々ノ保險アリテ其數亦尠カラスト雖モ其原則ハ唯一ニシテ右海上火災及生命保險ノ三種ノ適用ニ外ナラス從テ他ノ保險ニ關シテハ一々其起源ヲ敘述スルノ必要ナカル可シト信ス故ニ保險法ニ關スル歴史ハ右ノ三種ニ止メテ其他ニ及ハサル可シ諸子幸ニ之ヲ咎ムルコト勿レ

保險契約  
ノ定義

## 第二章 保險契約ノ定義

夫レ保險ノ目的ハ如何ナルモノナリヤト云フニ人間ノ生命及事業ヲ圍繞スル幾多ノ危險災害ニ對シ豫防ヲ爲スヲ以テ目的トス即チ危害ニ對スル一ノ豫防方法ナリ然ラハ如何ナル方法ヲ以テ之ヲ豫防スルヤト云フニ結局自己一個ノ頭上ニ墜落スル所ノ危害ヲ他ノ數多ノ人ノ肩上ニ移シ而シテ多數人カ其危害ヲ分擔スルモノトスエリザベス女王即位四十三年ノ第十二章保險條例ヲ見ルニ保險ナルモノハ損失ノ危險及冒險事業ノ危險ヲ數多ノ人ニ分擔セシムル所ノ方法ナリトセリ又デモルガン(De Morgan)曰ク「保險ナルモノハ私ノ利益ヲ目的トスル事業ニ外ナラサルモ私ノ事業トシテハ最モ文明ノモノニシテ且最モ有益ノモノナリ其結果ヨリ觀察スレハ各個人ノ財產ヲ舉ケテ共有物ト爲スコトヲ約スルニ等シキモノニシテ即チ幸ニシテ平均以上ノ成功ヲ得タル者ハ不幸ニシテ災害ヲ蒙リタル者ニ其過剩ノ分ヲ讓渡スルコトヲ契約スルモノナリ」ト蓋シ一人ノ頭上ニ墜落スル所ノ危害ヲ多數人カ分擔スルノ意ニ外ナラサルナリ  
 然ラハ保險契約ノ定義如何ト云フニ我商法第六百二十五條ハ此問題ニ答ヘ定義

ヲ掲ケテ曰ク

保險契約ハ保險者カ保險料ヲ受ケテ或ル物ニ關シ或ル時間ニ於テ不測又ハ不確定ノ事故ニ因リテ生スルコト有ル可キ喪失又ハ損害ニ付キ被保險者ニ賠償ヲ爲ス義務ヲ負フ契約ナリ

ト今此定義ニ基キテ保險契約ノ要素ヲ求ムルトキハ左ノ如シ

(第一) 當事者即チ保險者及被保險者アルヲ要ス 保險ナルモノハ定義ノ示スカ如ク亦一種ノ契約ナルガ故ニ二人ノ當事者アルヲ要スルヤ勿論ナリ而シテ保險料ヲ受ケテ不慮ノ危險ニ因リ生スル所ノ損失ヲ賠償スルコトヲ諾約スル者ヲ被保險者ト云ヒ又保險料ヲ出捐シテ危險ニ因ル損失ノ賠償ヲ受クル者ヲ被保險者ト云フ即チ此保險者ト被保險者トノ二者ハ保險契約ニ於テ必須缺ク可カラサルモノトス

(第二) 被保險利益アルヲ要ス 保險ハ有體物ニ關スルコトアリ無體物ニ關スルコトアリ例ハ家屋ヲ火災保險ニ付スルカ如キハ是レ有體物ニ關スルモノニシテ又雇人ノ忠實若シハ雇主ノ資力ニ付キ保險契約ヲ取結フカ如キハ是レ無

體物ニ關スルモノナルカ如シ此有體物ニ關スルト無體物ニ關スルトヲ問ハズ保險ヲ取結フニ方リ被保險者ハ必ズ被保險利益ヲ有セサル可カラズ即チ保險ニ付セントスル有體物若シハ無體物ニ付キテ多少ノ關係ヲ有シ若シ其物ニシテ滅失又ハ毀損スルトキハ之カ爲メニ金錢上ノ損失ヲ被フルモノタルヲ要ス今夫レ家屋ノ所有者カ其家屋ヲ火災保險ニ付スルコトヲ得ルハ若シ其家屋ニシテ火災ニ因リ燒失スルトキハ爲メニ之ニ相當スル所ノ價額ヲ喪失スルノ關係ヲ有スルヲ以テナリ是レ甚ダ單純ナル例ナリト雖モ其他總テ此理ヲ推シテ了解ス可シ元來保險ナルモノハ其性質上目的物ニ重テ置ク契約ニ非ズ唯ダ被保險者ノ被フリタル損失ヲ賠償スルヲ以テ目的トス然レトモ被保險者ハ其目的物ノ上ニ所謂金錢上ノ關係ヲ有セサル可カラズ而シテ此點コソ保險契約カ普通ノ契約ト相異ナル所ノ一ノ要點ナレ故ニ縱令普通契約ヲ締結スルノ能力ヲ有スルモ被保險利益ヲ有セサル者ハ保險契約ヲ取結フコトヲ得サルナリ

(第三) 危險アルヲ要ス 即チ不慮ノ事故ニ因リテ損失ヲ來スノ虞ナカル可カラズ元來保險ナルモノハ射倖契約ノ一種ニシテ危險ノ發生スルト否トニ由リ當

事者ハ其利害ヲ異ニスルモノナリ即チ危険發生スルトキハ保險者ノ損失ト爲  
 リ危険發生セサルトキハ被保險者ノ損失ト爲ルモノトス是故ニ保險契約ニハ  
 常ニ發生スルヤ否ヤ測ル可カラサルカ若シハ何時發生スルヤ確定セサル所ノ  
 危険ヲ豫想スルモノナリ若夫レ危険ノ虞ナキモノナランカ保險契約ヲ締結ス  
 ルノ理由ナシ又危険發生ノ時期確定スルモノナランカ保險契約ヲ締結スルコ  
 トヲ得サル可シ

商法第六百二十五條ニハ不測又ハ不確定ノ事故トアリ不測ト云ヒ不確定ト云  
 フモ殆ント同一ノ意義ヲ有シ二者ヲ區別シテ法文上ニ并記スルノ要ナシ然レ  
 トモ立法者ノ意ハ危険ノ發生スルヤ否ヤ全シ測知ス可カラサル所ノモノヲ不  
 測ノ事故ト云ヒ早晚發生ス可キコト確實ナルモ其時期ノ確定セサル所ノモノ  
 ヲ不確定ノ事故ト云ヒタルナリ例ヘハ横濱ヨリ桑港マテノ海上保險ヲ取結ヒ  
 タリトセンニ其目的物タル船舶カ暴風雨等ノ爲メニ沈没スルカ又ハ安全ニ航  
 海ヲ終了スルヤ測知ス可カラサルヲ不測ノ事故ト云ヒ又生命保險ヲ取結ヒタ  
 ル場合ニ於テ人ノ死亡ハ早晚免カル可カラサル厄事タルモ其死亡ノ時期確定

セサルヲ不確定ノ事故ト云フカ如シ

(第四) 保險料アルヲ要ス 保險料ナルモノハ保險者カ損失賠償ノ義務ヲ負擔ス  
 ル所ノ約因ナリ即チ保險者ハ保險料ヲ受ケテ損失ヲ賠償スルコトヲ約スルモ  
 ノナリ左レハ保險料ノ保險契約ニ缺少可カラサルヤ推知ス可キノミ

(第五) 損失賠償ノ義務アルヲ要ス 保險ナルモノハ單ニ不慮ノ事故ニ因リテ生  
 ス可キ損失ヲ賠償スルヲ目的ト爲スモノナリ若シ單ニ損失ノ賠償ヲ得ルノミ  
 ナ目的トセス進ント利益ヲ取得スルノ目的ヲ有スルトキハ保險契約ハ變シテ  
 賭博契約ト爲ル可シ

以上保險契約ニ包含セラル、ノ所ノ重要ノ觀念ニ付キテ略述シタリ其詳細ニ至  
 リテハ後段更ニ講説スル所アル可シ要スルニ保險契約ニ關スル總般ノ事項ハ總  
 テ上述ノ觀念ニ基因スルモノトス

### 第二章 保險契約ノ性質

保險契約ニ具有スル所ノ特別ノ性質如何茲ニ其重要ナルモノヲ列舉スレハ則チ  
 左ノ如シ

保險契約  
ノ性質

(第一) 補償ノ性質ヲ有ス 保險契約ニハ許多ノ種類アルモ其孰レタルヲ問ハス必スヤ補償ノ性質ヲ具有セサル可カラズ學者或ハ生命保險及病傷保險ヲ以テ他ノ保險ト異ナル一種特別ノモノトシ此等ノ保險ニハ補償ノ性質ヲ具有セスト論ス然レトモ生命保險及病傷保險ト雖モ原則ニ於テハ等シク補償ノ性質ヲ具有スルモノニシテ唯タ其原則ノ適用上稍々趣ヲ異ニスルノミ尙ホ之ニ關シテハ後段ニ至リテ詳説ス可シ保險ハ一般ニ通シテ補償ノ性質ヲ具有セサル可カラサルコト前顯ノ定義ヲ見テモ直チニ了解スルヲ得ヘシ何トナレハ保險ナルモノハ不慮ノ事故ニ因リ被保險者ニ生シタル損失ヲ賠償スルヲ目的トスルモノナルカ故ニ其損失ヲ補償スルノ性質ヲ具有ス可キコト多言ヲ要セサレハナリ抑モ保險カ商業社會ノ進歩ニ伴ヒ自然ニ發達シタルモ決シテ之ヲ以テ收益ノ具ニ供セントスルカ爲メニ非ス全ク損失補償ノ目的ヲ達センカ爲メナリ法律カ保險契約ニ效力ヲ附與スル所以ノモノ亦之ニ外ナラス若夫レ保險ヲ以テ補償ノ性質ヲ必要トセスシテ利益ヲ取得スルノ方法ナリトセンカ保險ハ決シテ商業社會ノ利器ニ非ス却テ商業社會ヲ攪亂スルノ兇器ダラン何トナレハ

若シ保險ニ補償ノ性質ヲ必要ナラストセハ當事者ハ其目的物ノ保存ニ付キテ共通ノ利益ヲ有セス故ニ被保險者ハ常ニ目的物ノ滅失スルコトヲ希望ス可キハ人情ノ免カレサル所タリ從テ詐欺其他不正ノ方法行ハレ社會ノ公益ヲ害スルニ至ルヤ論ヲ俟タサレハナリ左レハ何レノ法律ヲ見ルモ保險ニハ補償ノ性質ヲ具有スルコトヲ必要トセリ唯タ英國ノ海上保險ニ於テハ外國船舶ノ保險ニ付テハ縱令補償ノ性質ヲ具有セサルモ尙ホ效力ヲ附與ス故ニ外國ノ船舶ニ付テハ所有者ニ非サル者ト雖モ亦之ニ關シテ保險契約ヲ取結フコトヲ得然レトモ此規定タルヤ外國人ヲ視ルコト猶ホ禽獸ノ如ク內國人ニ適用スル法律ト外國人ニ適用スル法律トヲ異ニセル時代ニ設ケラレ其甚タ不當ノモノニシテ今日ノ社會ニ適用ス可カラサルコト更ニ喋々ノ辯ヲ要セス茲ニ一ノ問題アリ保險ト賭博トハ性質上何等ノ差異アリヤトノコト即チ是ナリ二者孰レモ射倖契約ノ一種ニシテ其性質酷似セリ然ラハ全ク同一ノモノニシテ其間ニ何等ノ區別ナキヤ若シ二者區別ナシトセハ何故ニ法律ハ賭博ヲ禁止シテ之ニ効力ヲ附セス而シテ保險ハ之ヲ獎勵シテ効力ヲ與フルヤ契約法學

者アンソング氏及法理學者ホールランド氏等曰ク「保險ハ其性質上毫モ賭博ト相異ナルコトナシ然レトモ保險ハ公益上最モ有益ナルモノニシテ賭博ハ公益上最モ有害ナルモノナリ」ト即チ二氏等ハ保險ト賭博トハ性質上區別ナシ唯々結果上有益ト有害トノ差異アルヲ以テ法律上一チ優待シ一チ虐待スト爲ス者ナリ余ハ此議論ノ正當ナルヲ信スル能ハス何トナレハ全ク性質上同一ノ原因ヨリ全ク反對ノ結果ヲ生スト云フハ論理ニ適セス加之保險ト賭博トノ間ニ性質上何等ノ區別ナシトセハ何ヲ以テ二者ヲ識別スルコトヲ得ゾ畢竟各人カ命スル所ノ名稱ニ依リテ之ヲ識別ス可キモノト謂ハサル可カラス若シ誤テ保險ニ賭博ノ名稱ヲ附セハ之ヲ無効トシ賭博ニ保險ノ名稱ヲ附セハ之ヲ有効トス可キ乎甚タ其了解ニ苦マサルヲ得ス尤モ兩々相比較スレハ類似ノ點素ヨリ多シ孰レモ射倖契約タリ又孰レモ危險ノ發生ニ因リテ當事者ノ利害ヲ異ニス然レトモ既ニ保險ト名ク賭博ト稱セテ其名稱ヲ相異ニスル以上ハ必スヤ其間ニ區別ナカル可カラス然ラハ二者相異ノ點何レニ存スルヤト云フニ即チ一ハ補償ノ性質ヲ具有シ一ハ之ヲ具有セサルニ在リ詳言スレハ保險ハ既ニ存在スル所

ノ利益ノ上ニ起生スル損失ヲ補償スルヲ目的トスルモノニシテ賭博ハ進メテ其契約ニ因リ或ハ損失ヲ被フリ或ハ利益ヲ得ルノ關係ヲ成立セシムルモノナリ例ヘハ余カ他人ノ家屋ヲ火災保險ニ付スルカ如キハ是レ保險ニ非スシテ賭博ナリ蓋シ此契約ハ補償ノ性質ヲ具有セス其家屋カ燒失スルモ否ラサルモ余ニ於テ直接ノ痛痒ヲ感スルコトナク唯若シ家屋カ火災ニ罹レハ保險金ヲ利得シ否ラサレハ保險料ヲ損失スルモノダレハナク斯ノ如キ契約ハ縱令其名保險ナルモ其實賭博ニ外ナラス之ニ反シ余カ其所有家屋ヲ火災保險ニ付スルハ是レ眞ノ保險ナリ何トナレハ此契約ハ補償ノ性質ヲ具有ス若シ其家屋カ火災ニ因リテ燒失セハ余ハ之ニ對スル價額ヲ損失ス可キニ此契約ニ因リ賠償金ヲ得以テ其損失ヲ補償スルモノダレハナリ要スルニ賭博ノ場合ニ於テハ契約以前ニ當事者ハ利害ノ關係即チ被保險利益ヲ有セス從テ縱令契約ヲ取結ハサルモ之カ爲メ損失ヲ被フルノ憂ナシ之レニ反シ保險ノ場合ニ於テハ契約以前當事者ハ既ニ被保險利益ヲ有スルカ故ニ若シ契約ヲ取結ハサルハ損失ヲ被フルノ憂アリ左レハ二者ノ間劃然タル區別アリト謂ハサル可カラスポルター(Porter)

氏ハ保險ト賭博トノ間ニハ如何ナル區別アリヤトノ問題ヲ起シ自ラ此問題ニ答ヘテ曰ク「保險モ亦射倖契約ナルカ故ニ多少賭博ト同一ノ性質ヲ有ス然レトモ之ヲ以テ二者全ク相同シト爲スハ誤謬ノ甚シキモノナリ然ラハ其間如何ナル差異アリヤト云フニ保險ノ場合ニハ被保險者カ損失ヲ被フルノ危険アルカ故ニ契約ヲ取結フニ至ルモノナリ而シテ其損失ノ生ス可キ危険ハ保險契約其者ニ因リテ成立スルモノニ非ス例ヘハ火災保險ヲ取結フハ火災ニ罹レハ家屋カ燒失スル虞アルカ爲メニシテ而シテ此火災ナル危険ハ保險契約ヲ取結ヒタルニ因リテ成立スルモノニ非ス契約以前既ニ存スルカ如シ之ニ反シテ賭博ノ場合ニハ當事者カ損失ヲ被フルカ又ハ利益ヲ得ルヤハ賭博契約其者ニ因リテ成立シ契約ヲ取結ハサレハ此危険ハ發生スルコトナシ是レ二者ノ性質上ノ區別ナリ」ト余ハ此言ノ正當ニシテ誤マラサルヲ確信ス氏ハ又論シテ曰ク「試ニ保險ト保證トヲ比較セヨ然ラハ保險ト賭博トノ區別ハ一層明瞭ナルヲ得ヘシ夫レ保險ト保證トハ等シク共ニ損失賠償ノ契約ナリ即チ主タル債務者カ辨濟セサルトキ保證人カ之ヲ賠償スルヲ以テ保證ノ性質ト爲ス左レハ保證人アルモ

債權者ハ利益ヲ受クルニ非ス唯タ之アルカ爲メニ損失ヲ免カルノミ保險ニ於ケル保險者ト被保險者トノ關係モ亦之ニ同シ又主タル債務者カ能ク辨濟ヲ爲セハ保證人ハ何等ノ責任ヲ負擔セス是レ危険發生セサレハ保險者ハ何等ノ責任ヲ負擔セサルニ同シ而シテ何人ト雖モ保證契約ヲ以テ賭博契約ト同視スル者ナシ既ニ然ラハ保險契約ト賭博契約トハ同性質ノモノニ非サルヤ更ニ疑フ可キニ非サル可シ」ト之ヲ要スルニ二者ノ區別ハ補償ノ性質ヲ具有スルト否トノ點ニ在リテ存スルモノト知ル可キナリ

(第二) 條件附帶ノ契約ナリ 保險契約ハ如何ナル條件ニ繫ルモノナリヤト云フニ常ニ危険ヲ冒ストノ條件ニ繫ルモノナリ而シテ所謂危険ヲ冒ストハ冒險ノ途ニ就クノ意味ヲ有スルモノトス今例ヲ舉ケテ之ヲ説明センニ先ツ海上保險ノ場合ニ於テ東京ヨリ米國桑港ニ至ル迄ノ航海ヲ保險ニ付シタリトセンニ其保險契約ハ何時ヨリ効力ヲ生スルヤト云フニ必スシモ其契約ヲ締結シタル當時直チニ効力ヲ生スルモノニ非スシテ被保險物タル船舶カ冒險ノ途ニ就キタルトキニ於テ始メテ其効力ヲ生スルモノトス詳言セハ被保險物タル船舶カ保

險シタル航海ヲ爲サノカ爲メニ積荷又ハ底荷ノ積入ヲ始メタル時ヨリ保險ノ効力ヲ生ス蓋シ此時ヲ以テ船舶ハ冒險ノ途ニ就ケハナリ又農産物ノ保險ニ付テ云ヘハ春期田畑ニ蒔キ付タル農産物ニ付キ秋期ノ收穫ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テモ其契約締結ノ當時直チニ保險ノ効力ヲ生スルモノニ非ス一定ノ時期ニ至リ田畑ニ種ヲ蒔キ若クハ苗ヲ植ユテ始メテ効力ヲ生スルモノトス何トナレハ被保險者ニ於テ未タ此等ニ着手セサル以上ハ如何ナル天災アルモ何等ノ危険ニ罹ルモノニ非サレハナリ故ニ保險契約ハ其性質トシテ常ニ危険ヲ冒スノ條件ニ繋ルモノトス我商法第六百五十五條ニ曰ク「契約ハ保險シタル危険カ被保險者ニ對シテ生ス可キニ至ラサルトキハ被保險者ヲ羈束セス」ト以テ我商法モ亦タ明カニ保險ヲ以テ條件付ノ契約ト爲シタルヲ知ル可シ

論者或ハ保險契約ノ條件附帶ノ性質ヲ有スルコトヲ難シテ曰ク夫ノ海上保險ノ如キ其航海中ノ危険ヲ冒スノ條件ヲ以テ契約ヲ取結フモ被保險者ニシテ自由ニ其航海ヲ中止スルトキハ保險ノ効力ハ發生スルコトナカル可ク其契約モ遂ニ無効タルニ止マン果シテ然ラハ危険ヲ冒スノ條件ヲ發生セシムルト否ト

ハ一ニ被保險者ノ意思ニ基キ決定スルモノニシテ斯ノ如キハ法律上之ヲ許ス可キモノニ非ス之ヲ普通契約ノ原則ニ照スモ當事者一方ノ意思ニ依リ自由ニ契約ノ効力ヲ發生又ハ消滅セシムルコトヲ許サハルハ明カナル所ナリ既ニ契約ノ原則ニシテ斯ノ如クナル以上ハ契約ノ一種タル保險ニシテ之ニ違背スルコトヲ得ヘキニ非ス故ニ保險契約ニ此等ノ性質ヲ有セシムルハ決シテ妥當ヲ得タルモノニ非サルナリト此説ハ多少以太利ノ有力ナル學者ノ唱導スル所ナリ然レトモ是レ未タ保險ノ目的ヲ詳カニセサルノ謬見ニ出ルモノニシテ元來保險ハ専ラ商業ヲ獎勵スルカ爲メニ發生シタルモノナリ而シテ今眼ヲ放テ商業社會ノ情況ヲ觀察スルニ其變遷非常ニ著クシテ昨ハ是ニシテ今ハ既ニ非ナルカ如キ場合甚タ少シトセス此等ノ場合ニ於テ保險契約ノ適用ヲ最モ嚴格ナラシメ以テ一旦締結シタル契約ハ直チニ其効力ヲ發生シ當事者合意ノ上ニ非サレハ其契約ヲ解除スルコトヲ得スト爲ストキハ被保險者ハ自己ニ不利ナルコトヲ知リツ、尙ホ海上貿易ニ從事スルノ止ムヲ得サルニ至ラソ斯ノ如キハ商業獎勵ノ途ニ非スシテ却テ其發達ヲ妨害スルモノナルニ外ナラス故ニ法



律ハ此點ニ注目シ縱令危險ヲ冒スノ條件カ被保險者ノ意思ニ依リ成立セサルニ至ルモ尙ホ且ツ保險ヲシテ効力ヲ生セシメスト爲シタルモノニシテ保險ノ目的上正ニ然ラサル可カラサルナリ

(第三) 最上ノ誠意 (Utmost Good Faith) ナ必要トス 凡ソ契約ハ信用ヲ基本ト爲サ、ルモノナシ而シテ信用ハ誠意ニ因リテ成立スルモノナリ夫ノ往昔野蠻ノ時代ニ於テ契約ノ發達セザリシハ畢竟互ニ掠奪ヲ旨トシ毫モ信用ノ存在セザリシニ由ラスンハ非ス故ニ契約ノ締結ニハ總テ誠意ヲ必要セサルモノナシ然レトモ特ニ最上ノ誠意ヲ必要トスル一種ノ契約アリ實ニ保險契約ハ此種類ニ屬ス夫ノ契約法學者ボロック氏及アンソン氏等ハ此種類ノ契約ヲ特別契約ト稱シ以テ他普通ノ契約ト區別セリ蓋シ誠意ヲ要スルコト最モ大ニシテ又最モ緊切ナルカ故ニ外ナラス然ラハ保險契約ハ何故ニ他ノ契約ニ比シテ特別ニ誠意ヲ必要トスルヤト釋スルニ是レ保險契約ノ性質上ヨリ自然ニ生スル結果ニ外ナラス蓋シ保險契約ヲ締結スルニ付キ知了スルコトヲ必要トスル事實及ヒ情況ハ多クハ被保險者ノミ之ヲ知悉シ保險者ハ大率之ヲ知了スルノ便宜ヲ有セス又其

機會ナシ從テ保險者カ保險契約ヲ取結フニ方リテハ一ニ被保險者ノ陳述ニ依賴スルノ外他ニ途ナキナリ若シ夫レ賣買契約ノ如キニ在テハ買主ハ自由ニ其目的物ヲ點檢シ其瑕瑾ナキヤ否ヤヲ充分ニ調査シタル上之ヲ買取ルコトヲ得ルモ之ニ反シテ保險契約ニ在テハ被保險物ノ堅牢ナルヤ否又之ヲ圍繞セル危險ノ性質分量ヲ知ルノ機會ヲ有セス好シヤ機會ヲ有ストスルモノ一々其事情ヲ詳密ニ調査スルカ如キハ迅速敏活ヲ必要トスル商業社會ニ在テ到底之ヲ行ヒ得ヘキモノニ非ス殊ニ海上保險ノ如キ船舶カ航海中ニ在ルトキ又ハ外國ノ港ヲ出帆スルトキニ於テ保險契約ヲ締結スルコト寡カラス這般ノ場合ニ在テハ保險者ハ到底其船舶ノ瑕瑾ノ有無ヲ點檢スルコト能ハス從テ其船舶カ當時如何ナル狀況ニ在ルヤハ總テ船舶所有主ノ陳述ニ依賴セサル可カラサルナリ又生命保險ノ如キニ在リテモ醫師ハ唯々被保險者ノ現在ニ於ケル健康如何ヲ診察スルノミニシテ既往ニ於ケル疾病ノ有無及ヒ血統ノ如何ニ至リテハ一ニ被保險者ノ陳述スル所ニ憑據セサル可カラス是故ニ被保險者ノ陳述ハ詐欺タルトキハ勿論縱令然ラサルモ苟モ其事實ニシテ虛妄ナリシ以上ハ其過失ノ有無

ニ拘ラハス保險者ハ其保險契約ヲ解除スルコトヲ得ヘキナリ知ル可シ保險契約ニハ最上ノ誠意ヲ必要トスルコトヲ我商法ハ其第六百五十三條ヲ以テ明ニ之ヲ認メタリ即チ同條ニ曰ク保險者ハ被保險者カ契約取結ノ際重要ナル情況ニ付キ虚偽ノ陳述ヲ爲シ又ハ其情況ヲ黙スルトキハ惡意アリタルト否トチ問ハス契約ヲ解ク權利アリ云々ト

右ニ述フルカ如ク保險契約ハ最上ノ誠意ヲ必要トス然レトモ是レ一般ノ保險契約ニ付キ論シタルモノニシテ保險契約ノ種類ハ素ヨリ一ニシテ足ラス從テ一律ニ論下シ去ルコト能ハス其種類ニ因テ誠意ヲ必要トスルノ程度ヲ異ニス而シテ其之ヲ甄別スルノ標準ハ保險者カ被保險物ノ事實情況ヲ知ルノ困難ナルト否ラサルトニ探ルコトヲ要ス今夫レ保險契約中最モ充全ノ誠意ヲ必要トスルモノハ海上保險契約ニシテ之ニ次クモノハ生命保險契約ナリ其他ノモノニ至リテハ誠意ヲ要スルノ程度稍々低シ

以上ノ原則ハ當ニ之ヲ被保險者ニ適用スルノミナラス保險者亦之ヲ遵守セサル可カラズ即チ保險者カ危險ノ稀少ナルヲ知リツ、故ラニ之レヲ隱秘シテ多

額ノ保險料ヲ徴シ以テ保險契約ヲ締結シタルトキハ被保險者ハ直チニ其契約ヲ解除スルコトヲ得ヘシ今例ヲ舉ケテ此場合ヲ説明セシニ甲乙兩國間ノ平和破裂シタルニ幸ニ直チニ平和ニ歸シタルカ如キ場合ニ於テ其平和ノ事實ハ保險者ノミ之ヲ知り得タリト假定セシニ此場合ニ於テ船舶所有者航海ノ保險ヲ依頼シタルヲ機トシ巧ニ其平和破裂シテ危險最モ多キ場合ニ於ケル保險料ヲ徴收シタルトキハ被保險者ハ其保險契約ヲ解除シ得ルカ如シ(見ル)

(第四) 射倖契約ナリ 保險ハ佛蘭西法學者ノ所謂射倖契約ノ(Aleatory contract)一種ニシテ射倖契約トハ交換契約ニ對スルノ名稱タリ所謂交換契約トハ當事者ノ一方カ爲シ又ハ與フル事物ハ他ノ一方カ爲シ又ハ與フル事物ト法律上全ク同一ノ價值ヲ有スルモノト看做ス契約ヲ云フ例ヘハ或建物ヲ一万圓ニテ賣買スルトキハ此建物ト一万圓トハ法律上同一ノ價值アルモノト看做ス又或ル茶人カ價值拾錢ニ相當スル茶器ヲ壹圓ニテ購求シタリトスルモ法律上其茶人ト賣主トノ間ニ在テハ其茶器ト壹圓トハ同一ノ價值ヲ有セルモノト看做スカ如シ是レ所謂交換契約ナリ之ニ反シテ射倖契約トハ實際上ハ勿論法律上ニ於テモ

當事者ノ一方カ爲シ或ハ與フル事物ハ他ノ一方カ爲シ或ハ與フル事物ト同一ノ價值ヲ有セサルモノト看做ス契約ヲ云フ從テ射倖契約ニ在リテハ當事者ノ一方ハ利益ヲ得他方ハ損失ヲ蒙ルノ結果ヲ來スモノナリ例ヘハ或建物ヲ毎月百圓ノ保險料ヲ以テ一箇年間一萬圓ノ保險ニ付シタル場合ニ於テ若シ其建物カ一箇月内ニ火災ノ爲メ燒失シタルトキハ保險者ハ僅カニ百圓ヲ取得シタルニ拘ハラズ保險金一萬圓ヲ辨償セサル可カラス之ニ反シテ其建物カ幸ニ一箇年内ニ火災ニ罹ラザリシトキハ被保險者ハ保險料千二百圓ヲ損失シ保險者ハ之ヲ利得ス可シ而シテ法律上ヨリ見ルモ此保險料ト保險金トハ決シテ同一ノ價值ヲ有スルモノト看做サ、ルナリ知ル可シ保險契約ハ射倖契約ナルコトナ

保險契約ニハ保險料ヲ定ムルコトヲ必要トス然レトモ其額ヲ定ムルコトハ寔ニ至困至難ノ業ニシテ若シ保險料ノ額ニシテ高貴ニ失センカ保險契約ヲ取結フ所ノ被保險者トナル可シ又之ニ反シテ保險料ノ額ニシテ低廉ニ過キンカ保險事業ノ成立ヲ見サル可シ故ニ保險料ハ必スヤ一定ノ標準ニ基ツキテ之ヲ定

メ以テ其平衡ヲ得セシメサル可カラス然ラハ保險料ハ如何ナルモノヲ標準トシテ之ヲ定ム可キヤト云フニ危險及損害發生ノ精確ナル統計ニ基ツキ其割合ニ因テ之ヲ定メサル可カラス今例ヲ海上保險ニ採レハ日本ト米國間ニ於ケル大平洋航海ノ船舶ハ十ヶ年間幾割危險ノ爲メニ沈没スルヤ又其損害ハ幾割ニ當ルヤ等ニ付キ精確ナル統計ヲ得其危險ノ起生ノ多寡ニ因リ保險料ノ増減ヲ爲サ、ル可カラス火災保險ニ付テモ亦之ト同シク春冬ノ時期ニ於テハ幾度ノ火災起リ幾何ノ家屋燒失シ幾何ノ損失ヲ醸ス可キヤ又夏秋ノ時期ニ於テハ幾何ナリヤノ精確ナル統計ヲ得之ニ基ツキテ保險料ヲ定メサル可カラス然ラスノハ保險ノ制度ハ決シテ社會ニ行ハル、モノニ非サルナリ今日我國保險事業ノ歐米諸國ニ比シテ一步ヲ輸スルハ恐クハ危險ノ起生ニ付キ精確ナル統計ヲ得サルモ其一原因タラスンハ非ス

保險料ヲ定ムルノ標準夫レ斯ノ如シトセハ今若シ假ニ總般ノ保險者ヲ總括シテ一團體トシテ之ヲ一方ノ當事者ト看做シ又全般ノ被保險者ヲ一團體トシテ之ヲ他ノ一方ノ當事者ト看做シ兩當事者間ニ於ケル契約ノ關係ヲ觀察スルト

キハ保險契約ナルモノハ全ク射倖ノ性質ヲ離レ却テ純然タル交換契約ノ性質ヲ帶フルモノタルコトヲ發見ス可シ即チ甲ナル保險契約ニ付テハ保險者ノ利益ナル所アルモ乙ナル保險契約ニ付テハ却テ被保險者ノ利益ナル所アルカ故ニ之ヲ總括スルトキハ保險者ノ支拂フ保險金ト被保險者ノ支拂フ保險料トハ其額ヲ均フスルヲ窺知ス可シ余カ曩ニ述ヘタルエリサベス第二章ノ保險條例ニ於テ保險ハ損失ノ危險及冒險事業ノ危險ヲ數多ノ人ノ肩上一ニ移シ而シテ多數人カ其危害ヲ分擔スル方法ナリトセルハ畢竟之カ爲メノミ

(第五) 物約(Real contract)ノ性質ヲ有ス

保險契約カ果シテ物約ノ性質ヲ具有スルヤ將タ又人約ノ性質ヲ帶フルヤニ付テハ最モ議論ノアル所ニシテ我既成商法ハ之ニ物約ノ性質ヲ與ヘ英米保險法ハ之ニ人約ノ性質ヲ帶ハシメタリ所謂物約トハ契約ノ目的物カ他ニ移轉スレハ其契約モ亦從テ移轉スルモノヲ云フ既ニ我法律ニ於テ保險契約ニ物約ノ性質ヲ帶ハシメタル以上ハ被保險物ヲ他ニ賣却セハ其買主ハ當然保險契約ニ關スル權利義務ヲモ併セテ繼受スルモノトス然レトモ是レ唯ダ保險契約一般ノ性質ニ止マルモノナルカ故ニ當事者間ニ

於テ他ニ特別ノ意思明カナル場合ハ之カ例外ニ屬ス可シ蓋シ我商法ハ保險契約ヲ以テ專ラ重キヲ被保險物ニ置キ保險金額ハ全ク被保險物ニ代ル可キモノト看做シタルカ故ニ之ニ物約ノ性質ヲ帶ハシメタルナリ從テ保險金額ハ被保險物ノ消滅シタル場合ニ之ニ代ル可キハ勿論若シ債務者カ其被保險物ヲ抵當ト爲シタル場合ニハ債權者ハ保險金ノ上ニ優先權ヲ有ス可キナリ然レトモ今姑ク成文ヲ離レ專ラ法理上ヨリ其性質ヲ論スレハ余ハ保險契約ハ人約ニシテ物約ニ非スト信ス元來保險契約ハ被保險物ニ重キヲ置キテ取結フモノニ非ス通常人ノ生命若クハ船舶家屋等ニ保險ヲ付スルモ其目的トスル所ハ究竟被保險物カ不幸ニシテ危險ニ遭遇シ損失ヲ生スルトキハ保險者ニ於テ其損失ヲ賠償ス可キコトヲ契約スルニアレハ其目的ハ損失賠償ニ外ナラス而シテ損失ヲ賠償スルノ契約ハ全ク人ト人トノ關係ニシテ決シテ其目的物タル船舶若クハ家屋等ノ移轉ト俱ニ當然移轉スヘキ者ニアラス英米ノ法律カ保險契約ヲ以テ人約ト看做ス所以ノモノハ一ニ此理由ニ職由セスンハ非ス然ルニ我既成商法ハ其第六百四十條ヲ以テ保險契約ニ與フルニ物約ノ性質ヲ以テシタルコト前

キハ保險契約ナルモノハ全ク射倖ノ性質ヲ離レ却テ純然タル交換契約ノ性質ヲ帶フルモノタルコトヲ發見ス可シ即チ甲ナル保險契約ニ付テハ保險者ノ利益スル所アルモ乙ナル保險契約ニ付テハ却テ被保險者ノ利益スル所アルカ故ニ之ヲ總括スルトキハ保險者ノ支拂フ保險金ト被保險者ノ支拂フ保險料トハ其額ヲ均フスルヲ窺知ス可シ余カ曩ニ述ヘタルエリサヘス第二章ノ保險條例ニ於テ保險ハ損失ノ危險及冒險事業ノ危險ヲ數多ノ人ノ肩ニ移シ而シテ多數人カ其危害ヲ分擔スル方法ナリトセルハ畢竟之カ爲メノミ

(第五) 物約(Real contract)ノ性質ヲ有ス 保險契約カ果シテ物約ノ性質ヲ具有スルヤ將タ又人約ノ性質ヲ帶フルヤニ付テハ最モ議論ノアル所ニシテ我既成商法ハ之ニ物約ノ性質ヲ與ヘ英米保險法ハ之ニ人約ノ性質ヲ帶ハシメタリ所謂物約トハ契約ノ目的物カ他ニ移轉スレハ其契約モ亦從テ移轉スルモノヲ云フ既ニ我法律ニ於テ保險契約ニ物約ノ性質ヲ帶ハシメタル以上ハ被保險物ヲ他ニ賣却セハ其買主ハ當然保險契約ニ關スル權利義務ヲモ併セテ繼承スルモノトス然レトモ是レ唯々保險契約一般ノ性質ニ止マルモノナルカ故ニ當事者間ニ

於テ他ニ特別ノ意思明カナル場合ハ之カ例外ニ屬ス可シ蓋シ我商法ハ保險契約ヲ以テ專ラ重キヲ被保險物ニ置キ保險金額ハ全ク被保險物ニ代ル可キモノト看做シタルカ故ニ之ニ物約ノ性質ヲ帶ハシメタルナリ從テ保險金額ハ被保險物ノ消滅シタル場合ニ之ニ代ル可キハ勿論若シ債務者カ其被保險物ヲ抵當ト爲シタル場合ニハ債權者ハ保險金ノ上ニ優先權ヲ有ス可キナリ然レトモ今姑ク成文ヲ離レ專ラ法理上ヨリ其性質ヲ論スレハ余ハ保險契約ハ人約ニシテ物約ニ非スト信ス元來保險契約ハ被保險物ニ重キヲ置キテ取結フモノニ非ス通常人ノ生命若クハ船舶家屋等ニ保險ヲ付スルモ其目的トスル所ハ究竟被保險物カ不幸ニシテ危險ニ遭遇シ損失ヲ生スルトキハ保險者ニ於テ其損失ヲ賠償ス可キコトヲ契約スルニアレハ其目的ハ損失賠償ニ外ナラス而シテ損失ヲ賠償スルノ契約ハ全ク人ト人トノ關係ニシテ決シテ其目的物タル船舶若クハ家屋等ノ移轉ト俱ニ當然移轉スヘキ者ニアラス英米ノ法律カ保險契約ヲ以テ人約ト看做ス所以ノモノハ一ニ此理由ニ職由セスンハ非ス然ルニ我既成商法ハ其第六百四十條ヲ以テ保險契約ニ與フルニ物約ノ性質ヲ以テシタルコト前

三二  
ニ述ヘタル所ノ如シ抑モ保險契約ハ果シテ物約ト爲ス可キモノナルヤ將タ又  
人約ト爲ス可キモノナルヤハ立法上頗ル緊要ナル一大問題ナレトモ事ノ立法  
ニ關スルモノハ姑ク之ヲ措キ單ニ保險契約ノ性質上ヨリ法理的ノ斷案ヲ下セ  
ハ前ニ述ヘタルカ如ク寧ロ人約ノ性質ヲ帶フルモノニアラサルナキカ若夫レ  
立法上孰レノ性質ヲ帶ハシム可キヤトノ問題ニ至リテハ素トヨリ一般人民ノ  
思想即チ所謂民情ニ照應シ以テ之ヲ決セサル可カラズ若シ一般人民ノ思想ニ  
シテ保險契約ハ當然被保險物ト共ニ移轉ス可キモノトナサンカ保險契約ハ我  
商法ノ如ク宜シク之ヲ物約ト看做ス可シ之ニ反シテ若シ一般人民ノ思想ニシ  
テ保險契約ト被保險物トハ別箇ノ物ニシテ被保險物ノ移轉ハ保險契約ノ移轉  
ヲ惹起スルモノニ非ストスルニアラシカ英米法律ノ如ク之ニ人約ノ性質ヲ帶  
ハシメサル可カラサルナリ而シテ今日我國ノ民情ヲ探究スルニ恐ラシハ其後  
者ニ存セサルナキヤヲ疑フ此推測ニシテ果シテ眞ナラシカ我カ商法ノ規定ハ  
到底實際ノ民情ニ適セサルモノナリトノ譏リヲ免カル、コト能ハサル可シト  
信ス

### 第二章 被保險利益

保險契約ハ補償ノ性質ヲ帶フルモノナルカ故ニ被保險利益ヲ有スル者ニ非サレ  
ハ保險契約ヲ取結フコトヲ得ス

然ラハ被保險利益トハ如何ナルモノナリヤト云フニ商法第六百二十七條第一項  
ハ其定義ヲ下シテ曰ク「所有權、債權其他ノ權利名義又ハ權利關係ニ基因スル財產  
上ノ利益ニシテ此ニ關スル危險ノ起生ニ因リ被保險者ニ直接ニ損害ヲ加フ可キ  
モノハ保險ニ付スルコトヲ得ル利益トス」ト此規定ハ甚タ錯雜ニシテ法文ニハ適  
當ナラス且ツ解釋上頗ル困難ヲ感スト雖モ要スルニ其意義ハ適法ナル財產上ノ  
利益ニシテ危險ノ發生ニ因リテ直接ニ損害ヲ受クル虞アルモノハ之ヲ被保險利  
益トストノ意義ニ外ナラス此定義ニ依レハ被保險利益ニハ左ノ三個ノ要素ヲ具  
備ス可キコト明カナリ

第一、財產上ノ利益ナルヲ要ス

第二、危險ノ發生ニ因リ直接ニ損害ヲ受クル虞アルモノナルヲ要ス

第三、適法ナルヲ要ス

以下此三个ノ要素ニ付テ聊カ説明ヲ試ミント欲ス

(第一) 財産上ノ利益ナルヲ要ス 財産上ノ利益ト云フコトハ甚々漠然トシテ其意義容易ニ了解スルコトヲ得ス然レトモ平易ニ之ヲ言ヘハ金錢上ノ利益ト云フニ外ナラス換言スレハ金錢ヲ以テ計算スルコトヲ得ヘキ利益ト云フノ意義ナリ獨逸商法ニハ明カニ被保險利益ハ金錢上ノ利益ナル可キコトヲ規定シ又英米二國ニ於テハ成文法ノ規定ナキモ學說並ニ判決例ハ何レモ被保險利益ハ金錢上ノ利益ナラサル可カラサルコトニ一定セリ我商法ノ意義モ亦何ソ之ニ外ナランヤ

獨リ生命保險ニ至リテハ右ノ原則ヲ適用シ得ヘカラサルノ感アリ即チ吾人カ生命若クハ健康ヲ保險ニ付スルニ方リテ其生命若クハ健康ハ金錢ヲ以テ計算スルコトヲ得ルヤ否ノ問題ハ容易ニ答解ヲ與フルコトヲ得ス或ハ生命保險ハ一般原則ノ例外ナリト論シ或ハ生命健康モ亦金錢ヲ以テ計算スルコトヲ得ルモノナリ決シテ一般原則ノ例外ヲ爲スモノニ非スト論ス此問題ハ姑ク之ヲ生命保險ヲ論スルトキニ讓ル可シト雖モ要スルニ一般ノ原則トシテハ被保險利

益ハ金錢ヲ以テ計算スルコトヲ得ルモノナラサル可カラサルコト毫モ疑團ヲ挾ム可キニ非ス

財産上ノ利益ハ素ヨリ金錢ヲ以テ計算シ得ル利益タリ金錢ヲ以テ計算シ得サル財産上ノ利益ナルモノアルコトナシ唯夫レ金錢ヲ以テ計算シ得ル利益ト財産上ノ利益トハ全ク同一ナルヤ否ハ一ノ問題ナリ夫ノ名譽ノ如キハ財産權ニ屬セサルモノナルカ故ニ之ヲ以テ財産ト爲スコトヲ得ス而モ名譽權ヲ傷ケラハトキハ損害賠償ヲ求ムルコトヲ得左レハ名譽權モ亦金錢ヲ以テ計算シ得ヘキモノニ非スヤトノ疑問ヲ生ス然レトモ名譽權ハ素ヨリ財産權ニ非ス名譽權ヲ傷ケラレテ始メテ損害ヲ生シ其損害カ金錢ヲ以テ計算シ得ルナリ是故ニ單ニ名譽權ノミヲ有スル場合ニ於テハ之ニ付キテ保險契約ヲ取結フコトヲ得ス蓋シ被保險利益ナケレハナリ名譽權傷ケラレテ始メテ被保險利益ヲ組成スルモノナリ例ヘハ余ハ友誼上他人ヨリ書狀ノ傳達ヲ囑託セラレタル場合ニ其書狀ヲ紛失スルトキハ或ハ余ノ名譽ヲ損スルコトナシトセス然レトモ單ニ名譽權ニ關スルノミヲ以テハ其書狀ニ付テ被保險利益ヲ有セサルカ如シ又親カ

子女ニ對スル愛情其他精神上ノ快樂ノ如キモ金錢ヲ以テ計算スルコトヲ得サルモノナリ從テ被保險利益ヲ組成セズ又明日演劇ヲ見物センコトヲ他人ト契約スルモ單ニ此契約ノミニテハ劇場ニ付キテ被保險利益ヲ有セス故ニ右等ノ場合ニ於テハ保險契約ヲ取結フコトヲ得サルモノナリ然レトモ苟モ金錢上ノ利益ヲ有スル事物ニシテ不適法ナラサルモノハ總テ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ルモノトス

次ニ又一ノ困難ナル問題アリ即チ將來取得シ得ヘキ利益ハ被保險利益ヲ組成スルヤ否トノコト是ナリ既得ノ利益ノ被保險利益タルヲ得ルヤ論ヲ俟タサルモ未タ取得セサル利益ニ至リテハ其被保險利益タルヲ得ルヤ否ニ付キ各國其規定ヲ異ニシ又同一ノ邦國ニ在テモ時代ニ依リテ其規定ヲ異ニス英米及獨逸ノ法律ニ於テハ將來取得シ得ヘキ利益ト雖モ之ヲ保險ニ付スルコトヲ許セリ古代ニ在リテハ利益ナル語辭ヲ狹隘ニ解釋シ現實ノ利益ニ非サレハ保險ニ付スルコトヲ許サズ佛國ニ於テハ今日ニ至リテモ尙ホ將來取得シ得ヘキ利益ハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ禁セリ然ラハ此點ニ關スル我商法ノ主義如何ト云フ

ニ保險ノ總則中別ニ此點ヲ明カニセスト雖モ諸般ノ規定ヨリ之ヲ觀察スルトキハ將來取得シ得ヘキ利益ヲ以テ被保險利益ト認ムルコト明瞭ナリ然レトモ將來取得シ得ヘキ利益トハ如何ナルモノナリヤト云フニ至リテハ各國ノ法律明カニ此點ヲ規定シタルモノナシ唯タ將來取得シ得ヘキ利益ト將來利益ヲ得ヘキ希望トノ間ニハ判然タル區別ヲ設ケ單一ナル希望ハ被保險利益ヲ組成セサルモノト一定セリ然ラハ被保險利益ヲ組成スル將來ノ利益トハ如何ナルモノナリヤト云フニ之ニハ左ノ二條件ヲ具備スルコトヲ要ス

(一) 將來利益ヲ生ス可キ物上ニ現實利害ノ關係ヲ有スルコト 例ハ商品ヲ賣却シテ得ヘキ利益ヲ保險ニ付スルニハ必ラスヤ其利益ヲ生ス可キ物即チ商品ヲ所有スルカ若クハ之ヲ賣却シテ利益ヲ得ルノ權利ヲ有スルカ兎ニ角其物ニ對シテ現實利害ノ關係ヲ有セサル可カラズ毫モ利害ノ關係ナキ他人ノ商品ニ付キテハ何等ノ被保險利益ヲモ有セサルナリ農産物保險ノ場合ニ於テモ亦同様ニシテ被保險者ハ農産物ヲ生ス可キ田畑ノ上ニ所有權ヲ有スルカ小作權ヲ有スルカ若クハ其農産物ニ關シテ賣買上ノ債權ヲ有スルカ兎



ニ角將來利益ヲ生ス可キ物即チ田畑ニ對シテ利害ノ關係ヲ有セサル可カラ  
ス或ハ第三者ノ所有ニ係ル田畑ニ付キ將來之ヲ買取ルノ意思アルモ斯ノ如  
キハ單一ナル希望ニ外ナラサルカ故ニ未ダ現實利害ノ關係ヲ有スルモノト  
謂フコトヲ得ス

(二) 保險ニ付シタル危險ノ發生スルニ非サレハ當然利益ヲ取得シ得ヘキコト  
前例ノ農産物ノ保險ノ場合ニ於テ單ニ田畑ヲ所有スルノミニテハ未ダ被  
保險利益ヲ有スルモノト謂フ可カラス其田畑ニ穀菜ヲ植付ケ暴風雨洪水若  
クハ旱魃ノ如キ天災ノ發生スルニ非サレハ當然收穫ヲ得ヘキ狀況アルニ至  
リテ始メテ被保險利益ヲ有スルモノトス蓋シ既ニ田畑ニ穀菜ヲ植付ケタル  
トキハ天然ノ力ニ因リテ自然ニ成長シ季節ニ至リテ收穫ヲ爲スコトヲ得ヘ  
ク唯ダ其收穫ヲ妨害スルモノハ暴風雨洪水旱魃等ノ天災ノミナレハナリ  
然レトモ此條件ヲ實際ニ適用スルニ當リテハ頗ル困難ヲ感スルコトアリ例  
ヘハ商品ヲ賣却シテ得ヘキ利益ノ如キハ之ヲ被保險利益ト爲スモノナルモ  
其如何ナル場合ニ於テ被保險利益ト爲ルコトヲ得ルヤト云フニ至リテハ一

問題ナリ既ニ其商品ヲ賣買スル契約ヲ爲シタルトキハ之ニ因リテ得ヘキ利  
益ハ素ヨリ被保險利益タル可キコト疑フ容レスト雖モ然ラハ未ダ賣買ノ契  
約ヲ爲サ、ルトキハ將來賣却ニ因リテ得ヘキ利益ハ之ヲ被保險利益ト爲ス  
コトヲ得サルヤト云フニ必スシモ一概ニ之ヲ論斷スルコトヲ得ス例ヘハ商  
品ヲ他國ニ輸出スル場合ニ於テハ常ニ其價格ヲ増加スルモノナリ而シテ其  
増價ハ運送費等ヲ増加シタルモノヨリ多額ナラサル可カラス若シ單ニ運送  
費等ノ實費ヲ増加スルニ止ルモノトセハ誰カ輸出商業ニ從事スル者アラノ  
ヤ左レハ輸出ヲ爲スカ爲メニ既ニ船舶ニ商品ヲ積込ミテ航海ヲ始メタル以  
上ハ將來賣却ニ因リテ得ヘキ利益ハ之ヲ被保險利益ト爲スコトヲ得ヘシ何  
トナレハ此場合ニ於テハ暴風雨等ノ天災ニシテ之アラサレハ當然利益ヲ取  
得シ得ヘケレハナリ

(第二) 危險ノ發生ニ因リ直接ニ損害ヲ受クル虞アルモノナルヲ要ス 金錢上ノ  
利益ナルモ危險ノ爲メニ何等ノ損害ヲ受クル虞ナキモノハ素ヨリ之ヲ保險ニ  
付スルノ必要ナシ危險ノ爲メニ損害ヲ受クルノ虞アレハコソ保險契約ヲ取結

ヒテ損害ヲ免カレンコトヲ期スルノ必要アルナレ然レトモ凡ソ社會ノ事物ニシテ危險ノ爲メニ損害ヲ受クルノ虞ナキモノハ殆ント之ナシト言フモ不可ナシ諺ニ鐵杖ヲ曳テ石橋ヲ渡ルト云フコトヲ以テ危險ナキノ比喻ト爲セリト雖モ天災ノ爲メニハ石橋ノ崩ル、コト往々ニシテ其例アリ從テ危險ニ罹ルモノノ範圍ハ非常ニ廣汎ニシテ一々之ヲ列舉スルコトヲ得ス

(第三) 適法ナルヲ要ス 是レ素ヨリ自明ノ理ナリ元來保險ナルモノハ正當ナル利益及正當ナル事業ヲ保護スルカ爲メニ自然ニ發達シタルモノニシテ不正ナル利益若クハ不正ナル事業ハ之ヲ保護スルモノニ非ス故ニ例ハ稅關ノ眼ヲ掠メテ商品ヲ輸出シ若クハ賣買スルノ目的ヲ以テ婦女ヲ輸出スルカ如キ不法ノ航海ニ付テハ保險契約ヲ取結フコトヲ得ス

而シテ不法ノ利益若クハ不法ノ事業トハ必スシモ法律ノ明文ヲ以テ禁止シタルモノ、ミチ云フニ非ス縱令明文ノ禁止ナキモ公益上又ハ道德上若クハ國家ノ秩序上ニ於テ不正當ノモノハ勿論法理上嫌忌スル所ノモノモ亦不適法ノモノニシテ保險契約ヲ以テ之ヲ保護スルコトヲ得サルナリ我商法ニ於テハ此點

ニ關シ別ニ明文ノ規定ナシト雖モ英米ノ法律ニ於テハ法律ヲ進メテ不適法ト認メサルモ法律カ獎勵セサルモノハ亦保險契約ヲ以テ之ヲ保護スルコトヲ許サストセリ例ハ外國ニ於テハ密賣淫ヲ默許シ我國ノ如ク刑罰ヲ制裁トシテ之ヲ禁止スルコトナシト雖モ法律上決シテ獎勵セサルカ故ニ保險契約ヲ以テ之ヲ保護セサルカ如シ我國ニ於ケル公娼ハ果シテ如何ナル性質ノモノナルヤ甚タ明晰ナラス惟フニ亦法律上獎勵スルモノニ非サル可シ左レハ公娼ノ保險ニ關シテハ未ダ判決例ナシト雖モ其法律上寧ろ嫌忌ス可キモノニ屬スルヲ以テ保險ノ性質上正當ノモノトシテ之ヲ保護ス可キニ非スト信ス

終ニ一言ス可キハ同一ノ保險契約ニ於テ適法ノ被保險利益ト不適法ノ被保險利益トカ併存スルトキハ之ヲ如何ニス可キヤトノコト是ナリ若シ適法ノ被保險利益ト不適法ノ被保險利益トカ分離スルコトヲ得ル場合ニハ其適法ノモノニ付テノミ保險契約ハ有効ナリトス若シ又二者分離ス可カラサル場合ニ於テハ其保險契約ハ全然無効ニ歸スルモノトス要スルニ二者ヲ分離スルコトヲ得ルヤ否ニ依リテ差異アルモノナリ

以上被保險利益ノ性質ヲ講了セリ是ヨリ進ンテ被保險利益ノ價額ニ付キ説述スル所アラントス元來被保險利益ト損害賠償額トハ離ル可カラサル關係ヲ有シ如何ナル場合ニ於テモ被保險人ハ被保險利益ノ額ヲ超過シテ賠償額ヲ請求スルコトヲ得ス若シ之ヲ許ストキハ保險ノ主要素タル補償ノ性質ニ反スルニ至ル故ニ被保險利益ノ額ハ損失賠償ヲ論スルニ當リテ之ヲ併論スルヲ便宜ト爲ス然レトモ本章ハ被保險利益ヲ論スルモノナルヲ以テ茲ニ其原則ヲ略述ス可シ

被保險利益ヲ論スルニハ當事者カ其價額ヲ特約シタル場合ト否ラサル場合トヲ分テ論スルヲ便宜トス故ニ以下其方法ヲ採ラントス

(第一) 特約ノ存セサル場合

特約ヲ以テ被保險利益ノ額ヲ定メサル場合ニ於テハ被保險物ノ普通價額ニ依リテ之ヲ定メサル可カラス例ヘハ一ノ家屋ヲ保險ニ付セハ其被保險利益ノ額ハ其家屋ノ普通價額ニ依リテ之ヲ定ム可キカ如シ然ラハ其普通價額ハ何レノ時ノ價額ヲ標準トシテ之ヲ定ム可キヤト云フニ我商法ハ此點ニ關シ何等ノ規定ヲ設ケスト雖モ一般ノ原則トシテハ危險發生ノ時ノ價額ニ依リテ之ヲ定ム

可キモノトス我商法ノ起稿者タルロエスレル氏ハ不動産ノ被保險利益ノ額ハ保險契約ヲ締結スル當時ノ普通價額ニ依リテ算定ス可キモノナリト論セリ其理由トスル所ヲ聞クニ曰ク元來保險料ヲ定ムルニ付テハ保險契約ヲ締結スル當時ノ價額ヲ標準トシテ之ヲ定ムルモノナリ既ニ然ラハ保險物ニ付キ損失ヲ受ケタルトキ其賠償トシテ得ヘキ額モ亦保險契約締結ノ當時ノ價額ニ依ル可キモノナリト是レ一應理由アルカ如シ然レトモ明文ヲ以テ之ヲ規定セハ格別單ニ法理上ヨリ論スルトキハ決シテ此說ヲ首肯スルコトヲ得ス若シ此說ノ如クセハ保險ノ主要素タル補償ノ性質ニ背馳スルノ結果ト爲ル可シ

動産ニ付テハ我商法商法第三百六十三條ハ明カニ損害又ハ喪失ノ生シタル時及地ニ於ケル市場代價ニ依リテ之ヲ定ムル旨ヲ規定セリ是レ一般原則ノ適用ニシテ別ニ説明ヲ要セス然レトモ此規定ハ常ニ同一ノ場所ニ存在スル物ニ付テハ素ヨリ適用シ得ヘキモ夫ノ運送品ノ如ク始終轉輾スル物ニ付テハ之ヲ適用スルコトヲ得ス何トナレハ斯ノ如キ物ニ付キ危險ノ發生スルトキハ其場所數地ニ跨ルコトアリ又茫々タル原野若クハ洋々タル海上ニ於テ危險ノ發生スル

元利(元) = 利息(元) + 元金(元)

コトアリ從テ市場代價ナルモノナキコトアレハナリ故ニ運送品ニ付テハ例外  
 ナ設ク發送地ノ普通價額ニ依リテ之ヲ定ム可キモノトセリ亦止ムヲ得サルノ  
 ミ  
 次ニ債權カ被保險物ナルトキハ其被保險利益ノ額ハ如何ニシテ之ヲ定ム可キ  
 モノナルヤト云フニ我商法第六百三十三條ハ明カニ債務額ニ利息及ヒ取立費  
 用ヲ合算シタルモノヲ以テ被保險利益ノ額トセリ元來債權ヲ保險ニ付スルト  
 云フハ甚ダ奇怪ナルカ如シト雖モ債權モ亦財產ニシテ金錢ヲ以テ計算シ得ヘ  
 キモノナルカ故ニ之ヲ保險ニ付スルハ素ヨリ差間ナシ而シテ之ヲ保險ニ付ス  
 ルハ債務者カ辨濟ヲ爲スコト能ハサル場合ニ保險者ヨリ辨濟ヲ得ルヲ目的ト  
 ス換言スレハ債務者ノ辨濟能力ヲ保險ニ付スルナリ此場合ニ於テモ亦危險ノ  
 發生シタル當時ノ價額ニ依リテ被保險利益ノ額ヲ定メ且ツ其時マテノ利息及  
 取立費ヲ合算ス可キモノトス  
 終ニ債權ノ擔保物ヲ保險ニ付スルコトアリ此場合ニハ其債權ノ元利及取立費  
 ナ合算シタルモノト擔保物ノ價額トヲ比較シ其少額ノモノヲ以テ被保險利益

ノ額ト爲ス例ハ五千圓ノ價額ヲ有スル物件ヲ四千圓ノ債權ノ擔保ト爲シタ  
 ルトキハ比較上債權額少キヲ以テ其四千圓ヲ被保險利益ノ額ト爲シ又同一物  
 件ヲ六千圓ノ債權ノ擔保ト爲シタルトキハ比較上擔保物ノ價額少キヲ以テ其  
 五千圓ヲ被保險利益ノ額ト爲スカ如シ其理由ハ債權者ノ擔保物上ニ有スル利  
 益ハ常ニ債權ノ元利及取立費ヲ合算シタルモノト其物件ノ價額トヲ比較シテ  
 其少額ナルモノニ止マレハナリ

(第二) 特約ノ存スル場合

當事者ハ特約ヲ以テ豫メ被保險利益ノ額ヲ定ムルコトヲ得然ルトキハ必ス其  
 豫定額ヲ標準トシテ賠償額ヲ定ム可キモノトス是レ我商法第六百三十二條ノ  
 明規スル所ニシテ諸國ノ法制亦悉ク一轍ニ出ツ  
 當事者ノ特定價額ト普通價額トハ常ニ必スシモ同一ニ非ス殊ニ歷史上ノ書畫  
 及骨董品ノ如キハ各人ノ着眼ニ因リテ其價額ヲ異ニスルヲ免カレス而シテ法  
 律ハ各人ノ自由ニ價額ヲ付スルヲ拘束スルノ理由ナシ故ニ苟モ當事者カ誠意  
 ナリ被保險物ノ價額ヲ約定シタルトキハ其價額ハ決シテ動ス可キモノニ非

ス而シテ此價額ヲ定ムルニハ物品ノ原價ニ保險料及一般ノ保險費用ヲ合算シテ之ヲ定ムルコトヲ得又被保險物カ商品ナルトキハ將來取得シ得ヘキ利益ヲモ豫測シテ之ヲ價額中ニ算入スルコトヲ得然レトモ價額ヲ定ムルニ付キ強暴若クハ詐欺其他價額カ著シク過當ニシテ詐欺ト同一視ス可キトキハ之ヲ變更スルコトヲ得而シテ強暴若クハ詐欺ノ存スルトキハ被害者ハ保險契約ヲ解除スルコトヲ得ヘシ又特約ノ存セサルモノト看做スコトヲ得ヘシ

#### 第四章 危險

##### 第一節 危險ノ性質

商法第六百二十六條第一項ハ規定シテ曰ク「保險スルコトヲ得ヘキ危險ハ主トシテ火災、地震、暴風雨其他ノ天災、陸海運送ノ危險、死亡及ヒ身體上ノ災害ナリ然レトモ其他ノ危險ニ對スル保險ハ之カ爲メニ妨ケラル、コト無シ」ト火災及地震ハ建物、貨物、商品其他家財ニ對スル危險タリ又暴風雨ハ専ラ農産物及建物ニ對スル危險タリ又其他ノ天災トハ廣汎ノ意味ヲ有スルモノニシテ人爲ヨリ生セサル災害例ヘハ旱魃、霜雹ノ害ノ如キモノヲ云フ又陸海運送ノ危險トハ總テ運送中ニ起生

危險  
危險ノ性質

ス可キ危險ヲ云フ而シテ此陸上運送中ニハ陸内ノ水上即チ湖水、河川、堀割等ヲ包含シ海上運送トハ陸外ノ水上運送ヲ指ス海上運送ノ保險ニ付テハ我商法ハ第二編ニ於テ特ニ之ヲ規定セリ又死亡及身體上ノ災害トハ人ノ死去シ其他疾病、創傷等ノ災害ヲ指スモノニシテ死亡ニ關スル保險ヲ生命保險ト云ヒ身體上ノ災害ニ關スル保險ヲ病傷保險ト云フ此等ノ危險ハ要スルニ普通人カ保險ニ付スル重要ナルモノヲ掲ケタルモノナリ從テ此他ノ危險ト雖モ素ヨリ保險ニ付スルヲ妨ケス然レトモ保險ハ補償ノ性質ヲ帶フルモノナルカ故ニ保險ニ付スルコトヲ得ヘキ危險ニハ必ス左ノ條件ヲ具備セサル可カラス

- 第一、被保險者ノ身體若クハ財産上ニ損害ヲ及ホスモノナラサル可カラス
- 第二、危險發生ノ確定セサルカ又ハ豫知シ得ヘカラサルモノナラサル可カラス

第三、被保險者ノ故意ノ所爲ニ基カサルモノナラサル可カラス 被保險者ノ故意ノ所爲ニ基ク危險ハ保險契約ヲ以テ之ヲ保護スルコトヲ得ス例ヘハ火

災保險ヲ取結ヒタル場合ニ被保險者カ自ラ被保險物ニ放火シタルトキハ其損失ノ賠償ヲ得ヘカヲサルカ如シ縱令特約ヲ以テスルモ被保險者ノ故意ノ所爲ニ基ク危險ノ保險ハ法律上無効ナリ而シテ被保險者カ被保險物ニ對シテ非行ニ上ル所ノ所爲ヲ犯シタルトキハ縱令其非行ハ故意ニ因ラスシテ疎虞若クハ懈怠ニ基クモ尙ホ保險契約ノ保護ヲ受クルコトヲ得ス然レトモ或種ノ保險ニ於テハ被保險者ノ疎虞懈怠アルモ保護ヲ受クルモノアリ例ヘハ火災保險ノ如シ即チ火災保險ニ在テハ過チテ被保險物ヲ燒失セシムルモ尙ホ保護ヲ受クルモノトス詳細ノ講述ハ之ヲ各種ノ保險ニ讓ルモ要スルニ一般ノ原則トシテハ被保險人ノ故意又ハ非行アリタルトキハ法律上之ヲ保護セス其非行ノ疎虞若クハ懈怠ニ基クトキト雖モ亦同一ナリトス

### 第二節 危險ノ範圍

保險者ノ擔保スル所ノ危險ハ何時ニ始マリ何時ニ終ルモノナルヤ即チ危險ノ範圍如何トノ問題ハ保險法上極メテ重要ナル問題ナリ何トナレハ保險者ノ負擔スル所ノ損害ハ其擔保スル危險ノ爲メニ生シタルモノナラサル可カラズ其以前若クハ以後ニ於テ危險ヲ生スルモ之ヲ賠償ス可キモノニ非サレハナリ而シテ此危險ノ範圍ハ各保險ニ於テ其趣ヲ異ニスレトモ一般ノ原則ハ極メテ簡短ナルモノナリ唯々保險ノ各場合ニ於テ此原則ヲ適用スルニ當リ實際上困難ヲ感スルニ外ナラス

危險ノ範圍

元來當事者ハ保險契約締結ノ際危險ノ範圍ヲ定ムルヲ通例トス而シテ其之ヲ定メタルトキハ別ニ困難ナル問題ヲ生セス然レトモ當事者ニ於テ危險ノ範圍ヲ定メサルトキハ如何ト云フニ此場合ニハ普通契約ニ關スル原則ニ從ヒ諸般ノ狀況及契約ノ性質ヲ鑑査シ以テ當事者ノ意思ヲ推測シテ之ヲ定ム可キモノトス若シ當事者ニ於テ何等ノ合意ヲ爲セルコトナシト認メラル、トキハ保險契約ハ未ダ完全ニ成立セス何トナレハ重要ノ點ニ於テ合意ヲ缺クナリテナリ然レトモ苟モ保險契約ヲ締結シ而シテ他ニ何等反對ノ意思ヲ表示セス若クハ反對ヲ證スル狀況ノ存セサルトキハ其契約締結ノ當時ヨリ危險ヲ保險ニ付シタルモノト看做スルヲ原則トス且ツ我商法第六百三十六條ノ規定ニ依レハ明示ノ方法ヲ以テ契約ヲ締結スルトキハ保險シタル危險ノ開始ヲ契約以前ニ遡ラシムルコトヲ得例ヘハ

保險法 總論 危險ノ範圍

今日保險契約ヲ締結シ而シテ其効力ヲ一个月以前ニ遡ラシムルコトヲ得ルカ如シ如何ナル場合ニ於テ斯ノ如キ契約ヲ締結スルノ必要アリヤト云フニ例ハ船カ一个月以前ニ英國ノリバプール港ヲ出帆シ既ニ上海若クハ香港ニ到着ス可キニ未ダ何等ノ音信タモナキカ故ニ或ハ海上ニ於テ危險ニ罹リタルヤ知ル可カラサルヲ疑フカ如キ場合ニ於テハ船主ハ保險會社ト結約シテリバプールヲ出帆シタル以來ノ危險ヲ擔保セシムルノ必要アリ此保險契約ノ効力ヲシテ既往ニ遡ラシムルニハ下ノ二條件ヲ必要トス即チ(一)當事者雙方ニ於テ危險ノ生シタルコトヲ知ラサルコト(二)既ニ危險ノ生シタルモ有効タル可キ旨ヲ明示シタルコト是ナリ(商法第六百三十六條)

以上ハ一般ノ原則トシテ危險ノ範圍ヲ定ムル所ノ方法ナリ要言スレハ當事者ノ意思ニ依リテ危險ノ範圍ヲ定ム可シト云フニ外ナラス故ニ其原則ハ甚ダ簡短ナリト雖モ其簡短ナルカ爲メニ却テ適用上困難ヲ感セサルヲ得ス例ハ火災保險ノ場合ニ於テ保險ニ付シタル危險ノ期間繼續中ニ火災發生シ漸々火勢増加シテ其期間經過後ニ至リ家屋ノ全體燒失シタルト假定センニ此場合ニ於テハ保險者

ハ其家屋全體ニ付キ損失賠償ノ責ニ任ス可キヤ否ノ疑問ヲ生ス我國ニ於テハ斯ノ如キ場合ニ關スル特別ノ規定及ヒ判決例ナシト雖モ今之ヲ英國ノ判決例ニ徵スルニ判事アローゼット氏判決ヲ與ヘテ曰ク斯ノ如キ場合ニハ火災ノ發生シタル時ヲ以テ既ニ損失ヲ生シタルモノト看做ス可シ從テ保險者ハ全部ノ損失ヲ賠償スルノ責任アリト想フニ火災ノ發生シタルハ保險シタル危險ノ繼續期間中ニシテ而シテ家屋ノ燒失セルハ既ニ發生シタル火災ノ自然ノ結果タリ從テ法律上損失ハ火災ノ發生シタル時既ニ生シタルモノト看做ス可シト云フニ外ナラサル可シ然レトモ此判決例ノ趣旨ヲ適用スルコ方リテハ大ニ注意ヲ要ス例ハ將ニ保險シタル危險ノ期間經過セントスルニ方リ隣家ニ火災ヲ發生シ而シテ被保險物タル家屋ハ其期間經過後ニ於テ燒失シタルカ如キ場合ニハ此原則ヲ適用ス可カラス又生命保險ニ付テハ英國ニ於テ全ク右ト反對ノ判決例アリ即チ生命ヲ失フニ足ル可キ危害カ保險期間中ニ發生スルモ實際生命ヲ失フハ期間ノ經過後ナルトキハ保險者ニ於テ損失賠償ノ責任ナシトセリ此判決例ハ前ノ火災ニ關スル判決例ト相抵觸スルコトナキヤノ感ナキ能ハス是レ原則ヲ實際ニ適用スルニ困難

ナル一例タリ免ニ角原則トシテハ損失カ保險期間中ニ發生シタリト看做スコト  
ヲ得ル場合ニ於テハ保險者ハ賠償ノ責任ヲ負擔ス可キモノトス而シテ如何ナル  
時期ニ於テ生シタル損失ヲ保險期間中ニ生シタルモノト看做ス可キヤハ要スル  
ニ是レ事實上ノ問題ナリ

尙ホ商法第六百二十六條第三項ニ付テ一言センニ同項ニハ保險ハ別段ノ契約ア  
ルニ非サレハ保險料支拂期間ニ生スル諸般ノ危險殊ニ相次テ生スル危險ニ及フ  
モノトス然レトモ保險者ハ如何ナル事情アルモ被保險額ヲ超エテ賠償ヲ爲スコ  
トヲ要セストアリ此意義ハ例ヘハ此學校ヲ一个年百圓ノ保險料ヲ以テ二個年間  
金五千圓ノ火災保險ニ付シタリト假定シ此場合ニ於テ一个年ノ期間ハ即チ保險  
料支拂期間ナリ而シテ此學校カ其第一ノ期間内ニ數回火災ニ罹テ其都度損害ヲ  
受ケタリト假定センニ然ルトキハ保險者ハ被保險者ニ對シテ數回ニ生シタル損  
害ヲ總テ賠償ス可キモノトス然レトモ保險ハ元來補償ノ性質ヲ有スルモノナル  
カ故ニ如何ナル事情アルモ被保險額ヲ超エテ賠償ヲ爲スコトヲ要セス例ヘハ此  
學校カ數回ノ火災ニ因リテ六千圓ノ損害ヲ生スルモ保險者ハ被保險額五千圓ヲ

賠償スレハ足レリ茲ニ注意ス可キハ法文ニハ「保險料支拂期間ニ生スル諸般ノ危  
險云々トアルカ其保險料支拂期間ノ意義甚タ明確ナラス之ヲ保險期間ト解スル  
トキハ何等ノ不都合ナキモノ之ヲ其文字ノ示ス如ク保險料支拂期間ト解スルトキ  
ハ甚タ不條理ノ結果ヲ生ス例ヘハ此學校ヲ一个年百圓ノ保險料ニテ火災保險ニ  
付スルトセハ其一个年ハ保險期間ナリ然レトモ保險料ノ支拂期間ニ至テハ當事  
者ノ都合上或ハ四季若クハ十二回ニ分割スルコトナシトセス此場合ニ於テ法文  
ニ所謂保險料支拂期間ニ該當スルモノハ保險期間ナルヤ又ハ單ニ保險料ノ支拂  
期間ナルヤ前者ナリトセハ法文ノ規定素ヨリ正鵠ヲ得タルモノナルモ若シ後  
者ナリトセハ甚タ不當ナル規定ト謂ハサル可カラズ何トナレハ保險料ハ元來危險  
ニ對當ス可キモノタリ而シテ一个年ニ付キ百圓ノ保險料ヲ以テ保險契約ヲ取結  
ヒタルトキハ一个年間ノ危險ヲ一ノ危險ト看做シ之ニ對シテ百圓ノ保險料ヲ約  
定シタルモノト謂ハサル可カラズ故ニ實際上保險料支拂ノ期間ヲ分割スルコト  
アルモ火災ノ危險ナルモノハ決シテ分割スルヲ得ス從テ之ヲ四分若クハ十二分  
ニ分割シ而シテ此期間ニ應シテ保險料ヲ分割シタルモノト看做ス可カラサルヤ



明カナリ即チ保険料支拂期間ト保險期間トハ全ク別異ノモノナリトス左レハ右  
 第六百二十六條第三項ノ規定ハ當事者カ保險料支拂期間ト併セテ保險期間ヲ定  
 メタル場合ニノミ適用セサル可カラズ例ヘハ此學校チ一个月十圓ノ保險料ニテ  
 一个年間火災保險ニ付シタリトセンコ此場合ニハ保險料支拂期間ト併セテ保險  
 期間ヲ定メタルモノナリ又東京ヨリ長崎マテ五百圓長崎ヨリ上海マテ五百圓ノ  
 保險料ヲ以テ海上保險契約ヲ取結ヒタルトキハ東京ヨリ長崎マテチ一ノ保險期  
 間トシ長崎ヨリ上海マテチ一ノ保險期間ト爲ス可シ之ニ反シテ東京ヨリ上海  
 マテ一千圓ノ保險料ヲ以テ海上保險契約ヲ取結ヒタルトキハ東京ヨリ上海マテ  
 ノ航海期間ヲ以テ一ノ保險期間ト爲ス可シ縱令長崎ニ寄港スルコトアルモ其期  
 間ヲ分割スルコトヲ得サルナリ要スルニ保險期間ト保險支拂期間トハ同一ナル  
 コトアリ否ラサルコトアルモ立法上ノ精神ハ保險期間ヲ規定セルモノタルニ外  
 ナラスロエスレル氏ノ説明ニ依ルモ亦其精神ナルコト明カナリトス  
 次ニ被保險物ノ所在ノ場所モ亦危險ノ範圍ヲ定ムルニ付キ必要ナル關係アリ例  
 ヘハ此學校ノ圖書室ニ存在スル書籍ヲ火災保險ニ付セル場合ニ其書籍ヲ他ノ場

所ニ移轉シタルトキ危險發生スルモ保險者ハ其損害ヲ賠償スルノ義務ナシ故ニ  
 一般ニ之ヲ言フトキハ保險契約締結ノ當時被保險物カ存在シタル場所ニ於テ發  
 生シタル危險ニ付テノミ保險者ハ賠償ノ責任ヲ負擔スルモノトス但特約アルト  
 キハ素ヨリ其特約ニ從フ可キナリ即チ當事者カ別段ノ意思ヲ有スルトキ又ハ契  
 約ノ性質上別段ノ意思ヲ推測シ得ルトキハ其別段ノ意思ニ從フ可キモノトス例  
 ヘハ運送品ノ保險ノ場合ニ於テハ被保險物ハ各地ニ轉輾スルコト素ヨリ當事者  
 ノ豫期スル所ナルヲ以テ其契約ノ性質上保險者ノ擔保スル所ノ危險ハ契約ノ當  
 時被保險物ノ存在セル場所ニ限ラサルカ如シ然ルニ果シテ當事者間ニ特別ノ意  
 思アルヤ否ニ付キ疑アルトキハ之ヲ如何ニ決定ス可キ乎即チ被保險者ノ利益ニ  
 解釋ス可キカ將テ保險者ノ利益ニ解釋ス可キカト云フニ佛國法ノ主義ニ依レハ  
 一般ノ原則トシテ疑アルトキハ義務者ノ利益ニ解釋ス可キモノトセリ而シテ保  
 險ノ場合ニハ保險者カ義務者ナルカ故ニ其利益ニ解釋シテ被保險物カ契約ノ當  
 時存在セシ場合ニ於テ發生スル危險ニ限り保險者ハ其責任ヲ負擔スルモノト爲  
 サ、ル可カラズ然レトモ英米ノ法律ハ全ク佛國法ト反對ノ主義ヲ採用シテ保險

者ノ不利益ニ解釋ス可キモノトセリ其理由トスル所ハ危險ノ範圍ハ保險證券ニ依リテ定ム可キモノナリ而シテ保險證券ハ保險者ノ作成シタルモノナルカ故ニ證書ハ之ヲ作成シタル者ノ不利益ニ解ス可シトノ一般ノ原則ニ依リ保險者ノ不利益ニ解釋ス可シト云フニ在リ然ラハ此證書ハ其作成者ノ不利益ニ解ス可シトノ原則ヲ生シタルノ理由如何ト云フニ證書ノ作成者ハ之ヲ作成スルニ當テハ自己ノ好ム所ノ文字ヲ選擇シタルモノト推測スルコトヲ得ヘシ故ニ證書ニ付キ疑アルトキハ其作成者ノ不利益ニ解スルコト至當ナリト云フニ在リ即チ單ニ義務者タルノ故ヲ以テ其利益ニ解釋スルノ理由ナシ若シ義務者ノ利益ニ解釋ス可シトセハ又權利者ノ利益ニ解釋ス可シト言フコトヲモ得ヘシト爲スナリ我國ニ於テハ果シテ何レノ主義ヲ採用スルヤト云フニ舊民法ハ佛國法ノ主義ニ依レルコト明カナリトス

最後ニ一言ス可キハ數多ノ物件ヲ一括シテ保險ニ付スル場合はナリ例ヘハ此學校ノ圖書室ノ書籍ヲ一括シテ保險ニ付シタルトキハ其包括物全體ヲ一物ト看做スカ故ニ縱令其分子ハ變更スルコトアルモ包括物ハ毫モ變更スルコトナシ從テ

保險契約ニ何等ノ影響ヲ及サス即チ包括物ノ分子ハ契約ノ當時ニ比シ多少ノ變更アリタルモ現存物ニ危險ノ發生シタルトキハ保險者ハ常ニ之ヲ賠償セサル可カラサルナリ

保險料

第五章 保險料

抑モ保險契約ハ二个ノ約束ヨリ成立スルモノナリ即チ被保險者ニ於テハ保險料ヲ支拂フコトヲ約束シ又保險者ニ在テハ危險ヲ擔保スルコトヲ約束シ此二个ノ約束相互ニ約因ト爲リテ保險契約ヲ成立シムルモノトス故ニ保險料ハ危險擔保ニ對スル代價ナリト謂フ可シ然レトモ此代價タル賣買ノ代價ト異ナリ必スシモ金錢タルヲ要セス金錢以外ノモノト雖モ尙之ヲ以テ保險料ト爲スヲ得ヘシ例ヘハ社員相互ニ保險ヲ爲スコトヲ目的トシテ會社ヲ設立シタル場合ノ如キハ一社員ニ於テ他ノ社員ノ危險ヲ擔保スルコト即チ保險料ト爲ルモノナリ又保險料ハ必スヤ當争者ニ於テ明示若シハ暗黙ノ方法ニ依リ其數額ヲ約定セサル可カラサルコト猶ホ賣買ノ場合ニ於テ當事者カ代價額ヲ一定ス可キモノナルト同一一般ナリ若シ當事者カ保險料ヲ約定セサルトキハ保險契約ハ未タ成立セサルカ故ニ裁

判所ト雖モ相當ノ保險料ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得ス尤モ其保險料ハ強テ危險ニ相當センコトヲ要スルニ非ス危險ニ相當スルヤ否ヤハ全ク當事者ノ決定ニ任ス可キ事項ニシテ苟モ當事者カ其數額ヲ定メタル以上ハ單ニ保險料不相當ナリトノ理由ヲ以テ契約ノ効力ヲ打破スルヲ許サス英國ノ判事ロウレンス氏曰ク「保險料ハ危險ニ相應シテ支拂セラル可キ代價ナリ」ト其意義タルヤ保險者ノ負擔スル危險ト被保險者ノ支拂フ可キ保險料トハ客觀的ニ相當ナラサル可カラサルニ非ス之ヲ主觀的ニ觀察シテ苟モ當事者カ相當トシテ約定シタル以上ハ到底之ヲ動カス可カラサルコト賣買ノ代價ニ同シト云フニ在リ次ニ保險料ハ素ヨリ前拂ヲ爲スコトヲ要セス只タ英米ノ慣例ニ依レハ海上保險ヲ除キ其他ノ保險ニ於テハ實際保險料ヲ支拂フ迄契約ノ効力ヲ生セサル可キ旨ヲ特約シ保險料ノ支拂ヲ以テ保險契約ノ停止條件ト爲スヲ通常トス從テ英米法律ニ在リテハ普通ノ保險ハ保險料ノ支拂ヲ以テ停止條件ト爲スニ非サル乎ノ疑問ヲ惹起シ學者往々誤認ニ陥ルコトアリ然レトモ余ヲ以テ看レハ此保險料前拂タル恐ラクハ特約ノ結果ニシテ法律ノ規定ニ基因スルモノニ非サル可シ我商法ニ於テハ勿論保險料ノ前

拂ヲ必要トセス實際ノ慣例ニ於テモ亦敢テ其必要ヲ認メサルカ故ニ此點ニ付テハ別ニ疑問ヲ生スルコトナシ然レトモ當事者ハ自由ニ條件ヲ約定スルヲ得ヘシ從テ又保險料ノ前拂ヲ以テ保險契約ノ停止條件ト爲スヲ得ルモノトス但此條件ハ全ク保險者ノ利益ノ爲メ設定スルモノナルカ故ニ保險者ハ隨意ニ其利益ヲ拋棄スルコトヲ得ヘシ而シテ又此點ニ付テハ法律上何等ノ規定モ存在セサルヲ以テ明示ノ方法ハ勿論默示ノ方法ニ依ルモ尙ホ拋棄ヲ爲スコトヲ得ルモノト解釋セサル可カラス又保險者ニ於テ既ニ條件ヲ拋棄シタル以上ハ當初ヨリ條件ノ約束ナキ場合ト同一ノ結果ヲ生ス可シ例ヘハ保險者カ特ニ保險料ノ支拂ニ付テ猶豫ヲ與フルカ又ハ手形ヲ以テ支拂フコトヲ承諾シタル場合ノ如キ是ナリ  
 上述セルカ如ク保險料ハ危險ノ擔保ニ對スル所ノ報償ナルカ故ニ被保險者カ保險料ヲ支拂フ可キ義務ノ範圍ハ保險者ニ於テ危險ヲ擔保スル責任ノ範圍ニ應スルモノニシテ即チ保險者ノ擔保スル危險大ナルトキハ保險料モ亦多額ナル可ク保險者ノ擔保スル危險小ナルトキハ保險料モ亦少額ナラサルヲ得ス若シ保險者ノ擔保スル危險全ク發生セザルトキハ被保險者ハ毫モ保險料ヲ支拂フノ義務ナ

シ前項ロウレンス氏カ保險料ハ危險ニ相應シテ支辨セラル可キ代價ナリト謂フハ蓋シ此意ナラン以下先ツ危險ノ全ク發生セサル場合ヨリ講述センニ此場合ハ即チ保險ノ効力未ク發生セサルモノナリ既ニ述ヘタルカ如ク保險ハ危險ヲ冒スコトヲ條件ト爲ス所ノ契約タリ若シ危險發生セサルコトアラシカ結局危險ヲ冒シタルモノト云フ可カラス冒ス可キ危險ナクシハ條件未ク具備セサルヲ以テ素ヨリ被保險者ニ於テ保險料ヲ支拂フ可キ義務ヲ負擔スルノ理ナシ從テ既ニ保險料ヲ支拂ヒタルトキハ之ヲ取戻スコトヲ得ルヤ論ヲ俟タス英國法律ニ依レハ危險ノ發生セサル原因ハ被保險者ノ過失故意若クハ隨意ニ在ル場合ト雖モ尙ホ保險料ヲ支拂フノ義務ナク又既ニ之ヲ支拂ヘタルトキハ其取戻ヲ請求シ得ルモノト爲シ「ロード」マンズフィールド卿モ判決例ニ於テ之ヲ明言セリ蓋シ保險契約ハ危險ヲ冒スコトヲ條件ト爲スモノナルカ故ニ苟モ其條件成就セサル以上ハ縱令其不成就カ被保險者ノ所爲ニ基ツキタル場合ニ於テモ保險料支拂ノ義務ヲ生セスト云フニ在リ然ラハ我商法ニ於テハ果シテ英國法律ノ理由ヲ適用シ得ルヤ否ト釋スルニ少シク疑團ナキヲ得ス商法第六百五十五條ニ依レハ保險契約ハ危險ノ

被保險者ニ對シテ發生スルコトヲ條件ト爲ス旨ヲ明言セリ是故ニ苟モ條件成就セサル以上ハ未ク保險契約ノ効力ヲ生スルコトナキヲ以テ英國ノ「ロード」マンズフィールド卿ノ謂ヘル如ク被保險者ハ何等ノ義務ヲモ負擔セスト論了セサル可カラ然ルニ第六百五十七條ニ依レハ契約カ被保險者ノ過失ナクシテ無効タル場合ニ於テハ被保險者ハ既ニ支拂ヒタル保險料ノ全部ヲ取戻シ得ルコトヲ規定セリ今夫レ危險ノ發生セサルハ被保險者ノ故意若クハ過失ニ基クトセハ即チ契約ノ無効ハ被保險者ノ過失若クハ故意ニ因ルモノト云ハサル可カラス從テ被保險者ハ既ニ支拂ヒタル保險料ヲ取戻シ得サルノ論結ヲ生シ茲ニ法文ノ抵觸ヲ看ル可シ然レトモ若シ無効ノ契約ト不成立ノ契約即チ條件ノ成就セサル契約トヲ區別スルノ議論正當ナリトセハ第六百五十七條ハ契約無効ノ場合ヲ規定シ第六百五十五條ハ契約不成立ノ場合ヲ規定シタルモノト云フ可ク而シテ契約不成立ノ場合ニ在リテハ縱令被保險者ノ過失ニ出ツルモ尙ホ保險料ヲ支拂フノ義務ヲ負擔セスト謂フ可クシテ茲ニ復タ法條ノ抵觸ヲ來スノ憂ナカラシ左レトモ其孰レカ穩當ナルヤハ之ヲ諸君ノ研究ニ一任セントス

保險無効ノ場合ニ於テ被保險者ニ過失アラサルトキハ被保險者ハ毫モ保險料ヲ支拂フノ義務ナク又既ニ其支拂ヲ爲シタルトキハ取戻ヲ請求スルヲ得ヘシ是レ別ニ説明ヲ要セサル所ナリ又當事者カ任意ニ保險契約ヲ解除シタル場合ニ於テ特別ノ約束アラサルトキハ被保險者ハ素ヨリ保險料ヲ支拂フノ義務ヲ負擔セス從テ既ニ支拂ヲ爲シタルトキハ其全部ヲ取戻スコトヲ得ヘシ又重複保險及ヒ超過保險ノ場合ニ於テハ超過部分ニ對スル保險料ハ危險減少ノ割合ニ應シテ之ヲ控除スルコトヲ得ヘシ若シ既ニ全部ノ支拂ヲ爲シタルトキハ其部分ノ取戻ヲ請求シ得ルモノトス重複保險及ヒ超過保險ニ付テハ後段ニ至リテ詳述スル所アル可シト雖モ茲ニ之ヲ概言スレハ重複保險トハ價格一萬圓ノ家屋ヲ甲乙兩會社ニ對シテ各別ニ一萬圓宛ノ保險ニ付スルカ如キ場合即チ價格一萬圓ノ物件ヲ二萬圓ノ保險ニ付シタルト同一ノ場合ヲ云ヒ超過保險トハ例セハ一萬圓ノ家屋ヲ一萬五千圓ニテ保險ニ付スルカ如キ場合ヲ云フ斯ル場合ニ於テハ被保險者ハ孰レモ一萬圓ヲ超過シテ損害ノ補償ヲ請求スルヲ許サス故ニ價格一萬圓ノ物件ニ對シテ一萬五千圓若クハ二萬圓ノ物件ニ相當スル保險料ヲ支拂ヒタルトキハ則チ

其超過部分ノ取戻ヲ請求スルコトヲ得ヘシ然レトモ若シ被保險者カ詐欺ノ意思ヲ以テ超過保險又ハ重複保險ヲ爲シタルトキハ決シテ保險料ヲ取戻スコトヲ得ス其取戻ヲ請求シ得ルハ唯々被保險者ノ過失ニ係ルトキ即チ惡意ナキ場合ニ限ルモノトス  
 次ニ被保險利益ノ減少シタル場合ニ於テモ亦被保險者ハ其減少ノ割合ニ應シテ保險料ノ償還ヲ請求スルコトヲ得ヘシ被保險利益ハ時間ノ點又ハ分量ノ上ヨリ減少ヲ來ズコトアリ例ヘハ或家屋ヲ一个年百圓ノ保險料ニテ二个年間保險ニ付シタリトセンニ若シ被保險者カ最初ノ一年內ニ其家屋ヲ取崩シタルトキハ結局被保險利益ハ單ニ一年間存續セルニ過キスシテ即チ時間ノ點ニ於テ半減シタルモノト謂フ可シ又千圓ノ密柑ヲ運送保險ニ付セシ場合ニ於テ實際五百圓ノ密柑ヲ運送ニ託シタルニ過キサルトキハ即チ被保險利益ハ分量ノ點ニ於テ半減セルモノト云フ可シ故ニ此等二个ノ場合ニ在テハ保險者ノ負擔スル危險モ亦其一半ヲ減少シタルモノト爲サ、ル可カラス是レ被保險者カ其危險減少ノ割合ニ應シテ保險料ノ減額ヲ請求シ得ル所以ナリ然レトモ此原則ヲ適用スルニ付テハ先ツ

危険ノ分量ニ從ヒテ保險料ヲ分割シ得ルヤ否ヤノ問題ヲ研究セサル可カラズ若シ保險料カ危険ノ分量ニ應シテ分割シ得サルモノナラシニハ被保險者ハ如何ナル場合ニ於テモ全部ノ保險料ヲ支拂フ可キモノトス例ハ或家屋ヲ一年間百圓ノ保險料ニテ火災保險ニ付シタル場合ニ於テ其家屋カ六個月ノ後他ノ原因ヨリ消失スルコトアルモ尙ホ被保險者ハ保險料ノ全部ヲ支拂ハサル可カラズ何トナレハ此場合ニ於テハ危険減少ノ割合ニ應シテ保險料ヲ分割スルヲ得ス保險者ハ一个年間ニ生スル危険全體ヲ分割セシテ之ヲ擔保シタルモノナレハナリ之ニ反シ密柑一函ニ付キ一錢ノ保險料ヲ以テ千函ヲ運送保險ニ付シタルトキハ危険ノ分量ニ應シテ保險料ヲ分割シ得ヘキヲ以テ若シ危険ノ減少スルコトアレハ則チ其割合ニ從テ保險料ノ控除ヲ請求スルコトヲ得ヘシ而シテ此問題ニ付テハ我商法上明文ノ規定アリテ存ス第六百五十五條後段ノ條規即是ナリ曰ク危険ノ減少又ハ其期間ノ短縮ノ爲メ保險料ヲ分割スルコトヲ得ルハ保險料支拂期間二回以上ノ保險料ヲ前拂シタルトキニ限ル保險料支拂期間ハ一个年タルヲ通例トスト此法文タルヤ吾人ノ甚々解釋ニ苦シム所ニシテ若シ文字ノ如ク正面ヨリ解釋

スルトキハ殆ント立法者ノ意思ノ所在ヲ知了スルコト能ハサルナリ今夫レ或家屋ヲ一个年五十圓ノ保險料ニテ火災保險ニ付シ而シテ其支拂ノ方法ハ之ヲ四期ニ區別シ第一期ニハ二十圓第二期ニハ十五圓第三期ニハ十圓第四期ニハ五圓ト云フカ如ク約定セリトセシニ我商法ニ依レハ斯ル場合ニ於テモ尙ホ二回以上ノ保險料ヲ前拂スルトキハ保險料ノ分割ヲ請求スルヲ得ルカ如ク然レトモ豈斯ノ如キ理アラシヤ且其分割ノ方法ニ付テモ疑ナキ能ハス即當事者ノ約定セル割合ニテ保險料ヲ分割ス可キモノナルヤ將タ一个年ノ保險料五十圓ヲ四分シ之ヲ以テ各三個月間ノ保險料ト爲スノ意ナルヤ又性質上分割シ得サルモノト雖モ尙ホ此條規ヲ適用シテ法律上分割ヲ強要スルモノナルヤ其決定如何ニ因リ極テ奇怪ナル結果ヲ生ス可シ余ヲ以テ看レハ既ニ述ヘタルカ如ク保險料支拂期間ノ文字ハ即チ保險期間ノ謂ナリト解釋スルノ正當ナルヲ信ス故ニ被保險者カ一ノ保險料ヲ以テ一ノ危険ヲ保險ニ付シタルトキハ到底其保險料ノ分割ヲ請求スルコトヲ得ス其之ヲ請求シ得ルハ保險期間數个アリテ且ツ二回以上保險料ヲ支拂ヒタル場合ニ限ルト解釋スルヲ正當トス決シテ文面ノ通ニ本條ヲ解釋スルヲ得ス尤

モ實際上ニ於テハ保險料支拂期間ハ即チ保險期間ナルコト多シト雖モ开ハ唯ダ偶然ノ暗合タルニ過キヌシテ法理上ヨリ云ヘハ此二ノ期間ハ全然其性質ヲ異ニスルヲ以テ毫モ之ヲ混同ス可カラス例ヘハ被保險者カ航海ヲ保險ニ付スルニ方リテ横濱ヨリ長崎迄千圓長崎ヨリ上海迄ハ二千圓上海ヨリ新嘉坡迄ハ二千五百圓ト云フカ如ク保險料ヲ約定シタリトセンニ此場合ニ於テハ横濱ヨリ長崎崎ヨリ上海上海ヨリ新嘉坡迄ノ航海ハ各一個ノ保險期間ヲ組成スルヲ以テ若シ船舶カ東京長崎間ニ於テ難破スルコトアレハ則チ千圓ノ保險料ヲ支拂ヒテ補償金ノ交付ヲ請求シ得ルモノトス其船舶カ長崎上海間若クハ上海新嘉坡間ニ於テ難破スルモ亦同シ畢竟スルニ立法者ハ保險料支拂期間ヲ規定セハ併セテ保險期間ヲモ規定シタルモノト爲スノ意ナラン然レトモ是レ法文上不分明ニシテ又斯ル規定ハ法理上妥當ヲ得タルモノニ非サルナリ

保險契約不法ナル場合ニ於テハ被保險者ハ既ニ支拂ヒタル保險料ヲ取戻スコトヲ得ルヤト云フニ此點ニ付テハ法文上何等ノ規定ヲ見スト雖モ余ハ其保險料ノ取戻ヲ許サ、ルヲ以テ穩當ナリト信ス若シ被保險者ニ於テ保險料ヲ取戻シ得ル

モノトセンカ結局不法ノ原因ヲ認メテ取戻ノ請求ヲ採容スルコト、爲ル可シ然レトモ法律ハ決シテ不法行爲ヲ行ヒタル者ニ裁判上ノ助力ヲ與フ可キニ非サルヲ以テ被保險者カ未ダ保險料ヲ支拂ハサリシトキハ爾後之ヲ支拂フノ義務ナキハ勿論既ニ其支拂ヲ爲シタルトキハ復之ヲ取戻スコトヲ得サルモノトス諸君或ハ言ハシ此場合ニ於テハ不當利得ヲ理由トシテ保險料ノ取戻ヲ請求シ得サル乎ト左レトモ其取戻ヲ請求スルニ付テハ不法行爲ヲ原因トスルノ外ナキヲ以テ究竟訴旨ヲ全ウスコトヲ得サルナリ又當初保險契約ヲ締結セル際ハ適法有効ナリシモ其後法律ノ變更ニ因テ不法ト爲リタルトキハ當事者ハ孰レモ契約上ノ義務ヲ免ル可シ而シテ被保險者ハ既ニ支拂ヒタル保險料ヲ取戻スコトヲ得ヘシ當事者カ適法ノ契約ヲ取結スル意思ヲ以テ締結シタルニ全然錯誤ニ因リテ不法ノ契約ヲ取結ヒタル場合ニ於テモ亦被保險者ハ其保險料ヲ取戻シ得ルモノトス而シテ又之ト同シノ當事者カ契約ヲ取結セルノ際覺知セサル事實ノ存在シタルニ因リ其契約不法ト爲リタル場合ニ於テモ猶ホ被保險者ハ保險料ノ取戻ヲ請求スルコトヲ得ヘシ然リト雖モ若シ被保險者カ欺騙スルノ意思ヲ以テ保險契

約ヲ取結ヒタルトキハ決シテ其保險料ヲ取戻スコトヲ許サズ即チ此場合ニ於テハ保險者ハ意外ノ利益ヲ占ムルノ結果ヲ生ス可シ尤モ被保險者ニ於テ單ニ陳述ス可キ事實ヲ默秘シタルニ過キサレカ又ハ詐欺ノ意思ヲ有セスシテ虛妄ノ陳述ヲ爲シタルニ因リ保險契約ノ解除セラル、場合ニ於テハ被保險者ハ保險料取戻ノ請求權ヲ得有スルモノトス又被保險者カ保險料ヲ支拂ハサルトキハ保險者ハ其契約ヲ解除シ得ルコト素ヨリ論ヲ俟タス唯タ我商法第六百五十四條ノ規定ニ依レハ保險者ハ受取證書ト引換ニ保險料ノ支拂ヲ請求セサル可カラズ然ラサレハ縱令被保險者ニ於テ保險料ヲ支拂ハサルコトアルモ直チニ契約ヲ解除スルコトヲ得サルナリ尤モ當初ノ契約ヲ以テ催告ノ義務ヲ免除シタル場合ニ於テハ若シ被保險者カ約定期間ニ保險料ヲ支拂セザレハ保險者ハ直チニ契約ヲ解除スルノ權アリ

終ニ臨ンテ一言ス可キハ保險料ハ何人ヨリ之ヲ支拂フ可キモノナル乎ノ問題はナリ凡ソ保險料ハ被保險者其權利承繼人若クハ此等ノ者ノ代理人ニ於テ之ヲ支拂セサル可カラズ代理權ヲ有セサル第三者ノ支拂ハ法律上何等ノ効力ヲモ生ゼ

類保險ノ種

第六章 保險ノ種類

サルカ故ニ保險者ハ保險料ノ支拂ナキモノトシテ契約解除ヲ主張スルコトヲ得ヘシ

茲ニ講述スル保險ノ種類ハ火災保險生命保險若クハ海上保險ト云フカ如ク危險ヲ標準トシテ立テタル所ノ種類ニ非スシテ各保險ニ通用スルヲ得ル所ノ種類ナリトス

重複保險

第一節 重複保險

重複保險トハ如何ナルモノナリヤト云フニ同一ナル被保險利益ニ付テ二人以上ノ保險者ト各別ニ取結フ所ノ保險契約ヲ云フ此種類ノ保險ハ同時ニ之ヲ取結フコトヲ得又時ヲ異ニシテ之ヲ取結フコトヲ得例ヘハ此學校ノ建物ヲ甲保險會社ト乙保險會社トニ對シテ各別ニ火災保險契約ヲ取結フ場合ニ於テ其被保險利益ハ何物ナリヤト云フニ共ニ同一ナル學校ノ建物ナリトス而シテ此建物ノ所有者カ被保險人トシテ二人以上ノ保險者ト各別ニ保險契約ヲ取結ヘルモノナルカ故ニ之ヲ重複保險ト稱スルナリ夫ノ同一物ニ付キ其所有者カ保險契約ヲ取結ヒ又



其賃借人カ保險契約ヲ取結フトキハ此二个ノ保險契約ハ等シク同一物ニ付テ取結ハレタルモノナルカ故ニ亦重複保險ノ觀ナキニ非ス然レトモ之ヲ以テ重複保險ト謂フ可カラズ何トナレハ所有者ハ所有權上ノ關係ヨリ保險契約ヲ取結ヒ又賃借人ハ其物ニ付キ賃借權ヲ有スルカ故ニ其關係上ヨリ保險契約ヲ取結フモノニシテ等シク同一物ヲ目的トスレトモ其被保險利益ハ同一ニ非サレハナリ

重複保險ハ何故ニ効力ヲ有スルヤノ疑問ヲ生ス何トナレハ同一ノ被保險利益ニ付テ二个以上ノ保險契約ヲ取結フモノナルカ故ニ各之ニ十分ノ効力ヲ有セシムルトキハ所謂保險ノ一大原則タル補償ノ性質ヲ破ルノ結果ヲ生ス例ヘハ一萬圓ノ價格ヲ有スル物件ニ付キ甲乙二个ノ保險會社ト各一萬圓ノ保險契約ヲ取結ヒタルトキハ其危險ニ罹リテ滅失シタル場合ニ於テ甲保險會社ヨリ一萬圓ノ賠償ヲ得乙保險會社ヨリモ一萬圓ノ賠償ヲ得結局一萬圓ノ物件ヲ滅失シタルニ因リ二萬圓ノ賠償ヲ得ルニ至リ斯ノ如キハ保險ノ性質上許容ス可キニ非サレハナリ然レトモ重複保險ハ斯ノ如ク一萬圓ノ物件ヲ保險ニ付シテ二萬圓ノ賠償ヲ得ルノ効力ヲ有スルモノニ非ス只一萬圓丈ノ補償ヲ得ルノ効力ヲ有スルニ過キス

0

故ニ其効果ヨリ言フトキハ二个以上ノ保險契約ヲ以テ唯一ノ保險契約ト看做スモノニ外ナラス即チ前例ニ於テ見ルトキハ甲乙二个ノ保險會社ハ共同シテ一萬圓ノ賠償義務ヲ負擔スルモノニシテ甲保險會社カ既ニ一萬圓ノ賠償額ヲ被保險人ニ支拂ヒタルトキハ乙保險會社ハ再ヒ支拂ヲ爲スノ義務ヲ有セズ又甲保險會社カ既ニ五千圓ノ賠償ヲ爲シタルトキハ乙保險會社ハ殘金五千圓ノ賠償ヲ爲ス可キニ過キス恰モ甲乙兩保險會社ハ相互ニ保證人ノ地位ニ立ツモノナリ換言スレハ重複保險ノ效果ハ恰モ保險者ノ辨濟能力ヲ保證ニ付シタルト同一ノモノナリトス例ヘハ甲保險會社ト一萬圓ノ保險契約ヲ取結ヒ同會社カ果シテ一萬圓ノ辨濟能力ヲ有スルヤ否ヤ疑ハシキトキハ同會社ノ辨濟能力ヲ乙保險會社ノ保險ニ付スルコトヲ得此場合ニ於テ若シ甲保險會社カ辨濟ヲ爲サ、ルトキハ乙保險會社ニ對シテ辨濟ヲ請求スルコトヲ得又保險會社ノ辨濟カ不足スルトキハ其不足額ヲ乙保險會社ニ對シテ請求スルコトヲ得ルナリ重複保險ノ效果ハ殆ント此辨濟能力ヲ保險ニ付シタル場合ト相異ナルコトナシ唯々二者ノ間ニ差異アルハ重複保險ノ場合ニ在テハ各保險者ハ被保險人ニ對シテ常ニ全部辨償ノ責任ヲ

リ故ニ被保險人ハ其賠償額ヲ甲保險者ニ請求スルモ乙保險者ニ請求スルモ自由ナリ然レトモ保證ノ場合ニ在テハ否ラス先ツ本人ニ對シテ請求シ其效ナカリシ後ニ非カレハ保證人ニ對シテ請求スルコトヲ得ス故ニ重複保險ハ一見甚タ無用ノモノナルカ如クト雖モ保險金額ノ巨額ナル場合ニ於テハ單ニ一ノ保險會社ニ對シテ保險契約ヲ取結フモ未タ以テ安心スルコトヲ得ス於是乎重複保險ヲ取結フノ必要ヲ生ス之ヲ要スルニ重複保險ノ場合ニ於テハ各保險者ハ連帶ノ責任ヲ有シ各保險者間ニハ恰モ保證ノ關係ヲ生スルモノニシテ毫モ保險ノ一大原則タル補償ノ性質ニ背馳スルコトナキカ故ニ保險法上其効力ヲ有スルモノナリトス斯ノ如ク重複保險ハ或制限ノ下ニ於テ効力ヲ有スルモノナルカ故ニ之ヲ締結スルニ當テモ或條件ヲ具備スルコトヲ必要トス而シテ我商法第六百三十七條ハ左ノ二條件ヲ規定セリ

第一、重複保險タルコトヲ各保險者ニ通知スルコト  
 第二、各保險者ノ承諾ヲ得ルコト  
 右ノ二條件ヲ必要トスルカ故ニ若シ之ヲ具備セザルトキハ各保險者ハ其契約ヲ

解除スルノ權利ヲ有ス故ニ先ツ一ノ保險契約ヲ取結ヒ其後更ニ重複保險ヲ取結フトキハ後ノ保險者ニ對シテ重複保險タルコトヲ通知シテ其承諾ヲ得ヘキノミナラス前保險者ニ對シテモ亦此手續ヲ爲ス可キモノトス然ラサレハ各保險者ハ其契約ヲ解除スルコトヲ得而シテ此條ニ條件ヲ必要トスル所以如何ト云フニ單ニ普通原則ニ委ネテ何等ノ條件ヲ設ケザルトキハ被保險者ハ重複ノ賠償ヲ得從テ保險ノ性質ヲ蹂躪スルノ恐アレハナリ  
 次ニ重複保險ノ場合ニ於テハ保險者間ノ權利關係如何又保險金ニ付テハ如何ナル法律上ノ關係ヲ惹起スヤトノ二問題ヲ生ス蓋シ被保險者ハ一物件ニ付テ二個以上ノ保險契約ヲ取結フモノナルカ故ニ從テ二倍以上ノ保險料ヲ支拂フモノナリ即チ甲保險者ニ對シテ保險金額ニ相當スル保險料ヲ拂ヒ乙保險者ニ對シテモ同一ノ保險料ヲ拂フ而シテ賠償ヲ得ルニ至リテハ單ニ被保險利益ニ相當スル保險金額ニ過キス然ラハ其過分ニ支拂ヒタル保險料ニ付テハ如何ナル權利ヲ有スルヤ又保險者カ二人以上アリテ其中ノ一人カ全部ノ賠償ヲ爲シタルトキハ他ノ保險者ニ對シテ如何ナル權利ヲ有スルヤ

先ツ保險料ノ點ヨリ説明セシニ被保險人カ保險料ヲ過分ニ支拂ヒタルトキハ保險者ヨリ之ヲ取戻スコトヲ得例ハ甲ナル保險會社ニ對シテ五百圓ノ保險料ヲ支拂フテ一萬圓ノ保險契約ヲ取結ヒ又乙ナル保險會社ニ對シテモ同シク五百圓ノ保險料ヲ支拂フテ一萬圓ノ保險契約ヲ取結ヒタル場合ニ於テ甲保險會社ヨリ一萬圓ノ賠償金ヲ得タルトキハ勿論保險料ヲ取戻スコトヲ得スト雖モ乙保險會社ヨリハ何等ノ賠償ヲ得サルカ故ニ同會社ニ對シテ保險料ノ取戻ヲ請求スルコトヲ得ヘキモノトス

保險者間ノ關係如何ト云フニ一ノ保險者カ賠償ヲ爲シタルトキハ其保險ノ割合ニ應シテ賠償ノ割賦金ヲ他ノ保險者ニ請求スルコトヲ得恰モ各保險者カ共同シテ保險契約ヲ取結ヒタルト同一ノ結果ヲ生スルモノトス然レトモ重複保險ハ法律上二个以上ノ保險契約共ニ各別ノモノナルカ故ニ被保險者ハ一ノ保險者ノ爲メニ權利ヲ拋棄ズルモ他ノ保險者ニ對シテモ權利ヲ拋棄シタルモノト看做スコトヲ得ス純粹ナル性質ヨリ言フトキハ連帶ノ場合ニ於テ一人ニ對スル權利ノ拋棄ハ他ノ者ニ對シテ亦權利ノ拋棄ト爲ルモノナルモ重複保險ノ場合ニハ其各保

險ハ別異ノモノナルカ故ニ此結果ヲ生セサルナリ(商法第六百三十八條)

不足保險

第二節 不足保險

保險法上別ニ不足保險ナル名稱ヲ掲ケス然レトモ其實之ヲ規定セリ即チ不足保險トハ被保險利益ノ額ニ滿タサル額ヲ以テ取結フ所ノ保險契約ヲ云フ例ハ一萬圓ノ價格ヲ有スル建物ヲ五千圓ノ保險ニ付スル契約ノ如シ斯ノ如ク不足保險ハ被保險額カ被保險利益ノ額ニ滿タサルモノニシテ保險法ノ性質ニ背馳スルモノニ非サルカ故ニ何レノ邦國ニ於テモ其效力ヲ認メサルハナシ但其效力ノ範圍ニ至テハ古來三種ノ學說アリ以下之ヲ畧述ス可シ

(第一) 不足保險ノ金額ハ保險者ノ賠償ス可キ最高額ヲ示シタルモノナリ 故ニ例ハ一萬圓ノ價格ヲ有スル建物ヲ五千圓ノ保險ニ付シタル場合ニ於テ其建物カ全部滅失シタルトキハ保險者ハ五千圓ヲ賠償スレハ可ナリ其保險額ヲ超過シテ義務ヲ負擔スルコトナシ若シ又其一部ノミ滅失シ其損害三千圓ナルトキハ保險者ハ其三千圓ヲ賠償セサル可カラス要スルニ被保險額未滿ノ損害ニ付テハ保險者ハ實際ニ生シタル總テノ損害ヲ賠償セサル可カラス被保險額ヲ

超過スル損害ニ付テハ單ニ被保險額ヲ限リテ賠償ノ責ニ任スルモノトス  
 此說ニ依レハ被保險物ノ全部滅失ノ場合ト被保險額ニ相當スル部分滅失ノ場  
 合トニ於テ保險者ハ同一ノ責任ヲ負擔ス可キコト、爲リ甚ダ權衡ヲ失スルナ  
 キヤノ非難ヲ免カル、コトヲ得ス尤モ特別ニ斯ノ如キ責任負擔ノ契約ヲ爲シ  
 タルトキハ別ニ議論ナキナリ

(第二) 不足保險ノ金額ハ保險者カ責任ヲ有セサル額ヲ示シタルモノナリ 故ニ  
 例ヘハ一萬圓ノ價格ヲ有スル建物ヲ五千圓ノ保險ニ付シタル場合ニ於テハ實  
 際ノ損害カ五千圓ヲ超過シタルトキ始メテ賠償ノ責任ヲ生スルモノナリ其以  
 内ノ損害ニ付テハ何等ノ責任ヲ有セサルモノトス  
 此說ニ依レハ前例ノ場合ニ八千圓ノ損害ヲ生シタルトキハ保險者ハ五千圓ヲ  
 控除シテ三千圓ヲ賠償スルノ責任ヲ有ス然レトモ五千圓以下ノ損害ニ付テハ  
 何等ノ責任ヲ有セサルコト、爲ルカ故ニ是レ亦權衡ヲ失スルノ非難ヲ免カル  
 、コトヲ得ス

(第三) 不足保險ノ金額ハ保險者ノ賠償ス可キ金額ノ比例ヲ示シタルモノナリ

此說ハ前二說ヲ折衷シタルモノニシテ例ヘハ一萬圓ノ價格ヲ有スル建物ヲ五  
 千圓ノ保險ニ付シタル場合ニ其全部滅失シタルトキハ保險者ハ被保險額ノ全  
 部即チ五千圓ヲ賠償セサル可カラズ若シ又其一部滅失シテ八千圓ノ損害ヲ生  
 シタルトキハ保險者ハ四千圓ヲ賠償スレハ可ナリ何トナレハ被保險額タル五  
 千圓ハ被保險利益タル一萬圓ノ半額ナレハ實際ノ損害ニ付テモ亦半額ノ責任  
 ヲ負擔スルヲ以テ足レハナリ即チ不足保險ノ金額ハ賠償額ノ割合ヲ示シタル  
 モノトス

此說ニ依レハ第一說及第二說ノ如ク權衡ヲ失スルコトナキヲ得ルナリ  
 以上三說中我商法ハ孰レノ學說ヲ採用シタリヤト云フニ即チ第三說ヲ採用シタ  
 ルモノト謂ハサル可カラズ商法第六百三十九條ニ曰ク保險スルコトヲ得ル利益  
 ノ額ニ滿ダサル保險ノ場合ニ在テハ其殘餘ノ額ニ付被保險者ヲ自己ノ保險者  
 看做ス下故ニ例ヘハ一萬圓ノ價格ヲ有スル建物ヲ五千圓ノ保險ニ付シタルトキ  
 ハ其殘餘ノ五千圓ニ付テハ被保險者ヲ以テ保險者ト看做スモノナルヲ以テ此場  
 合ニハ恰モ保險者二人アルニ均シキナリ是レ右ノ第三說ヲ採用シタルニ非ズシ

テ何ソヤ唯々茲ニ一ノ奇怪ニ感スルハ法文ニ殘餘ノ額ニ付被保險者ヲ保險者ト看做ストアルコト是ナリ是レ法律上ノ所謂假設法ナリト雖モ元來假設法ナルモノハ之ニ依リテ簡便ヲ得ヘキ場合ニ於テ設定スルモノニシテ其利益ナキ場合ニ於テ之ヲ設定スルハ立法ノ甚々拙ナルモノト謂ハサル可カラズ今右ノ如キ規定ヲ設ケルカ爲メニ却テ法文ノ曖昧ヲ來スノ譏ヲ免カレサルナリ然レトモ兎ニ角我商法ハ右第三説ヲ採用シタルコト疑ヲ容レヌ當ニ我商法ノミナラス現今ニ於テハ諸國概ネ此説ヲ採用セリ

超過保險

第三節 超過保險

超過保險トハ不足保險ノ正反對ニシテ或物件ヲ其實價ヲ超過シテ保險ニ付スルモノヲ云フ故ニ超過保險ニハ概ネ詐害行爲ノ伴フ者ナリ例ヘハ被保險者ハ五千圓ノ價格ヲ有スルニ過キサルヲ知リツ、其物件ヲ一萬圓ノ保險ニ付シタルカ如キコトアレハ即テ詐欺ヲ以テ保險契約ヲ取結ヒタルモノナリ元來保險ニハ最上ノ誠意ヲ要スルモノナルカ故ニ苟モ詐欺ノ伴フトキハ保險者ハ其契約ヲ無効トスルコトヲ得然レトモ或ハ詐欺ノ意思ナクシテ超過保險ヲ取結フコトナシトセ

ス例ヘハ横濱ヲ發スル際ハ一萬圓ノ價格ヲ有セシモ途中ニテ破損シタルヲ所有者カ其事實ヲ知ラスシテ一萬圓ノ保險契約ヲ取結フコトアリ斯ノ如キ場合ニ於テ其超過保險ハ取消サル可キモノナリヤ否ト云フニ保險法ハ善意ノ場合ニハ之ヲ取消スコトヲ許サス然レトモ又全部ノ効力ヲ與ヘス單ニ其被保險利益ニ限リテ効力ヲ附與スルナリ商法第六百五十七條ノ規定ヲ見ルモ當事者ノ善意ヲ以テ超過保險ヲ取結ヒタルトキハ全部無効ト爲スヲ許サスシテ唯々被保險物ノ實價ニ低減スルノ意味ヲ窺知スルコトヲ得ヘシ

再保險

第四節 再保險

再保險ハ一見スレハ重複保險ニ類似スルカ如キモ其實大ニ相異ナレリ再保險トハ保險者カ保險契約ニ由テ負擔セル責任ニ付テ取結フ所ノ保險契約ヲ云フ例ヘハ此學校ヲ保險シタル保險會社ハ若シ此學校カ燒失スルトキハ賠償ノ責任ヲ有ス故ニ其會社カ此學校ニ付キ自己カ負擔スル危險ヲ限リ再ヒ之ヲ保險ニ付スルカ如シ

英米ノ法律ニ依レハ例ヘハ保險者カ此學校ニ付キ一萬圓ノ保險契約ヲ取結フト

キハ一萬圓ノ金額ヲ限リテ再保險ヲ取結フコトヲ得トシ又佛國ノ有力ナル學者ノ說ニ依レハ保險會社ハ自己カ受取ル再保險料ヲ控除シタル殘額ヲ限リテ再保險ヲ取結フコトヲ得トセリ尤モ補償ノ主義ヲ嚴格ニ適用スルトキハ佛學者ノ所說ヲ以テ妥當ヲ得タルモノト爲サ、ル可カラズ何トナレハ最初ノ保險會社ノ失フ所ハ保險料ヲ控除シタルモノナレハナリ我商法ハ果シテ如何ナル主義ヲ採用セルヤ明瞭ナラス思フニ是レ裁判例若クハ學說ニ依リテ決定ス可キモノナラシ然レトモ補償ノ主義ハ他ノ場合ニ適用スルニハ甚タ嚴格ナラス然ラハ英米ノ規則ニ從フモ毫差聞モナカル可シ

余ハ僥ニ僥倖ノ利益ハ之ヲ保險ニ付スルヲ得サルコトヲ述ヘリ然ルニ保險者ノ責任ハ意外ノ事ニ因ルモノニ外ナラサルカ故ニ或ハ僥倖ノモノトシテ保險ニ付スルコトヲ得スト爲ス者アラシ然レトモ保險法ハ僥倖ノ利益ハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ許サ、ルモ意外ノ事ニ因ル不幸ノ責任ハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ許サ、ルモノニ非ス即チ不幸ノ責任ニ付テ保險契約ヲ取結フハ損失賠償ノ性質ヲ帶フルモノナルカ故ニ亦一ノ保險契約ノ變體タルニ過キス從テ何レノ邦國ニ於テ

モ再保險ヲ許サ、ルハナシ保險契約ヲ取結フ權限ヲ有スル者ハ又再保險ノ契約ヲ取結フコトヲ得然レトモ自己カ許サレタルト同一ノ保險ニ非サレハ不可ナリ例ヘハ火災保險會社ハ海上保險契約ヲ取結フコトヲ得サルカ如シ

我商法ハ再保險ニ付テ別段ノ規定ヲ設ケスト雖モ茲ニ二个ノ說アリ即チ第一ニ再保險者ハ第一ノ保險者カ實際辨濟ヲ爲シタル後ニ非サレハ辨濟ノ責任ナキカ第二ニ再被保險者カ辨償力ヲ失フタルトキハ再保險者ハ辨償ノ責任ナキヤ否ヤノコト是ナリ米國ノ判決例ニ依レハ第二ノ被保險者ノ辨濟能力ハ再保險者ノ責任ニハ何等ノ效力ヲ有セサルモノナリ故ニ再保險者ハ尙ホ辨償ノ責アリトセリ之ニ反シ英國ノ判決例ハ第二ノ被保險者カ辨濟能力ヲ失ヘハ再保險者ノ責任ニ影響ヲ及ホシ再保險者ハ責任ヲ免カル、モノト爲セリ

再保險ハ第一ノ保險トハ全ク別物ニシテイメリゴンノ言ヘルカ如ク第一ノ保險ハ再保險ノ爲メニ何等ノ影響ヲ受ケス又再保險ハ第一ノ被保險者ニ對シテ全ク關係ヲ有セス故ニ再保險ハ必スシモ第一ノ保險ト同一ノ保險料ヲ以テ取結フニトヲ要セス又必スシモ第一ノ契約ト同一ノ條件ニ依ル可キモノニ非ス然レトモ

別ニ何等反對ノ合意ヲ爲サ、ルトキハ再保險ハ第一ノ保險ト同一ノ條件ヲ以テ取結ハレタルモノト看做ス從テ當事者間ノ權利關係ハ猶ホ第一ノ保險ノ當事者間ノ權利關係ト同一ト看做ス可キモノナリ

再被保險者カ再保險者ニ對シテ損失ノ賠償ヲ請求スルニハ猶ホ第一ノ被保險者カ第一ノ保險者ニ對シテ損失ノ賠償ヲ請求スルト同シク(一)被保險物上ニ利害ノ關係即チ被保險利益ヲ有スルコト及(二)損害ヲ被フリタルコトノ二條件ヲ證明セサル可カラズ而シテ又再保險者ハ第一ノ保險者ト同一ノ抗辯方法ヲ爲スコトヲ得ルモノナリ米國ニ於テハ再被保險者カ再保險者ニ對シテ損失ノ賠償ヲ請求スルニハ第一ノ被保險者ニ對シテ既ニ損失ヲ賠償セルコト又ハ自己カ辨償能力ヲ有スルコトヲ要セス然レトモ英國ニ於テハ再被保險者ハ第一ノ被保險者ニ對シテ實際辨償シタルコトヲ證明スルニ非レハ再保險者ニ對シテ賠償ヲ請求スルノ權利ナシ我商法ニ於テハ何等ノ規定ナキモ賠償金ハ被保險物ニ代ル可キモノナレハ再保險者ノ辨償能力如何ハ損失賠償ノ請求ニハ何等ノ關係ヲ有セサル可シ英國ニ於テハヨウシ第二世第十九年ノ第三百七十一號ノ條例ヲ以テ再保險ヲ

嚴禁セリ其理由トスル所ハ再保險ハ不法ノモノニシテ保險タルノ性質ヲ有セスト爲シタルニ因ルニ非スシテ唯タ其當時ニ於テハ保險料相場ノ高低ニ因リ賭博ヲ行フコト流行セルカ故ニ再保險ヲ許ストキハ益此賭博ヲ獎勵スルノ傾向アリタルニ因ルナリ然レトモ其後此法律ハ廢止セラレタリ我商法ニ於テモ別ニ之ヲ禁止スルノ條文ヲ設ケサルカ故ニ其有效タルコト論ヲ俟タサル可シ

保險證券  
ノ性質

### 第七章 保險證券

#### 第一節 保險證券ノ性質

保險證券トハ保險契約ヲ記載スル證書ヲ云フ英語ニテハ之ヲ「ポリシー」ト名ク此「ポリシー」トハ以太利人ノ名ニシテ以人ポリシーカ始メテ英國ニ於テ保險者トシテ保險契約ヲ取結ヘルカ故ニ其名ヲ取りテ以テ保險證券ノ名稱ト爲シタルナリ

保險證券ト保險契約トノ關係如何ト云フニ別ニ相離ル可カラサル關係ヲ有セス詳言スレハ保險證券ヲ作成セサルモ保險契約ハ成立スルコトヲ得即チ保險契約ハ我商法ノ規定ニ依レハ諾成契約タルナリ佛國並ニ英米ノ法律ニ依レハ海上保險ハ必ス保險證券ヲ以テ證明スルコトヲ要ストセリ故ニ保險證券ナケレハ保險

契約ノ成立ヲ證明スルコトヲ得ス從テ其結果ヨリ言フトキハ保險證券ヲ作成スルヲ以テ殆ント保險契約成立ノ一條件ト爲セルニ均シ然レトモ我商法ニ於テハ別ニ何等ノ規定ヲモ爲サ、ルカ故ニ保險證券ト保險契約トハ密着ノ關係ヲ有スルモノニ非スト知ル可シ但我商法ハ保險證券ノ作成ニ關シテ特別ノ規定ヲ設クルヲ以テ左ニ其規定ヲ説明セント欲ス

商法第六百四十二條後段ノ規定ニ曰ク「保險者ハ總テノ場合ニ於テ契約取結ノ後即時ニ保險證券ヲ作りテ被保險者ニ交付スル義務ヲ負ヒ此手續ヲ爲サヌ又ハ遅延スルニ因リテ生シタル總テノ損害ニ付キ被保險者ニ對シテ責任ヲ負フ」ト蓋シ此規定ハ専ラ被保險者ヲ保護スル目的ニ出テタルモノニシテ即チ保險契約上ノ權利關係ヲ明白ニシ而シテ保險契約ノ移轉ヲ容易ナラシメントスルモノナリ故ニ若シ被保險者カ保險證券ノ交付ヲ希望セサルトキハ保險者ハ此手續ヲ盡スヲ要セス從テ此規定ハ保險證券ノ作成ヲ以テ保險契約成立ノ一條件ト爲シタルモノニ非サルコト明白ナリトス

又商法第六百四十九條ニ曰ク「保險契約ノ旨趣ニ係ル證據ハ保險證券又ハ附屬書類ヲ以テノミ之ヲ舉グルコトヲ得但其證券及ヒ附屬書類カ最早存在セヌ又ハ其發行ヲ爲サ、ルトキハ此限ニ在ラス」ト此規定ニ依レハ先ツ保險契約上ノ權利關係ヲ明白ニセンカ爲メニ特ニ保險證券又ハ附屬書類ヲ作成シタルトキハ其契約ノ旨趣ハ此等ノ書類ヲ以テ證明ス可キモノニシテ他ノ證據ヲ以テ之ヲ證明スルコトヲ許サス然レトモ初ヨリ證券等ヲ作成セサルカ若シハ之ヲ作成セルモ紛失又ハ盜難等ニ因リテ既ニ存在セサルトキハ一般ノ證據方法ニ依リテ證明ヲ爲スコトヲ得ルナリ蓋シ最モ信用ス可キ證書アルトキハ先ツ其證書ニ依リテ證明ス可キモノニシテ十分信用スルコトヲ得サル證據ハ信用ス可キ證據ノ存在セサルトキニミ使用スルコトヲ得セシムルハ證據法上一般ノ原則タレハナリ

保險證券ニ記載ス可キ條件

### 第二節 保險證券ニ記載ス可キ條件

我商法第六百四十六條ニ依レハ保險證券ニ記載ス可キ條件ハ左ノ如シ

- 第一、 保險契約取結ノ年月日
- 第二、 保險者若シハ其代人ノ署名捺印
- 第三、 保險ノ初日及其期間 是レ大ニ危險ニ關係スレハナリ



第四、被保險物ノ十分精密ナル記載 保險契約ハ補償ノ性質ヲ具有ス可キモノナリ而シテ補償ハ被保險物ノ價額ト極メテ密接ノ關係ヲ有スルモノナルカ故ニ從テ被保險物ノ價額ヲ審査シ得ヘキ記載ヲ必要トスルヤ論ヲ俟タス

第五、被保險額 被保險額トハ被保險物カ喪失セル場合ニ保險者ノ賠償ス可キモノナリ

第六、保險料ノ額

第七、保險シタル危險 例ハ火災海上若クハ暴風雨等ノ如シ

第八、保險申込人ノ氏名及被保險者ノ指示 保險申込ハ被保險者カ自ラ之ヲ爲スコトアリ又被保險者以外ノ者ヨリ之ヲ爲スコトアリ故ニ申込人ト被保險者トハ必スシモ同一ニ非ス夫ノ保險仲立人ノ如キハ他人ニ代リテ保險ヲ申込ムヲ以テ商業ト爲スモノナリ今何故ニ申込人ノ氏名ヲ明カニセサル可カラサルヤト云フニ後ニ保險代理人ノ條下ニ於テ説明スルカ如ク被保險者ノ明白ナラサルトキハ申込人自己ノ爲メニ保險契約ヲ取結ヒタルモノト看做ス可キモノナルヲ以テナリ又被保險者ノ氏名ヲ明カニセサル可カラサル

ハ別ニ説明ヲ要セス

第九、保險ノ旨趣ニ重要ナル影響ヲ及ホス事情及契約ノ特別ナル條款アラハ其條款 保險ノ旨趣ニ重要ナル影響ヲ及ホス事情トハ危險ノ増加ス可キ事情等ヲ云フ又契約ノ特別ナル條款トハ特ニ當事者カ條款ヲ約定スルコトアリ今日ノ商業社會ノ實例ニ徴スルニ夫ノ破損シ易キ陶器ノ如キ物若クハ油醬油ノ如キ洩泄シ易キ物ニハ特別ノ條款ヲ設ケ或ハ十分ノ一若クハ二ノ損失ニ付テハ保險者ハ危險ヲ負擔セスト約スルコト多シ蓋シ此等ノ物ノ十分ノ一若クハ二ノ損失ハ其性質上ヨリ生シタルヤ又ハ危險ヨリ生シタルヤ區別スルコト困難ナレハナリ

我商法ハ何故ニ保險證券ニ記載ス可キ條件ヲ右ノ如ク定メタルヤト云フニ別段深遠ナル意味アルニ非ス保險契約上ノ關係ハ概不被保險物滅失ノ後ニシテ且ツ契約締結ノ後幾多ノ歲月ヲ經タル後ニ確定セサル可カラス加之法律ハ保險契約ノ移轉ヲ圓滑ナラシムルコトヲ希望ス而シテ之ヲ讓受ケントスル者ハ契約上ノ關係ヲ明知スルニ非サレハ安堵シテ讓受クルコトヲ得ス故ニ一ハ契約上ノ關係

ナ明確ナラシムルカ爲メニハ保險契約ノ移轉ヲ容易ナラシメントスルカ爲メニ  
外ナラス

### 第三節 保險證券ノ種類

#### 第一款 記價保險證券、不記價保險證券

保險證券ノ種類  
記價保險證券  
不記價保險證券

記價保險證券トハ其名ノ明示スルカ如ク被保險物ノ價額即チ被保險利益ヲ明記  
スル所ノ保險證券ヲ云フ被保險利益ト被保險額トハ相離ル可カラサル關係ヲ有  
スルモノナルモ又必スシモ同一ノモノニ非ズ被保險額トハ前述セルカ如ク保險  
者ノ賠償ス可キ約定金額ヲ云フニ外ナラス被保險利益トハ被保險者カ被保險物  
上ニ有スル利益ノ價額ヲ云フナリ今保險證券ニ被保險物ノ價額ヲ記載スルハ即  
チ是レ記價保險證券ナリトス

不記價保險證券トハ亦其名ノ明示スルカ如ク被保險物ノ價額ヲ明記セサル所ノ  
保險證券ヲ云フ我商法第六百四十六條ニ依レハ保險證券ニハ必ス被保險額ヲ記  
載セサル可カラス然レトモ被保險物ノ價額ハ必スシモ之ヲ記載スルコトヲ要セ  
ス故ニ保險證券ニハ被保險物ノ價額ヲ記載スルモノト否ラサルモノトノ二種ア  
ルナリ

記價保險證券ノ場合ニ於テハ其記載セル價額ハ即チ損害賠償ノ標準ト爲ルモノ  
ニシテ素ヨリ當事者ノ合意ヲ以テ定メタル價額ナルカ故ニ後日ニ至リ之ヲ變更  
スルコトヲ許サズ被保險物全部滅失シタル場合ニハ保險者ハ證券ニ記載スル價  
額ノ全部ヲ辨償スルノ責任アリ若シ其一部滅失シタル場合ニハ其割合ニ應シテ  
之ヲ辨償スルノ責任ヲ有ス而シテ此場合ニハ被保險者ハ保險證券ヲ以テ被保險  
額ヲ證明スルカ故ニ他ニ何等ノ立證ヲモ爲スノ必要ナシ之ニ反シテ不記價保險  
證券ノ場合ニ於テハ被保險物ノ價額一定セス從テ當事者間ニ爭アルトキハ被保  
險者ハ種々ノ證據方法ヲ以テ被保險物ノ價額ヲ證明セサル可カラス故ニ此場合  
ニハ被保險者ハ頗ル困難ナル地位ニ立ツモノト謂フ可シ斯ノ如クナルヲ以テ記  
價保險證券ヲ作成スルコト被保險者ニ取リテ利益ナリト雖モ元來保險契約ナル  
モノハ極メテ迅速ニ締結スルノ必要アルモノナルカ故ニ實際上被保險物ノ價額  
ヲ判定スルノ追ナクシテ不記價額證券ヲ作成スルコト勸カラストス

#### 第二款 指圖式保險證券、無記名式保險證券

指圖式保險證券  
無記名式保險證券

保險法  
總論 保險證券ノ種類 記價保險證券、不記價保險證券  
指圖式保險證券、無記名式保險證券

商法第六百四十八條ハ規定シテ曰ク「保險證券ハ指圖式又ハ無記名式ニテ之ヲ發行スルコトヲ得然レトモ白地ニテ之ヲ發行スルコトヲ得ス」ト而シテ指圖式保險證券トハ保險者カ被保險人若クハ其指圖人ニ對シテ契約上ノ義務ヲ履行ス可キコトヲ記載シタル保險證券ヲ云フ故ニ此證券ニ依リテ契約上ノ權利ヲ行フコトヲ得ル者ハ獨リ被保險人ノミナラス被保險人ノ指圖シタル者モ亦其權利ヲ行フコトヲ得ルナリ

無記名式保險證券トハ裏書ナクシテ轉讓スルコトヲ得ル保險證券ヲ云フ故ニ此證券ヲ現有スル者ハ何人ト雖モ契約上ノ權利ヲ行フコトヲ得ルナリ

右ノ如ク保險證券ハ指圖式又ハ無記名式ニテ發行スルコトヲ得ルモ白地ニテ之ヲ發行スルコトヲ得ス何故ニ被保險人ノ氏名ヲ記載セスシテ發行スルコトヲ許サ、ルヤト云フニ元來保險契約ハ補償ノ性質ヲ具有セサル可カラサルモノナリ然ルニ被保險人ノ氏名ヲ記載セサルトキハ何人カ果シテ被保險物ノ所有者ナルヤヲ知ル可カラズ即チ被保險人ト被保險物トハ如何ナル關係ヲ有スルヤ分明ナラス從テ又果シテ補償ノ性質ヲ具有スルヤ否ヲ知ル可カラズ或ハ詐欺者アリ密

封シタル箱中ニ「ダイヤモンド」ヲ封入セリト稱シ其實瓦礫ヲ封入シタルモノヲ保險ニ付スルカ如キコトナシトセス斯ノ如キ場合ニ於テ若シ被保險人ノ氏名ヲ保險證券ニ記載セサルトキハ其詐欺ヲ罰セントスルモ其目的ヲ達スルコト能ハス又豫メ詐欺ヲ防遏スルコトヲ得ス是レ保險證券ヲ白地ニテ發行スルコトヲ禁止スル所以ナリ

### 第三款 航期保險證券時期保險證券及混同保險證券

此三種ノ區別ハ海上保險證券ニノミ適用ス可キモノナリ而シテ航期保險證券トハ明カニ航海ヲ始ムル場所ト其終ハル場所トヲ記載シ保險者カ擔保スル危險ニ制限ヲ立ツル保險證券ヲ云フ例ヘハ東京ヨリ上海マテノ航海ヲ擔保スルコトヲ明記セル保險證券ノ如シ此場合ニ於テハ保險者ノ擔保スル危險ハ證券面ニ記載スル航海中ノ危險ニ止マリ其以外ノ危險ニ對シテハ何等ノ責任ヲ有セス然レトモ其證券面ニ記載スル航海中ノ危險ニシテ不得已事情ニ出テタルトキハ縱令航海ノ日限カ遷延セル場合ニ於テモ尙ホ其責任ヲ負擔セサル可カラサルモノトス

航期保險證券  
時期保險證券  
混同保險證券

保險法  
總論 保險證券ノ種類 航期保險證券、時期保險證券及ヒ  
混同保險證券、終身保險證券、年期保險證券

次ニ時期保險證券トハ時日ヲ以テ保險者ノ擔保スル危險ヲ制限スルコトヲ明記  
スル保險證券ヲ云フ例ハ明治二十九年十一月一日ヨリ同三十年一月三十一日  
マテノ海上危險ヲ擔保スルコトヲ記載スル保險證券ノ如シ此場合ニ於テハ前項  
ノ場合ト異ナリ場所ニ關係ヲ有セス唯タ擔保シタル期間ニ生シタル危險ニ限り  
責任ヲ負擔スルモノトス

最後ニ混同保險證券トハ航期保險ト時期保險トノ性質ヲ併有スルモノニシテ即  
チ場所ト時日トヲ以テ擔保スル危險ニ制限ヲ立ツルコトヲ記載スル保險證券ヲ  
云フ例ハ明治二十九年十一月一日ヨリ同三十年一月三十一日マテ東京ヨリ上  
海マテノ航海ヲ擔保スルコトヲ記載スル保險證券ノ如シ此場合ニ於テハ保險者  
ノ擔保シタル危險ハ時日ノ點ト場所ノ點トニ於テ制限セラレ其制限ノ下ニ在リ  
テ責任ヲ負擔スルモノタリ其時日ヲ經過シ又ハ其場所ヲ超脱スル場合ニ於テ生  
シタル危險ニ付テハ何等ノ責任ヲ負擔セサルモノトス

終身保險  
證券  
年  
期  
保  
險  
證  
券

#### 第四款 終身保險證券、年期保險證券

此區別ハ主トシテ生命保險及ヒ病傷保險ニ適用セラル、モノタリ而シテ終身保

險證券トハ被保險者ノ終身ヲ以テ保險者カ危險ヲ擔保スル期限ト爲スコトヲ記  
載スル保險證券ヲ云フ例ハ死亡セハ保險金ヲ支拂フ可シト記載スル保險證券  
ノ如シ

年期保險證券トハ或年期ヲ定メテ保險者カ危險ヲ擔保スル期限ト爲スコトヲ記  
載スル保險證券ヲ云フ例ハ三十年ノ中ニ死亡セハ保險金ヲ支拂フ可シト記  
載スル保險證券ノ如シ

保險證券  
ノ  
解釋

#### 第四節 保險證券ノ解釋

凡ソ契約ノ旨趣ハ當事者ノ眞實ニシテ且確定セル共通ノ意思ニ依テ之ヲ定ム可  
キモノトス我商法第二百七十五條前段ハ規定シテ曰ク「商事契約ノ旨趣ハ當事者  
ノ眞實及ヒ確定ナル共通ノ意思ニ依リテ定マルモノトス」ト是レ素ヨリ當然ノ條  
理ニシテ規定ヲ俟テ始メテ知ル可キコトニ非サルナリ而シテ保險證券ニ記載セ  
ル事項ヲ解釋スルニ付テモ亦一般ノ商事契約ノ原則ニ從フ可キコト勿論ナリト  
ス今其要點ヲ擧クシレハ即チ左ノ如シ

(第一) 商人タル者ノ當然ノ思考ニ從テ解釋セサル可カラズ

元來保險契約ハ商事契約ナルカ故ニ商人タル者ノ當然ノ思考ニ從テ解釋ス可キコト素ヨリ論テ俟タサル所ニシテ敢テ詳説スルノ必要ナカル可シ我商法第二百七十五條後段ニ於テハ此點ヲ規定セリ

(第二) 商業上確定セル慣習ニ從テ解釋セサル可カラス

抑モ商慣習ナルモノハ當事者ニ於テ反對ノ意思ノ明白ナラサル場合ニハ之ニ依リテ契約ヲ取結ヒタルモノト看做ス可キモノナリ故ニ商業上確定セル慣習アルニ方リ之ニ依リテ保險證券ヲ解釋スルハ素ヨリ其所ナリト謂ハサル可カラス是レ亦我商法第二百七十五條後段ニ於テ規定スル所ナリトス

(第三) 保險證券ニ記載セル文字ノ意義カ表面上兩義ニ涉ルカ又ハ明白ナラサルトキハ其證券及附屬書類以外ノ狀況殊ニ商慣習ニ依リテ其意義ヲ補充スルトヲ得

是レ解釋上ノ一大原則ニシテ何レノ商法ト雖モ此原則ヲ認メサルモノナシ此原則ヲ裏面ヨリ觀察スルトキハ商慣習ナルモノハ契約ノ意義ニシテ兩義ニ涉ル場合若クハ不明瞭ナル場合ニ其契約ノ真意ヲ補充説明スルカ爲メニ採用ス

ルコトヲ得ルモ契約上ノ意義ヲ變更スルカ爲メニハ之ヲ採用スルコトヲ得サルモノト謂フ可シ然レニ我商法第六百四十七條ハ全ク此原則ニ反スル規定ヲ設ケタルカノ感ナキ能ハス同條ハ規定シテ曰ク「保險證券ノ旨趣ハ商慣習中尋ナ以テ之ヲ更正シ説明シ補充シ又ハ變更スルコトヲ得」ト此規定ニ依ルトキハ吾人ハ如何ナル方法ヲ以テスルモ到底商慣習ニ反スル契約ヲ取結フコトヲ得ス若シ商慣習ニ反スル契約ヲ取結ヒタルトキハ常ニ商慣習ヲ以テ其契約ヲ變更セラル、コトヲ免レサルナリ然レトモ元來商慣習ナルモノハ法律ノ禁制ト異ナリ法律ノ禁制ハ合意ヲ以テスルモノ之ヲ破ルコトヲ得スト雖モ商慣習ハ合意ヲ以テスルトキハ自由ニ之ニ反スルコトヲ得ルモノナリ前頭第六百四十七條ノ規定ハ甚ダ法理ニ適セサルモノニシテ恐ラクハ立法者ト雖モ斯ノ如ク商慣習ヲ以テ法律ノ禁制ト同一ノ結果ヲ生セシムルノ精神ニハ非サル可シ故ニ是レ最モ修正ヲ要ス可キ點ナリトス

### 第八章 當事者及代理人

#### 第一節 當事者

保險法 總論 當事者及代理人 當事者

當事者及代理人  
當事者

保險契約ニ付テノ當事者ノ能力ハ普通契約ニ付テノ當事者ノ能力ト同一ナルヲ以テ茲ニ詳述セサル可シ唯々他ノ契約ト異ナルハ被保險者ハ被保險物上ニ利害ノ關係ヲ有セサル可カラサルノ一點ニ在リ普通契約ニ於テハ目的物ニ何等ノ關係ナキモ契約ヲ締結スルコトヲ得即チ契約ナルモノハ將來ヲ期スルモノナルカ故ニ契約當時ニ於テ何等ノ利害ナキモ契約ヲ締結スルコトヲ得ルト雖モ獨リ保險契約ニ在リテハ契約締結ノ當時ニ於テモ又危險發生ノ當時ニ於テモ被保險利益ヲ有セサル可カラス然レトモ保險者ニ付テハ別段ノ制限ナシ尤モ古代ニ在リテハ保險事業ナルモノハ他ノ營利事業ト同シク一個人ノ營業ナリシカ社會ノ進歩スルニ從ヒ漸ク一個人ノ手ヲ放レテ會社ノ手ニ歸スルコト、爲レリ米國ニ於テハ保險事業ハ殆ント全ク會社ノ手ニ屬シ歐洲諸國ニ於テモ亦同一ノ傾向ヲ有ス今其原因如何ヲ討ヌルニ第一、保險事業ハ其營業ノ區域ヲ擴張シ數多ノ保險契約ヲ取結フニ非サレハ自他ノ利益ヲ期スルコトヲ得ズ第二、保險ノ性質トシテ永久ヲ期スルモノタリ從ヒテ一個人カ之ヲ營ムヨリモ永久繼續ス可キ性質ヲ有シ且ツ多額ノ資本ヲ有スルコトヲ得ル會社カ之ヲ營ムコト最モ適當ナルヲ以テナ

リ我國ニ於テモ近來漸ク保險營業ニ從事スル者輩出セルカ一トシテ會社組織ニ非サルハナシ從テ保險者ノ能力等ヲ論スルニハ勢ヒ會社ノ能力等ヲ論セサル可カラス然レトモ保險會社ニノミ特別規則アルニ非サルヲ以テ茲ニ特ニ詳述スルノ要ナシ唯々一言ス可キハ英國ニ有名ナル保險營業者アルコト是ナリ其名ヲ「ロイド」ノ保險營業者ト稱シ重モニ海上保險ヲ營業トス今古代ニ遡ルテ其沿革ヲ閱スルニウイリアム第三世及女王アンノ時代ニ於テハ倫敦ノ「コッファイ、ハウス」(茶店)ハ衆人ノ遊樂場ナリシ而シテ甲ノ「コッファイ、ハウス」ハ文學者ノ遊樂場ニシテ乙ノ「コッファイ、ハウス」ハ音樂者ノ遊樂場ナリト云フカ如ク各類ヲ以テ集リ種々ノ會談ヲ試ミテ歡ヲ取リタリシカ偶々倫敦ノ「ロイド」ト稱スル「コッファイ、ハウス」ハ遠洋航海ニ從事スル者ノ遊樂場ナリシ而シテ該「コッファイ、ハウス」ノ所在ハ屢々移轉シタルモ依然「ロイド」ト稱シ且ツ數多ノ變遷ヲ經タル末遂ニ倫敦ノ保險營業者ノ集會スル場所ト爲リ此等保險營業者ハ皆該場所ニ於テ保險事業ニ從事スルニ至レリ斯ノ如クニシテ「ロイド」ノ保險事業ハ今日ニ於テハ英國ハ勿論殆ント歐洲ニ於ケル海上保險ノ中心ト稱スルモ敢テ証言ニ非サルノ現象ナ

呈シ此保險營業所ヨリ各國ノ湊港ニ役員ヲ派出シ其役員ヨリ船舶ヲ發着及事變ノ有無其他保險ニ關スル總般ノ必要ナル事項ヲ報告セシムル方策ヲ執リ其報告常ニ絡繹旁手シ時々刻々絶エサルコト恰モ纒ノ如キ盛況ナリト云フ故ニ「ロイド」ノ保險營業者ハ坐シテ各地ニ於ケル船舶ノ健否發着及其危險ニ遭遇セルヤ否ヲ知了スルコトヲ得ヘシ夫レ斯ノ如ク「ロイド」ノ保險事業ハ非常ノ旺盛ヲ極ムルモノナリト雖モ而モ其營業者ハ相集合シテ會社若クハ組合ヲ組織シ以テ其營業ニ從事スルモノニ非ス實ニ各別ニ保險契約ヲ締結スルモノニシテ全然一個人ノ營業ヲリ然ルニ其旺盛ヲ極ムルコト斯ノ如ク寧ロ怪訝ニ堪ヘサルノ感ナキヲ得ンヤ然リト雖モ熟々其實況ヲ審按スルニ其組織タルヤ殆ント會社のニシテ徹頭徹尾獨立ノ營業ヲ爲スモノニ非ス即チ共同ノ利益ニ關スルコトハ總テ共同シテ之ヲ爲スカ故ニ能ク斯ノ如キ旺盛ヲ極ムルコトヲ得タルモノニシテ復タ他アルニ非サルナリ

代理人

### 第二節 代理人

代理人ニ付テモ亦普通代理人ト別段相異ナル所ナシ唯タ保險契約ハ多クノ場合

ニ於テ代理人ヲ以テ締結スルモノナルカ故ニ從テ代理ニ關シテ許多ノ疑問ヲ生ス然レトモ此等ノ疑問ハ素ヨリ普通代理ノ原則ニ依リテ判斷ス可ク代理人任命ノ方法其追認ノ方法及復代理人ヲ任スルコトヲ得ルヤ否ヤ並ニ代理人ト第三者トノ義務ノ關係等ハ總テ商法上代理人ニ關スル規則ニ依ル可キモノトス故ニ茲ニハ唯々特ニ保險法カ規定スル點ヲ說述スルニ止メントス

第一、商法第六百二十八條第一項ハ規定シテ曰ク「保險ハ自己ノ計算ヲ以テスルト他人ノ計算ヲ以テスルトヲ問ハス又被保險者ノ委託ヲ受ケタルト否ト被保險者者ノ豫知スルト否ト被保險者ヲ明示スルト否トヲ問ハス之ヲ受ケルコトヲ得」ト此規定ヲ文面上ヨリ解釋スルトキハ其代理ノ一大原則ニ抵觸スルノ結果ヲ見ル可シ何トナレバ此規定ニ依レバ委託ヲ受ケサルモ尙ホ代理人トシテ保險契約ヲ取結フコトヲ得從テ其契約カ本人ニ對シテ效果ヲ生スルモノトモ本人ハ其了知セズ又ハ委託セズ若シハ欲望セザル契約ニ羈束セラルコトヲ爲レハナリ是レ法理ノ許ス所ニ非ズ我立法者ト雖モ敢テ此不條理ナル規定ヲ爲スノ意思ヲ有セザリシナラシ想フニ法文ノ不備ナル可シ然レトモ我商法ノ起

稿者ロエスレル氏ノ説明ニ依レハ或ハ右ノ如キ不條理ノ結果ヲ生スル規定ヲ設ケルヲ敢テシタルヤノ疑アリ氏ハ曰ク商法第六百二十八條ハ商法草案第三百五十條ヨリ胚胎セルモノナリトテ而シテ草案第三百五十條ニハ「契約ニ因リ債權者以外ノ他人ニ對シ其債務ヲ盡スルコトヲ得」トアリ是レ各國ノ保險法上問題ト爲リ居ルモノナリ例ヘハ余カ或書籍ヲ諸君ノ友人ニ贈與センコトヲ諸君ト契約シタリト假定センニ此場合ニ其友人即チ契約ノ利益ヲ受ケル者ハ其契約上ノ權利ヲ得ルヤ否ヤ草案第三百五十條ハ此問題ニ答ヘテ第三者ハ契約ノ利益ヲ主張スルコトヲ得ルモノトセリ然ルニ該條ハ削除セラレテ成文ト爲ラザリシ故ニ其基礎既ニ消滅セリト謂ハサル可カラズ何ソ第六百二十八條ハ草案第三百五十條ニ胚胎セリト謂フヲ得ンヤ又假令ロ氏ノ主義ニ依リテ本條ヲ受ケタリトスルモ本人不知之間ニ其欲望セサル契約ヲ締結シ本人ニ對シテ「締束」ノ效果ヲ生セシムルモノト解釋スルコトヲ得ス故ニ本條ニ要スルハ本人ヨリ委託モナク又本人ノ名義ヲ明示セサルモ本人ノ爲メニ保險契約ヲ取結フコトヲ得而シテ本人タル者カ其契約ノ利益ヲ主張セント欲セハ之ヲ主張スルコトヲ得ルモノト解釋ス可シ然レトモ之カ爲メニ本人タル者カ其欲望セサル契約ヲ遵守セサル可カラサルモノニ非ス即チ其契約ニ因リテ本人ヲ「締束スルモノ」ニ非ス保險者及自稱代理人ヲ「締束スルモノ」外ナラス普通ノ場合ニハ追認ノ所爲アルヲ要ス換言スレハ追認ノ意思ヲ相手方ニ向テ發表セサレハ其契約ハ本人ニ對シテ「締束」ノ効力ヲ生ズルモノニ非ス然レトモ保險ノ場合ニハ本人ハ必スシモ追認ノ意思ヲ發表スルコトヲ要セス保險ノ利益ヲ主張セント欲セハ則チ之ヲ主張スルコトヲ得ルナリ米國ノ判決例ニモ亦之ニ類スルモノアリ例ヘハ他人ノ貨物ヲ預リタル者カ自己ノ利益ノ爲メト兼ネテ荷主ノ利益ノ爲メト即チ荷主ノ代理人トシテ保險契約ヲ取結ヒタリ此場合ニ荷主ハ其保險契約ノ利益ヲ主張スルコトヲ得ルヤトハ問題ヲ生シ而シテ裁判所ハ假令荷主カ危險發生ノ後迄追認ヲ爲サハルモ其保險契約ノ利益ヲ主張スルコトヲ得ルモノト判決セリ又英國ノ判決例コトハ下ノ如キコトアリ英國ニテハ追認ヲ爲スニ付キ或一定ノ條件ヲ要ス第一代理人カ本人ノ爲メニ取結ヒタル契約ナラサル可カラズ第二本人カ追認ヲ爲ス當時ニ於テ同一ノ契約ヲ締結スルヲ得ヘカリシコト

保險法 總論 當事者及代理人 代理人



是ナリ若シ追認ノ當時同一ノ契約ヲ締結スルコトヲ得サル狀況ニ在ルトキハ追認ヲ爲スコトヲ得ス然ルニ海上保險ニ在テハ此第二ノ條件ヲ要セストノ判決例アリ而シテ學者ハ曰ク此原則ハ海上保險ノ外ニ適用ス可カラサルノ理由ナキカ故ニ一般ノ保險ニモ亦適用スルコトヲ得ヘキモノナリト

第二、商法第六百二十八條第二項ハ規定シテ曰ク「契約ニ依リテ他人ノ利益カ知レサルトキハ保險申込人ハ保險者ニ對シテ被保險者ト看做サル」ト此規定モ亦保險契約ニ特別ナルモノニシテ前ニ述ヘタル如ク第三者ハ本人ノ名義ヲ明示セス又本人ノ委託ヲ受ケスシテ保險契約ヲ取結フコトヲ得從テ他人ノ利益ノ知レサル場合ナシトセス斯ノ如キ場合ニ在リテハ他人ノ權利ヲ認ムルコトヲ得ス何トナレハ保險契約ハ被保險利益ノ存在ヲ必要トスルモノナレハナリ故ニ此場合ニハ保險申込人ヲ以テ被保險者ト看做スモノトス若シ其申込人カ何等ノ被保險利益ヲモ有セザルトキハ其契約ハ無効ニ歸スルヲ免ガレサルナリ

第三、商法第六百四十四條ハ規定シテ曰ク「保險契約ハ各當事者ニ於テ仲買人ヲ

以テモ之ヲ取結フコトヲ得」ト是レ素ヨリ當然ノコトニシテ特ニ規定スルノ必要ヲ見ス歐洲ノ實例ヲ觀察スルニ保險契約ハ多數ノ場合ニ於テ仲買人ニ依リテ取結ハル何トナレハ保險契約ハ概シテ急速ヲ要スルモノナリ又或場合ニ於テハ保險金額巨額ニ上リ單ニ一ニ保險會社ニテハ賠償ノ資力ヲ有セザルコトアリ故ニ保險仲買人ナルモノハ他人ノ爲メニ保險契約ヲ取結フヲ營業トシ專ラ急速且ツ安全ニ保險契約ヲ取結フノ媒介者ト爲ルモノナレハナリ我國ニ於テハ未ダ保險仲買人ノ規定ナキカ故ニ普通ノ仲買人ニ關スル規定ニ依ラサル可カラズ今之ヲ講述スルノ必要ナキモ之ヲ保險ノ場合ニ適用シテ一言セハ元來仲買人ハ自己ノ名義ヲ以テ契約ヲ取結フモノナリ從テ相手方ニ對シテハ全ク本人ト同一ニ看做サル若シ仲買人カ被保險者ノ爲メニ保險契約ヲ取結フトキハ自ラ被保險者本人トシテ保險者ニ對シ權利及義務ヲ有ス且ツ仲買人ハ他人ノ委託ニ應ジテ保險契約ヲ取結フヲ常トスルモノナルカ故ニ保險契約ヲ有效ナラシムルノ條件ヲ熟知スルモノト謂ハサル可カラズ從テ他人ヨリ委託ヲ受ケタル以上ハ縱令詳細ナル指圖ナキモ保險契約ヲ有效ナラシムル所ノ總般

ノ條件ヲ具備スル契約ヲ取結フコトヲ要ス若シ違背スルトキハ其損害賠償ノ責ニ任ス可キナリ

第四、商法第六百四十五條ノ規定シテ曰ク保險營業者ノ其取引場ヨリ他ノ地ニ置キタル代辦人又ハ外國保險營業者ノ内國ニ置キタル代辦人ハ被保險者ニ對シ契約ノ取結陳述ノ承諾保險料ノ受取被保險額ノ支拂其他總テ保險者ノ代理ヲ爲ス權アリト看做ス但其代辦人カ被保險者ニ反對ヲ述ヘタルトキハ其限ニ在ラスト元來保險營業ノ場所ヨリ遠隔セル場所ニ在ル代辦人又ハ内國ニ在ル外國保險營業者ノ代辦人ニハ頗ル大ナル代理權ヲ與ヘサレハ便宜ヲ缺クモノタリ又此等代辦人ノ權利義務ニ付キテハ屢々越權ナルヤ否ノ問題ヲ生スルカ故ニ法律ハ其便宜ニ應シ且ツ困難ナル問題ヲ防遏スルカ爲メニ此等ノ代辦人ハ總テ保險者ノ代理ヲ爲スノ權利ヲ有スルモノトセルナリ然レトモ此等ノ代辦人カ特ニ被保險者ニ對シテ反對ヲ述ヘタルトキハ勿論例外ナリトス

虛陳及默秘

第九章 虛陳及默秘

第一節 虛陳

抑モ保險者ハ被保險者ガ情況ニ付テ陳述スル所ヲ信用シ保險契約ヲ締結スルモノニシテ若シ其陳述ガ虛偽ナルトキハ保險者ハ契約ヲ解除スルノ權アリ此虛偽ノ陳述ヲ名ケテ虛陳ト云フ而シテ虛陳ハ被保險者ガ當初ヨリ事實ニ非サルコトヲ知了スルニ拘ラズ保險者ヲ欺罔スルノ意思ヲ以テ之ヲ爲スコトアリ又眞實ナルヤ否ヲ知悉セサルニ取テ眞實ナリトシテ陳述スルコトアリ或ハ過失ニ因リ眞實ト誤認シテ陳述ヲ爲シ若シハ全ク過失ナクシテ善意ヲ以テ眞實ト誤認シ陳述スル場合モ之アリ虛陳ヲ廣義ニ解釋スルトキハ此等ノ事項ハ總テ之ニ包含セラレ、モノトス而シテ孰レノ場合ニ於テモ被保險者ノ爲シタル陳述カ重要ナル情況ニ關係ヲ有スルトキハ保險者ハ等シク保險契約ヲ解除スルコトヲ得ヘシ是レ商法第六百五十三條ノ規定スル所ニシテ結局保險契約ハ最上ノ誠意ヲ必要トスル原則ノ効果タルニ外ナラス然レトモ被保險者ニ惡意ノ存スル場合即チ保險者ヲ欺罔スルノ意思ヲ以テ虛陳ヲ爲シタル場合ハ寧ロ詐欺トシテ論ス可キモノナリ而シテ詐欺ハ一般ノ契約取消ノ原因ト爲ルモノタルカ故ニ特リ保險者ニ於テノミ適用ス可キ原則ニ非ズ從テ狹義ニ於ケル虛陳ハ只ク其詐欺ニ上ラサル場合

ニ限ル可キモノトシテ法律ハ何故ニ被保險者カ善意且ツ過失ナクシテ虚陳ヲ爲シタル場合ニ於テ尙ホ契約ヲ解除シ得ヘキモノト爲スヤ元來保險者カ契約ヲ締結セシ所以ハ全ク被保險者ノ陳述シタル情况ヲ信用セルニ因ルモノニシテ被保險者カ之ヲ陳述セル意思如何ハ何等ノ關係ヲモ有スルコトナシ即チ被保險者ニ過失ナキト將タ過失アルトヲ論セス其保險者ニ及ホス結果ニ於テハ同一ナルヲ以テナリ是レ保險契約カ他ノ契約ト其原則ヲ異ニスル一點ナリトス然レトモ當事者双方カ合意ヲ以テ申込人ノ知悉スル所ノミチ陳述セハ可ナルコトヲ定メタルトキハ良シヤ申込人ニ於テ充分ナル陳述ヲ爲サハルモ敢テ契約解除ノ要求ヲ受クルコトナシ而シテ此陳述ハ之ヲ分テ事實ノ陳述及意見ノ陳述ノ二種ト爲スコトヲ得契約締結ノ當時ニ於ケル情况ノ存在ヲ陳述スルモノヲ事實ノ陳述ト云ヒ契約締結ノ當時若クハ將來ニ於テ申込人カ或事實ノ存在ヲ希望スル所ノ陳述ハ之ヲ希望若クハ意見ノ陳述ト云フ而シテ虚陳ノ場合ニ契約解除ノ原因ト爲ル陳述ハ必スヤ事實ノ陳述ヲラサル可カラズ意見ノ陳述若クハ希望ノ陳述ニ至リテハ契約ニ何等ノ影響ヲ及ホスコトナシ詳言セハ當事者ニ於テ審クニ意見ヲ陳述

スルニ止マラス更ニ進ンテ或格段ナル事實ノ將來發生スルコトヲ約定シタル場合ハ即チ一ノ契約ト爲ルヲ以テ若シ義務者カ其契約ヲ履行セザルトキハ契約不履行ノ結果ヲ受ケサル可カラズ又虚陳ハ單ニ被保險者ノ述ヘタル事實ト實際ノ事實ト相違スルノミニテハ未ダ以テ保險契約ニ影響ヲ生スルモノニ非ス唯々其事實カ保險契約ニ重要ナル關係ヲ有スル場合ニ於テノミ茲ニ始メテ契約解除ノ原因ト爲ル可シ然ラハ保險契約ニ重要ノ關係ヲ有スル事實トハ何ソヤト釋スルニ畢竟保險者カ契約取結ノ際其情况ヲ知了セハ當然保險契約ノ申込ヲ拒絕スルカ或ハ良シヤ保險ヲ引受クルトモ大ニ利益ナル條件ヲ以テ結約シタルナラント認定シ得ヘキ場合ヲ云フ而シテ此保險契約ニ重要ノ關係ヲ有スル所ノ陳述ナルヤ否ヤハ勿論裁判官ノ事實認定ニ屬スルモノニシテ法律ハ敢テ斯々ノ場合コハ云々ノ認定ヲ下ス可シト命スルニ非ス即チ裁判官ハ一般ノ原則ニ依リ事實トシテ認定ヲ與フ可キモノナリ而シテ其一般ノ原則トハ普通保險者タルモノ、當然ノ意思ヲ標準ト爲スニ在リテ陪審ノ制ヲ執ル國ニ於テハ全ク陪審官ノ認定ス可キ事項ニ屬セリ而シテ情况ノ直接ニ危險ニ關係アルモノハ素ヨリ保險契約ニ重

要ノ關係ヲ有スルモノナリト雖モ其然ラサル場合ハ常ニ重要ノ關係ヲシテ斷言  
 スルヲ得ス一般ノ情態ヨリ推論シテ保險者カ保險ヲ拒絕スルカ又或多數ノ保險  
 料ヲ以テセサレハ保險ヲ爲サ、ル可シト推定シ得キ場合ハ總テ保險契約ニ重  
 要ノ關係ヲ有スル所ノ情況ナリ然レトモ保險者ニ於テ豫メ斯々ノ事項ハ保險契  
 約ニ重要ノ關係アルモノナルコトヲ明言シテ被保險者ニ之ヲ尋問シ被保險者モ  
 亦保險者ニ同意ヲ表シ其事項ハ總テ重要ノ問題ナリト答辯シタルトキ換言セハ  
 當事者カ等シク重要ナル關係ヲ有スルモノト定メタル場合ニ於テハ裁判所ト雖  
 モ其當事者ノ合意ニ羈束セラル可クシテ妄リニ自己ノ意見ニ依リ之ヲ取捨スル  
 コトヲ得ス何トナレハ或情況若クハ事實カ保險契約ニ重要ノ關係ヲ有スルヤ否  
 ヤノ問題ハ人ニ依テ其見解ヲ同ウセサルモノニシテ自己ハ重要ノ關係ヲ有スル  
 事項ト認ムルモ他人ハ然ラサルコトアリ從テ此問題ハ當事者カ合意ヲ以テ之ヲ  
 決定スルヨリ正當ナルコトアラサレハナリ此事タル我保險法ニ於テハ一モ規定  
 スル所ナシト雖モ英美其他ノ法律ニ在テハ何人モ爭ハサル原則ナリトス余輩ハ  
 法理上此原則ノ妥當ナルコトヲ確信スルモノナリ

被保險者カ當初陳述ヲ爲シタルトキハ全ク事實ナリシニ契約取結中情況ニ變化  
 ナ生シテ前ノ陳述カ虛妄トナルコトアリ此場合ニ於テモ亦保險者ハ契約ヲ解除  
 スルヲ得ヘシ而シテ其理由ニ二説アリ先ツ第一ニ被保險者ハ申込ノ時ヨリ契約  
 成立ノ際迄引續キ陳述ヲ爲シタルモノト看做ス可ク從ヒテ契約取結中情況ニ變  
 化アリテ前ニ述ヘタル所ト差異ヲ生スルトキハ是レ即チ虛陳ヲ爲セシニ外ナラ  
 ス而シテ虛陳ハ契約解除ノ原因ト爲ルモノナリ第二ニ被保險者即チ保險申込人  
 ハ充分完全ナル陳述ヲ爲サ、ル可カラス若シ完全ナル陳述ヲ爲サ、ルトキハ則  
 チ事實ヲ默秘シタルモノトシテ契約解除ノ制裁ヲ受ケサルヲ得ス蓋シ最初陳述  
 ナ爲セシトキハ事實ヲ得タルモ後日其事實上ニ變化ヲ生スルコトアレハ更ニ之  
 ナ陳述セサル可カラス然ルニ之カ陳述ヲ爲サスシテ結約シタルハ事實隱蔽ノ責  
 ナ免レスト云フニ在リ英米ノ法理ヨリ論スレハ第一ノ理由其當ヲ得タルモノニ  
 シテ又實際之ニ依準セル判決例アリ然レトモ被保險者カ時々刻々同一ノ陳述ヲ  
 爲スモノト認メサル邦國ノ法律ニ於テハ却テ第二ノ理由ヲ以テ穩當ヲ得タルモ  
 ノト爲ス可シ尤モ一旦契約ノ完成シタル以上ハ未ダ保險證券ヲ作成セサルト又

保險料ヲ支拂フ以前ナルトヲ論セス事實情況ノ上ニ如何ナル變化ヲ生スルトモ  
 之ニ因テ契約ニ何等ノ効果ヲ及ホスコトナシ即チ此場合ニ於テハ虛陳若シハ默  
 秘ノ理由ヲ以テ契約ヲ解除スルコト能ハス但シ其他ノ理由ヨリシテ契約ニ影響  
 ナ及ホスコトハ別問題ナリトス又或情況ノ陳述カ虛陳ナルヤ否ヤハ問題ハ多ク  
 ハ保險證券ニ記載セル文辭ノ意義如何ノ論題ニ依テ決定セラル、モノナリ然ル  
 ニ時トシテ其文辭ノ意義カ兩義ニ跨ルコトアリ又ハ不明ニシテ疑ハシキコトモ  
 之アリ斯ノ如キ場合ニ於テハ英國法ニ依レハ被保險者ノ利益ニ解釋スルヲ以テ  
 原則トス而シテ其理由ニアリ第一ニ凡ソ保險證券ハ保險者ノ作成スルモノナリ  
 而シテ證券ハ其作成者ニ對シ嚴格ニ解釋セサル可カラズ換言セハ作成者ノ不利  
 益ニ解釋ス可キモノトス第二ニ被保險者ノ權利ヲ剝奪シ又ハ處罰スルハ極メテ  
 明確ナル場合ニ限ル然ルニ此場合ニ於テハ事ノ疑ハシキモノアルヲ以テ妄リニ  
 被保險者ノ利益ヲ剝奪ス可カラズト云フニ在リ之ニ反シテ佛國法ハ原則トシテ  
 證券ハ義務者ノ利益ニ解釋ス可キモノト爲スカ故ニ此場合ニ於テハ補償義務ヲ  
 有スル者即チ保險者ノ利益ニ解釋セサル可カラズ而シテ我商法ニ於テハ解釋上

未ダ特定ノ規則ナシト雖モ此事項ハ若シ商法ニ於テ之ヲ規定セサレハ則チ一般  
 證據法ノ原則ニ依リテ決定ス可キモノナリ  
 次ニ被保險者ノ陳述カ言語又ハ文辭ノ如ク事實上符合セサルモ實質上ニ於テ相  
 符合スルトキハ虛陳ヲ以テ論スルコトヲ得ス實質上ノ符合トハ同一ノ目的ヲ同  
 様若クハ更ニ大ナル効力ヲ以テ遂行シ得ヘキ場合ヲ云フ例ヘハ被保險者カ建物  
 ノ屋上ハ瓦ヲ以テ蔽ハル、コトヲ陳述シタルニ實際上板葺又ハ茅葺ニ過キサル  
 トキハ全ク虛陳ト爲ル可シト雖モ之ニ反シテ石鐵又ハ亞鉛ノ如キ金屬ヲ以テ蔽  
 ハル、トキハ其外形ノ如何ニ關セス火災ヲ防禦スル効力ノ點ニ於テハ毫モ瓦葺  
 ニ讓ルコトナシ即チ斯ル場合ニ於テハ實質上ノ符合アルカ故ニ虛陳ヲ以テ論ス  
 ルヲ得ス又例ヘハ被保險物タル火藥ハ之ヲ陶器ニ藏メテ安全ノ方法ヲ設ケタリ  
 ト陳述セシ場合ニ實際ハ鐵葉函ニ入レ置キタルトキモ亦却テ破損ノ憂ナクシテ  
 一層安全ナルカ故ニ同シク虛陳ト認ムルヲ得ス今此點ニ關シ英國ニ於テ起生シ  
 タル實例ヲ舉ケンニ被保險者ハ保險證券ニ於テ被保險物タル家屋ノ各室ニハ水  
 桶ノ備附アルコトヲ記載セシニ實際ハ唧筒ヲ備附ケ直チニ之ヲ井水ニ据付クル

コトヲ得ル爲メ人夫ヲ準備シ置キタリ此場合ニ於テハ被保險者ノ陳述ハ全然虛偽ナレトモ事實上却テ其陳述ニ優ル所ノ消防ノ効果ヲ奏シ得ヘキヲ以テ實質上ノ符合アリト爲セリ要スルニ實質上ノ符合トハ同一ノ目的ヲ達スルニ足ル可キ注意ヲ用ヰテ其方法ハ同様若クハ一層優等ノ效果ヲ生シ得ヘキモノト認メラル、場合ノ謂ナリ又之ニ反シテ文辭上ノ符合アルモ尙ホ裁判所カ虛陳若クハ黙秘ヲ以テ論スル場合ナキニ非ス例ヘハ被保險者カ火災消防ノ爲メ水桶ヲ備附スルヤノ質問ヲ受ケタルトキ各室ニ水桶ノ備附アリトノ陳述ヲ爲シ實際ニ於テモ亦其陳述ノ如クナリシカ詳細ニ之ヲ檢閲スレハ其水桶タル宛然小兒ノ玩弄物ニ似テ更ニ實用ヲ爲サ、ルモノナリトセンカ保險者ハ虛陳又ハ黙秘ノ理由ニ依リテ契約ヲ解除スルコトヲ得ヘシ何トナレハ此場合ニ於テ保險者ノ問フ所ハ被保險者カ建物ノ火災ヲ消防スルニ足ル可キ器具ヲ備附セルヤ否ヤニ在リ從テ被保險者タルモノハ之ニ相應スル陳述ヲ爲サ、ル可カラズ單ニ玩具然タル水桶ノ備附アルノミニテハ未ダ充分ニ事實ヲ述ヘタルモノト認ムルヲ得サレハナリ畢竟スルニ被保險者ノ陳述シタル事實ハ敢テ言語又ハ文辭通リニ符合スルヲ要セス唯

タ實質上ノ符合アレハ充分ニシテ又場合ニ依リテハ實質上ノ符合ヲ必要トスルコトアリ

黙秘

### 第二節 黙秘

被保險者カ保險契約ヲ締結スルニ方リテハ管タニ實質上眞實ナル陳述ヲ爲サ、ル可カラサルノミナラス又充分完全ナル陳述ヲ爲ス可キモノタリ而シテ保險者ハ一部ノ眞實ヲ知ルノ權利ヲ有スルノミナラス又全體ノ眞實ヲ知ルノ權利ヲ有ス被保險者ニシテ若シ眞實ノ一部ヲ陳述スルニ止マリ他ハ黙秘シテ陳述セサルトキハ保險者ニ於テ契約ヲ解除スルコトヲ得ヘシ此完全ナル眞實ヲ示サ、ルコトヲ名ケテ黙秘ト稱ス即チ黙秘ハ被保險者カ其陳示ス可キ義務アル事項ヲ全ク沈黙シテ陳ヘサルカ又ハ其一部ヲ陳ヘテ他ノ部分ヲ沈黙シテ陳ヘサルヲ云フ然ラハ被保險者ノ陳示ス可キ事項ハ如何ト云フニ被保險者カ保險者ヨリ訊問ヲ受ケタル場合ト然ラサル場合トニ依リテ自ラ異同ナキ能ハス被保險者カ保險者ヨリ訊問ヲ受ケタルトキハ一應完全ナル答辯ヲ爲ス可キモノニシテ單ニ一部ノ狀況ヲ陳ヘテ他ヲ黙秘スルカ如キハ未ダ以テ完全ナル答辯ト爲スコトヲ得ス然ラ

ハ如何ナル點マテ答辯ス可キヤト云フニ善意ニシテ相當ノ應答ナリト認メラルル所ノ答辯ヲ以テ十分ナルモノトス換言スレハ訊問者ニ於テ若シ更ニ或事實ヲ知ラント欲セハ更ニ特別ノ問ヲ發セシムルニ足ル可キ答辯ヲ爲スヲ以テ十分ナリトス然レトモ各訊問ニ對シテ十分ナル答辯ヲ爲サレハ常ニ黙秘ノ結果ヲ受ケサル可カラサルモノト謂フ可カラス其訊問事項カ保險契約ニ重要ナル關係ヲ有スルトキニノミ其結果ヲ受ケルモノトス然ラハ被保險者ハ訊問ヲ受ケサル事項ニ付テハ沈黙スルモ可ナリヤト云フニ必スシモ然リト謂フコト能ハス縱令訊問ヲ受ケサルモ尙ホ陳示ス可キ事項アリ即チ非常ニシテ且ツ一般ニ知ラレサル事項ノ危險ニ大關係ヲ有スルモノハ縱令訊問ヲ受ケサルモ自ラ進ンテ陳示セサル可カラサルナリ例ヘハ此學校ニ對シテ屢放火ヲ試ミタル者アリト假定センニ此放火ノ事實ハ非常ニシテ且ツ一般ニ知ラレサルモノナルヲ以テ此學校チ火災保險ニ付セントスルトキハ所有者タル被保險人ハ自ラ進ンテ此放火ノ事實ヲ陳示ス可キカ如シ此コトタル英米等ノ法律ニ於テハ明カニ確定セリ我法律ノ精神モ商法第六百五十三條ノ規定ヨリ推考シテ同一ナルコトヲ察知ス可キ之ヲ要ス

ルニ被保險者カ訊問ヲ受ケタル場合ニハ尙モ重要ナル事項ヲ黙秘シタルトキハ其制裁ヲ免ガル、ヲ得サルモ訊問ヲ受ケタル場合ニハ只非常ニシテ一般ニ知ラレサル重要ナル事項ヲ黙秘シタルトキノミ其制裁ヲ受ケルモノトス尙ホ被保險者カ陳示スルコトヲ要スル事項ヲ明確ニスル爲メニ試ニ陳示スルヲ要セサル事項ヲ左ニ掲ク可シ

(第一) 保險者カ知了セル事項

保險者カ既ニ知了セル事項ハ被保險者ニ於テ更ニ陳示スルヲ要セサルヤ素トヨリ當然ソコトニシテ別ニ説明ヲ要セス

(第二) 保險者カ知了セリト推測シ得ヘキ事項

保險者カ既ニ知了セリト推測シ得ヘキ事項モ亦被保險者ニ於テ之ヲ陳示スルコトヲ要セス然レトモ實際上保險者ハ其事項ヲ知了セサルヤモ知ル可カラス然ルトキハ保險者ハ訊問ヲ爲スコトヲ得ヘシ而シテ被保險者カ此訊問ヲ受ケタルトキハ十分ニ陳示セサル可カラス若シ然ラサルトキハ黙秘ノ制裁ヲ免カレズ元來保險者ハ保險營業ニ關シテハ巧ナルモノト推測セラル可キモノナル

ヲ以テ社會ノ現象ニシテ公衆一般ニ知レ渡レル事項ハ保險者ニ於テ既ニ之ヲ知了セリト推測ス可キハ當然ナリ從テ此等ノ事項ニ付テハ被保險者ハ何等ノ陳示ヲモ要セスト爲シタル所以ナリ但訊問アルトキハ素ヨリ格別ト爲サ、ルヲ得ス

保險契約取結ノ委任ヲ受ケタル代理人ノ虛陳又ハ默秘ハ素ヨリ本人ノ虛陳又ハ默秘ト看做サ、ル可カラズ從テ縱令本人カ善意ナルトキト雖モ亦其責任ヲ免カレサルモノトス米國ニ於テハ第三者ノ生命ヲ保險ニ付スル場合ニハ保險者ハ其第三者ニ就テ健康ナルヤ否ヤヲ訊問ス可キヲ規則トシテ此訊問ニ應スル第三者ハ被保險者ノ代理人ト看做ス可キモノナリトノ判決例アリ故ニ若シ第三者カ虛陳ヲ爲シ又ハ默秘シタルトキハ被保險者ニ於テ其責任ヲ負擔セサル可カラズ然レトモ斯ノ如ク單ニ第三者ノ生命ヲ保險ニ付スルト云フ事情ノ爲メニ其第三者ヲ以テ直チニ被保險者ノ代理人ト看做スハ條理ノ許ス所ニ非ス左レハ今日ニ於テハ此判決例ヲ取消シタリ  
尙ホ終ニ講述ス可キ一事アリ即チ陳示ニ似テ更ニ一步ヲ進メルモノニシテ名ケ

テ之ヲ擔保ト稱ス我保險法ニ於テハ此擔保ニ關シ何等ノ規定ヲモ設ケスト雖モ英米ノ法律ニ於テハ明カニ其效果ヲ規定セリ然ルニ一ノ事實カ陳示ナルヤ將タ擔保ナルヤハ甚々疑惑ヲ生シ易キモノナルヲ以テ明カニ之ヲ區別スルコトヲ要ス例ヘハ生命保險契約ヲ取結フニ當リ被保險者カ曾テ疾病ニ冒サレタルコトナシ又將來暴飲セサル可シト明言スルカ如キハ擔保ト爲ルコト多シ然ラハ其區別如何ト云フニ單一ナル陳示ハ契約ヲ取結フニ至ル所ノ基礎ト爲ルモノナルモ契約ノ一部ニ非ス之ニ反シ擔保ハ一ノ約束ニシテ契約ヲ取結フニ至ル所ノ基礎ノミニニ非サルナリ英米法ニ依レハ擔保ハ保險契約ノ停止條件ヲ爲スモノナリトセリ故ニ苟モ擔保ニシテ毫末ノ相違アラソカ保險契約ハ全ク無効ニ歸ス可ク其擔保カ契約ニ重要ノ關係ヲ有スルヤ否ハ之ヲ問フノ必要ナキモノトス何トナレハ擔保ヲ爲スノ目的ハ其事項ノ果シテ契約ニ重要ナル關係ヲ有スルヤ否ト云フカ如キ困難ナル問題ヲ避ケントスルニ在レハナリ我保險法ニ於テハ擔保ニ關シ規定スル所ナキカ故ニ普通ノ原則ニ從テ當事者ノ意思ヲ推測シ當事者ノ意思ニ從ヒ其効果ヲ定メサル可カラズ若夫レ之ヲ以テ條件ト爲シタルモノナルトキハ是



レ即チ條件ニシテ擔保ト稱ス可キニ非ス英米二國ニ在テモ判事及學者中保險法ノ擔保ニ關スル規則ハ嚴ニ失スルノ嫌アリト論スル者アリ從テ此規則ノ適用ハ之ヲ擴張セサルノ傾向ヲ有ス然レトモ此規則ハ保險ハ誠實ヲ要ストノ原則ヨリ厝貽セルモノナルヲ以テ本邦ニ於テモ之ヲ明規スルノ立法上可ナルヲ信スルナリ

保險契約ノ移轉

### 第十章 保險契約ノ移轉

前屢陳述スルカ如ク保險契約ナルモノハ補償ノ性質ヲ帶フルモノナルカ故ニ被保險者ハ保險契約ヲ締結スル當時ニ於テ被保險利益ヲ有セサル可カラサルノミナラズ損害ノ生シタル當時ニ於テモ亦被保險利益ヲ有セサル可カラサルモノトス何トナレハ契約ノ當時ニ於テ被保險利益ヲ有セザレハ無資格者ノ契約ナルヲ以テ無効ニ歸セサル可カラズ又損害ノ生シタル當時ニ於テ被保險利益ヲ有セザレハ危險ノ爲メニ損失ヲ被フリタルト謂フヲ得サレハナリ故ニ保險契約締結ノ後被保險物ヲ他ニ讓渡シタルトキハ被保險人ハ損失ノ當時被保險利益ヲ有セザルノ理由ニ因リ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス又讓受人ハ損失ノ當時ハ被保險利益

ヲ有スルモ契約ノ當時ハ之ヲ有セザリシノ理由ニ基キ賠償ヲ請求スルコトヲ得サルノ理ト爲リ結局保險契約締結ノ後被保險物ヲ讓渡シタルトキハ其契約ハ其効力ヲ失セサルヲ得サルノ結果ヲ生ス然レトモ專ラ斯ノ如キ純粹ノ條理ニ委任スルハ實際上不便ナキニ非ス按スルニ古來保險契約ノ移轉ニ付テ二個ノ主義ヲ生セリ一ハ保險契約ヲ物約ト看做スノ主義ニシテ二ハ保險契約ヲ人約ト爲スノ主義ナリ英米法ニ於テハ保險契約ヲ人約ト認ムルカ故ニ被保險物カ他人ニ移轉スルトキハ其保險契約ハ消滅ニ歸スルヲ一般ノ通則トスシヨト氏ハ此主義ノ理由ヲ説明シテ曰ク世人ハ通常建物ニ對スル火災保險ヲ建物ノ保險ト稱シ又船舶ニ對スル海上保險ヲ船舶ノ保險ト稱シ其他皆被保險物ニ重キヲ置クカ如シト雖モ凡ソ保險契約ヲ締結スルハ所有者其他ノ利害關係人カ被保險物上ニ有スル利益ヲ失ヒタルトキ其賠償ヲ得ルヲ以テ目的トシ決シテ重キヲ目的物ニ置クモノニ非ス故ニ保險契約ハ素ヨリ人的ノ性質ヲ有スルモノナリト尤モ英米法ニ於テモ保險契約ヲ被保險物ト共ニ讓渡シタルト認メ得ヘキ場合ニハ其物上ニ損害ノ生シタルトキ讓受人ニ於テ賠償ヲ請求スルコトヲ得ルモノトセリ而シテ其

理由トスル所ハ保險者ト讓受人トノ間ニ新ナル保險契約成立スルモノト看做ス  
 ニ在リ從テ保險者カ之ヲ承諾セスト認ム可キ場合ニ於テハ素ヨリ其保險契約ハ  
 無効ニ歸スルモノトス次ニ物約主義ハ我商法ノ採用スル所タリ此主義ニ依レハ  
 被保險物ヲ他人ニ移轉スルトキハ保險契約モ亦之ニ隨伴シテ移轉スルモノト看  
 做ス從テ物ノ讓受人ハ其讓渡人ノ締結シタル保險契約ヲ承繼スルモノトス我商  
 法ノ主義トシテ被保險物ト賠償金額トノ間ニハ密接ノ關係ヲ有スルモノト看做  
 ス換言スレハ危險發生スレハ被保險物ハ變シテ賠償金ト爲ルモノト看做セリ從  
 テ保險契約ハ被保險物上ニ重大ノ關係ヲ有スルガ故ニ之ヲ物約ト看做シタルモ  
 ノナル可シ然レトモ此規定ハ果シテ我國現時ノ民情ニ適スルヤ否ハ未タ以テ明  
 言スルコト能ハス修正委員タル者意ヲ茲ニ致サ、ル可カラサルナリ  
 然レトモ我商法ニ於テモ被保險物ノ移轉ハ併セテ保險契約ヲ移轉ストノ原則ニ  
 四個ノ例外ヲ設ケリ

(第一) 讓渡人カ自己ニ或利益ヲ留置キタル場合

例ハ學校ノ所有者カ建物ヲ一萬圓ノ保險ニ付シ然後其建物ヲ第三者ニ讓渡

シタリトセンニ普通ノ場合ニ於テハ建物ノ讓渡ト同時ニ其保險契約ヲモ共ニ  
 移轉スト雖モ若シ未タ代金ノ全部ヲ受取ラサルカ如キ場合ニ於テハ前所有者  
 ハ尙ホ其建物ノ上ニ利害ノ關係ヲ有ス結局代金ノ支拂ヲ受ケサルトキハ賣買  
 ヲ解除シテ其建物ヲ取戻スコトヲ得故ニ斯ノ如キ場合ニハ讓渡人カ保險契約  
 マテナモ讓渡シタリト看做ス可キモノニ非ス從テ被保險物タル其建物カ危險  
 ニ因リ損失ヲ被フリタルトキハ被保險者タル讓渡人ハ保險者ニ對シテ賠償ヲ  
 請求スルコトヲ得ルモノトス但當事者間ニ特約アルトキハ素ヨリ此限ニ在ラ  
 サルナリ

(第二) 第六百五十四條ノ場合

第六百五十四條第一項ハ規定シテ曰ク「契約取結ノ後被保險物ニ付キ情況ノ變  
 更カ發生シタル爲メ其引受ケタル危險ノ増加シ若クハ變更スル場合又ハ保險  
 料ノ支拂ニ付キ明示若シハ默示ノ延期ナキトキハ契約上又ハ慣習上ノ期間ニ  
 受取證書ト引換ニテ其支拂ヲ求ムルモ仍ホ之ヲ得サル場合ニ於テハ保險者ハ  
 其契約ニ羈束セラル、コト無シ但孰レノ場合ニ於テモ保險者其契約ヲ繼續ス

ルトキハ此限ニ在ラスト此前段ノ場合ニ保險契約ヲ移轉セシメサルハ其危険ニ影響ヲ及ホスヲ以テ保險者カ之ヲ承諾セスト看做ス可ケレハナリ又後段ノ規定ハ被保險者カ保險料ヲ支拂ハサル場合ニ關スルモノナルモ恐クハ是レ眞正ノ例外ニ非サラン蓋シ此規定ハ被保險者ハ保險契約ヲ移轉スルコトヲ得ルモ若シ保險料ヲ支拂ハサルトキハ保險者ニ於テ其契約ヲ解除スルコトヲ得ル爲スモノニ過キサレハナリ

(第三) 保險者カ轉付ニ付キ承諾ヲ與フル權利ヲ明示シテ留保シタル場合

此場合ニハ保險者ハ明カニ反對ノ意思ヲ表ホセルヲ以テ縱令被保險物カ移轉スルモ保險契約ハ共ニ移轉ス可キニ非ス若シ保險契約ヲモ共ニ移轉セント欲セハ保險者ノ承諾ヲ得サル可カラサルナリ

(第四) 被保險物轉付ノ當事者カ特ニ保險契約ノ移轉ナキコトヲ明示シテ約束シタル場合

此場合ハ被保險物ヲ移轉スルニ付キ其當事者カ特ニ契約シテ保險契約ヲ移轉セサルモノナルヲ以テ原則ノ例外ヲ爲ス可キヤ素ヨリ論ガ俟タス

要スルニ當事者ノ意思ニ於テ保險契約ヲ被保險物ト共ニ移轉セスト看做ス可キ場合ヲ以テ例外ト爲セルナリ

商法第六百四十條第二項ノ規定ニ曰ク然レトモ總テノ場合ニ於テ被保險者ハ其爲シタル轉付ヲ遅延ナク保險者ニ通知シ又保險者ハ保險カ記名ナルトキハ新取得者ノ名ニ書替フルコトヲ要スト然レトモ轉付ヲ通知スト否ト又名義ヲ書替フルト否トハ毫モ保險契約ノ移轉ニ影響ヲ及ホスモノニ非ス要スルニ唯タ保險契約ノ移轉ヲ整理シ且ツ其證據ヲ明確ニシテ若シ實際移轉ナキ場合ニ於テハ當事者ヲシテ異議ヲ申立ツルコトヲ得セシメントスルニ在ルノミ

保險契約ノ移轉ニ似テ非ナルモノアリ即チ被保險額請求權ノ移轉是ナリ商法第六百四十一條第一項ノ規定スルカ如ク被保險額ノ請求權ハ普通債權ト同シ自由ニ之ヲ讓渡スコトヲ得然レトモ是レ單ニ被保險額請求權即チ債權ヲ移轉スルニ止マリ他ノ保險契約上ノ關係ハ決シテ變更セス依然トシテ其契約セル當事者間ニ存續スルモノトス而シテ被保險額請求權ハ明示ノ方法ヲ以テスルモ又默示ノ方法ヲ以テスルモ素ヨリ隨意ニ移轉スルヲ得ルモノナリ而シテ第六百四十一

條第二項ハ默示ノ移轉ト看做ス場合ヲ規定セリ即チ左ノ如シ  
(第一) 被保險物ノ抵當若シハ質入ノ場合

此場合ニハ抵當取主又ハ質入主ニ被保險額請求權ヲ移轉シタルモノト看做ス  
是蓋シ被保險物ハ賠償金ト同一視ス可キモノナルヲ以テナリ

(第二) 抵當物若シハ質物ヲ保險ニ付シタル場合

此場合モ亦前項ト同一ノ理由ニ基クモノトス

(第三) 第三者ノ爲メニスル保險ノ場合

此場合ハ生命保險ニ於テ多ク其例ヲ見ル例ニハ余カ妻子ノ爲メニ生命保險契  
約ヲ取結フカ如キハ即チ是レ第三者ノ爲メニスル保險ナリ此場合ニハ第三者  
ハ被保險額ヲ請求スル權利ヲ有ス茲ニ一ノ問題ヲ生スルハ第三者カ死亡シタ  
ルトキハ如何トノコト是ナリ詳言スレハ第三者カ死亡シタルトキハ被保險額  
請求權ハ被保險者ノ相續人ニ移轉スルカ將テ第三者ノ相續人ニ移轉スルヤ英  
米法ニ於テハ此請求權ヲ被保險者ノ遺産ニ屬スルモノトセリ從テ其相續人ノ  
手裡ニ歸屬ス然レトモ是レ一個ノ疑問タルヲ免カレヌ我商法ニ依レハ他人ノ

損失ノ賠償

爲メニスル保險ノ場合ニハ被保險額請求權ハ第三者ニ移轉スルモノナルカ故  
ニ此請求權ヲ以テ第三者ノ權利ト看做ス可ク從テ其相續人ニ移轉スルモノト  
爲スコト或ハ適當ナラズ歟

第十一章 損失ノ賠償

商法第六百三十四條第一項ニ依レハ辨濟ス可キ賠償額ハ人ノ保險ニ在テハ被保  
險額トシ物ノ保險ニ在テハ被保險者カ危険ノ發生ニ因リテ直接又ハ間接ニ被フ  
リタル損害ヲ以テ限トスト規定セリ左レハ人ノ保險ト其他ノ保險トノ間ニハ損  
害ノ賠償額ヲ定ムルニ付キ稍其趣ヲ異ニスルコトヲ知ル可シ惟フニ人ノ保險ノ  
場合ニ於テハ普通定マレル價格ナク被保險者ハ自由ニ賠償額ヲ定ムルコトヲ得  
從テ人ノ保險ニハ超過保險又ハ重複保險アルコトナシ斯ノ如ク人ノ保險ニ在テ  
ハ普通定マレル價格ナキヲ以テ必ス被保險額ヲ定ムルコトヲ要ス若シ之ヲ約定  
セサルトキハ要件ニ付キ合意ヲ缺クルカ故ニ保險契約ハ成立スルコト能ハサル  
ナリ然ルニ他ノ保險ノ場合ニ於テハ必スシモ被保險額ヲ約定スルコトヲ要セス  
若シ之ヲ約定セサルトキハ保險者ハ被保險者カ實際被フリタル損害ヲ賠償スル

ナ以テ足ルモノトス以上ハ一般ノ原則ナリト雖モ人ノ保險ニ付テハ例外ナキニ  
 非ス即チ第三者ノ生命若シハ健康ヲ保險ニ付スル場合はナリ尤モ第三者ト云フ  
 モ配偶者兄弟姉妹尊屬親及卑屬親ノ間ニ於テ他ノ生命若シハ健康ヲ保險ニ付ス  
 ル場合ハ猶ホ自己ノ生命健康ヲ保險ニ付スル場合ノ如シト雖モ例ハ債權者カ  
 債務者ノ生命若シハ健康ヲ保險ニ付スルカ如キ被保險者カ被保險利益ヲ有スル  
 コトヲ特ニ證明ス可キ場合ニハ他ノ一般保險ノ原則ヲ適用ス可キモノトス故ニ  
 必スシモ被保險額ヲ約定スルヲ要セス被保險者カ第三者ノ身上ニ付キ實際有ス  
 ル利益ヲ標準トシテ賠償額ヲ査定スルコトヲ得ヘシ從テ重複保險又ハ超過保險  
 ノ場合ヲ生スルコトアル可キナリ前項第六百三十四條第一項ニ於テ辨濟ス可キ  
 賠償額ハ人ノ保險ニ在テハ被保險額トシトノミ規定シ例外ノ場合ニ關スル規定  
 ナ設ケサリシハ立法上ノ缺點ト謂ハサルヲ得ス  
 物ノ保險ニ在テハ本來普通價格ヲ有スルモノナルカ故ニ被保險利益モ亦其普通  
 價格ニ依リテ定マル可キモノナリ被保險者カ自由ニ之ヲ定ムルコトヲ得ス但僅  
 少ノ差違ニ至リテハ當事者ノ合意ニ從フ可キモノトス何トナレハ物ノ價格ハ何

等ノ合意ナキトキハ普通價格ヲ標準トス可キモ當事者ノ合意アルトキハ其合意  
 ナ以テ正當ト看做ス可ケレハナリ然レトモ普通價格ト非常ニ相異ナル價格ヲ合  
 意シタルトキハ裁判所ハ誠意ヲ以テ價格ヲ定メタルモノト認メス從テ其合意ヲ  
 無効ヲラシム可シ  
 保險契約ニ付キ損失ノ賠償ヲ論スルニハ全部損失ノ場合ト一部損失ノ場合トナ  
 區別セサル可カラス全部損失ノ場合ニハ保險者ハ被保險物ノ全價額ヲ賠償スル  
 ノ責アリ一部損失ノ場合ニハ保險者ハ實際生シタル損失ノ賠償ヲ爲スノ責アル  
 モノトス茲ニ所謂全部ノ損失トハ物ノ全ク滅失スルヲ指スニ非ス損失ノ非常ニ  
 シテ其物ニ從來ノ名稱ヲ附スルコト能ハサルニ至リタルトキハ之ヲ全部ノ損失  
 ト云フナリ例ハ家屋カ地震ノ爲メ破壊セラレ材木又ハ煉化等ハ片々ト爲リ  
 テ散在スルモ最早家屋ノ名稱ヲ附スルコト能ハサルトキハ之ヲ家屋ノ全部損失  
 ト云フ可キカ如シ此全部ノ損失ト一部ノ損失トノ區別ハ委實ノ原則ヲ適用スル  
 コトヲ得ルヤ否ノ問題ニ關係ヲ有ス委實ノ原則ヲ適用スルコトヲ得サル場合ニ  
 ハ別ニ全部ノ損失ト一部ノ損失トヲ區別スルノ必要ナキナリ而シテ海上保險ニ

ハ明カニ委棄ノ規定ヲ設ケルカ故ニ此區別モ從テ必要ナリト雖モ他種保險立付  
 テハ委棄ノ原則ヲ適用スルコトヲ得ルヤ否ハ一問題ナリ元來火災保險又ハ暴  
 風雨ノ保險ノ如キモ委棄ノ原則ヲ適用ス可カラサルノ理由オシ現ニ英國於テ  
 ハ獨リ海上保險ノミオラス一般ノ保險ニ委棄ノ原則ヲ適用セリ然ルニ我商法ハ  
 保險ノ通則ニ於テ委棄ノ規定ヲ設ケル海上保險ノ部ニ於テ其規定ヲ設ケルヲ以  
 テ海上保險以外ノ保險ニハ委棄ノ原則ヲ適用セサルモノト謂ハサル可カラズ從  
 テ又全部ノ損失ト一部ノ損失トヲ區別スルノ必要ハ單ニ海上保險ニノミ存スル  
 モノト謂フ可シ其他ノ保險ニ在テハ唯テ實際ノ損失ヲ賠償ス可シト云フニ歸着  
 スルナリ  
 重複保險ノ場合ニ於テハ各保險者ハ恰モ連帶シテ一ノ保險契約ヲ締結シタルト  
 同一ノ結果ヲ生ス從テ各保險者ハ被保險者ニ對シテ全部賠償ノ責ヲ有スルナリ  
 然レトモ保險者間ニ於テハ各被保險額ノ割合ニ應シテ其負擔ヲ分割ス可キモノ  
 トス尤モ人ノ保險ニ在テハ重複保險ナキヲ以テ斯ノ如キ場合ヲ生スルコトナレ  
 不足保險ノ場合ニ於テハ前ニ説述シタルカ如ク保險者ト被保險者トカ各其負擔

部分ノ割合ニ應シテ損害ノ責ニ任ス可キモノトス  
 超過保險ノ場合ニ於テハ保險者ハ實際ノ損害ヲ賠償スルヲ以テ足レリトス若シ  
 超過保險カ詐欺ニ因リテ成立シタルトキハ保險者ハ其保險契約ヲ取消スコトヲ  
 得既ニ取消ヲ爲シタル以上ハ保險者ニ於テ何等ノ義務ナキヤ明ケシ然レトモ錯  
 誤其他詐欺ニ至ラサル原因ニ基キテ取結ヒタル超過保險ハ單ニ被保險物ノ利益  
 額ヲ超過スル部分ニ限り無効トス可キモノトス  
 商法第六百三十四條第一項ノ規定ニ依レハ物ノ保險ニ於テ保險者ノ賠償ス可キ  
 損害ハ被保險者カ危險ノ發生ニ因リテ直接ニ被フリタル損害ハミナラス間接ニ  
 被フリタル損害ヲモ包含スルモノトセリ然ラハ其間接ノ損害トハ如何廣義ニ解  
 釋スルトキハ凡ソ宇宙間ノ森羅万象ニトシテ關係ヲ有セサルモノナシ從テ一ノ  
 事實ニ因リテ影響ヲ受ケタル諸種ノ損害ハ悉ク之ヲ間接ノ損害トシテ保險者ノ  
 責任ニ歸セシメサル可カラズ然レトモ法律上ノ所謂間接ノ損害ハ斯ノ如ク廣義  
 ニ解釋ス可キモノニ非ス故ニ其間接ノ損害トシテ單ニ第一ノ間接ノ損害ヲ指稱シ  
 第二以下ノ間接ノ損害ハ之ヲ包含セザルモノト知ル可シ例ニハ家裏火災保險

ニ付シタル場合ニ其家具火災ノ爲メニ焼失シタルトキハ火災ナル原因ノ爲メニ  
 焼夫ノ結果ヲ生セルモノナルカ故ニ焼失ハ直接ノ損害ナリ又火災ヲ避クル爲メ  
 ニ其家具ヲ往來ニ抛ケ出シタルニ大ニ破損シタル損害ノ如キハ間接ノ損害ナリ  
 何トナレハ火災ナル原因ヨリシテ抛出ノ結果ヲ來シ而シテ抛出ノ原因ヨリシテ  
 破損ノ結果ヲ生シタルハナリ英米ノ保險法ニ於テハ他ノ普通ノ場合ト同シク間  
 接ノ損害ハ保險者之ヲ負擔セサルヲ原則トセリ  
 次ニ第六百三十四條第三項ノ規定ニ曰ク間接ノ損害中ニハ現ニ生シ又ハ將ニ生  
 セントスル危險ノ已ムヲ得サル防止ニ因リテ生シタル別段ノ費用及ヒ損害ヲモ  
 包含スルモノトス下故ニ例ニハ保險ニ付セル建物ニ火災起リ之カ消防ノ爲メニ  
 生シタル費用損害又ハ隣家ニ火災起リ將ニ保險ニ付セル建物ニ延火セントスル  
 ニ當リ之ヲ防止スルカ爲メニ生シタル費用損害ハ保險者之ヲ賠償セサル可カラ  
 ス惟フニ此等ノ損害ハ當然間接ノ損害中ニ包含ス可キモノニ非ス故ニ法律ハ特  
 ニ之ヲ間接ノ損害ナリト規定シ以テ保險者ノ負擔ニ歸セシメタリ英米法ニ於テ  
 ハ間接ノ損害ヲ保險者ニ負擔セシメサルニ拘ハラス尙ホ此等ノ損害ハ保險者之

ヲ賠償ス可キモノト爲ス此理由如何ト云フニ即チ此等防止ノ所爲ハ保險者ニ利  
 益ヲ與フルモノナリ詳言スレハ此等防止ノ所爲ナキトキハ被保險物ハ滅失シテ  
 保險者ハ全部ノ賠償ヲ爲サ、ル可カラザリシニ防止ノ所爲アリタルカ爲メ此責  
 任ヲ免カル、コトヲ得タルモノト謂ハサル可カラズ從テ此等防止ノ所爲ノ爲メ  
 ニ生シタル損害ハ保險者之ヲ負擔スルコト至當ナリト云フニ在リ要スルニ其理  
 由コソ相異ナレ結果ニ至リテハ英米法ト我商法トハ同一ナリトス  
 保險者カ被保險者ニ對シテ被保險額ヲ支拂ヘタルトキハ損害ハ生シタルカ爲メ  
 被保險者カ第三者ニ對シテ有スル請求權ヲ當然取得スルモノトス特ニ債權ノ保  
 險ノ場合ニ於テハ債務者ニ對ズル債權者ノ權利ヲ當然取得スルナリ(商法第六百  
 五十八條)  
 元來一般ノ條理ヨリ論スルトキハ保險者ハ斯ノ如キ權利ヲ取得ス可キモノニ非  
 ス英米法ニ於テハ我商法ノ如キ規定ヲ設ケサルカ故ニ代位訴權ヲ利用シテ其利  
 益ヲ收ムルコトヲ得ルニ過キス或判決例ニ於テ甲者ハ其生命ヲ保險ニ付シタル  
 後或鐵道會社ノ懈怠ノ爲メニ死亡シヌリ依テ保險會社ハ甲者ノ被保險額ヲ支拂  
 ヒタル上甲者カ鐵道會社ニ對シテ有スル權利ニ基キ同會社ニ對シ損害賠償請求

ノ訴ヲ起セルニ裁判所ハ此保險會社ノ請求ヲ排斥セリ其理由トスル所一ハ英米ノ普通法上人命ノ毀損ニ付テハ責任ナシトスルト二ハ保險會社ト鐵道會社トノ間ニ何等ノ關係ナシト云フニ在リ故ニ英米法ニ於テハ保險者カ自己ノ名義ヲ以テ被保險者カ第三者ニ對シテ有スル權利ヲ行使スルコトヲ得スト雖モ被保險者ニ代位シ其名義ヲ以テ訴權ヲ行使スルコトヲ得ルハ普通法ノ認ムル所ナリ之ヲ稱シテ「サブローグレーション」ト云フ此「サブローグレーション」ノ起源ハ保險契約ハ猶ホ保證契約ノ如シ而シテ保險者カ既ニ被保險者ニ對シテ賠償ヲ爲シタル以上被保險者カ有スル所ノ救濟權ヲ被保險者ニ代テ行使スルコトヲ得ルハ恰モ保證人カ債務ヲ辨濟シタルトキハ債權者ニ代テ債務者ニ債務ノ辨濟ヲ請求スルコトヲ得ルカ如シ元來被保險者ハ保險者ニ對シテモ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得又非行者ニ對シテモ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得此二者ニ付キ選擇ノ自由ヲ有ス尤モ時ノ順序ニ於テハ保險者ハ保證人ト同一ナラスト雖モ結果ニ至リテハ保險者ノ賠償ハ決シテ保證人ノ辨濟ニ異ナラスト最終ノ責任ヲ有スル者ハ非行者ニシテ保險者ハ唯之ニ代テ賠償シタルニ過キス故ニ保險者ハ被保險者ニ代リ其名義ヲ以

テ非行者ニ對シ更ニ賠償ヲ請求スルヲ得セシムルハ是レ衡平主義ニ基クモノト謂ハサル可カラズ或判事ハ說明シテ曰ク凡ソ吾人ハ第三者ノ非行ニ因リテ他人ニ損害賠償ヲ支拂ヒタルトキハ其支拂ヲ受ケタル者ノ權利ヲ利用シ非行者ニ對シテ更ニ賠償ヲ請求スルコトヲ得ルハ是レ衡平ニ基クモノナリト「サブローグレーション」ノ名稱ハ即チ此衡平主義ニ起源セリ然レトモ此「サブローグレーション」ノ問題ハ自己ニ訴權ナキ場合ニ必要ナルモノニシテ我商法ノ如ク明カナル規定ヲ設ケテ第三者ニ對スル直接ノ訴權ヲ保險者ニ附與シタル國柄ニ於テハ毫モ其必要ナキナリ而シテ此場合ニ於テ若シ被保險者カ保險者ニ對シテ損害ヲ及ホスカ如キ行爲ヲ爲シタルトキハ素ヨリ其責ニ任セサル可カラズ又保險者カ被保險者ノ權利ヲ取得スルハ自己カ支拂ヲ爲シタル金額ヲ限トシ之ヲ超過スル部分ニ付テハ決シテ權利ヲ取得セサルモノトス

保險者ハ如何ナル場合ニ於テ損害ヲ賠償ス可キヤ又幾許ノ賠償額ヲ支拂フ可キヤト云フニ勿論擔保シタル危險ヨリ直接若クハ間接ニ生シタル損害ヲ限トシテ賠償ノ責ニ任ス可キモノトス而シテ保險者ノ負擔ス可キ損失ヲ明白ナラシムル



ハ保險者カ責任ヲ有セサル損失如何ヲ説明スルヲ便宜トシ蓋之ヲ明カニスレハ保險者ノ責任ヲ有スル損失ノ如何ハ自ラ明白ト爲レハナリ依テ左ニ如何ナル場合ニ責任ヲ有セサルヤヲ説明セシムル欲ス

(第一) 被保險者カ已ムテ得サルニ非スシテ任意ニ加ヘ若クハ加ヘシメタル損失  
抑モ保險者ノ賠償ス可キ損失ハ必ズ不慮ノ危険ニ因リテ生シタルカ又ハ之ヲ防止スルカ爲メ已ムテ得スシテ生シタルモノナラサル可カラズ若シ防止ノ必要ナキニ拘ハラス任意ニ加ヘ若クハ他人ヲシテ加ヘシメタル損失ハ保險者之ヲ負擔スルノ責ナシ然レトモ苟モ任意ニ非サル行爲ヨリ生シタル損失ナルトキハ縱令僅少ノ過失ニ基キタルモノナリト雖モ保險者之ヲ賠償セサル可カラズ但大過失ハ此限ニ在ラサルナリ

(第二) 被保險物ノ性質上直接ニ生シタル損失  
物ノ性質上免カル可カラサル損失ノ如キハ不慮ノ危険ニ基カサルモノナルノミナラズ保險者ノ負擔シタル危険ヨリ生スルモノニ非サレハ保險者ハ之ヲ負擔スル限ニ在ラス例ヘハ硝子又ハ陶磁器人如キ性質上破損シ易キ物品ヲ遠路

ニ運搬スルトキハ多少ノ損失ヲ免カレス然レトモ其損失ハ保險者之ニ負擔セサルカ如シ

(第三) 被保險物ノ固有ノ瑕疵ヨリ直接ニ生シタル損失  
被保險物ノ固有ノ瑕疵ヨリ生シタル損失ハ不慮ノ危険ニ基因セサルヤ明カナルヲ以テ亦保險者ノ負擔ス可キモノニ非ス例ヘハ火藥ノ如キハ製造粗悪ナルモノハ爆發ノ憂ナキヲ保セス然レトモ其爆發ノ爲メニ生シタル損失ハ保險者之ヲ負擔セサルカ如シ

(第四) 被保險物ノ當然ノ使用ニ因リテ直接ニ生シタル損失  
凡ソ物ハ之ヲ使用スレハ多少ノ損失ヲ免カレス然レトモ此損失ハ豫想ス可キモノナルヲ以テ素ヨリ保險者ニ於テ之ヲ負擔ス可キモノニ非ス

(第五) 戦争又ハ暴動ニ因リテ生シタル損失  
此種ノ損失ニ付キテハ保險者ハ常ニ賠償ノ責ナシト言フニ非ズ唯ダ特別ノ明約ナキトキハ賠償ノ責ナシト言フニ過キサルナリ從テ特別ノ明約アルトキハ素ヨリ賠償ノ責アルモノトス蓋シ戦争又ハ暴動ハ或場所ヲ限リテ起生シ而シ

テ其起生シタル場所ニ於テハ危險ハ非常ニ甚シキモノナリ或ハ身體財産ヲ舉  
 ケテ喪失スルコトナキヲ保セス斯ノ如キ非常ナル危險ハ多額ノ保險料ヲ得ル  
 ニ非サレハ保險者ニ於テ之ヲ擔保シタルモノト推測スルコトヲ得ス故ニ特別  
 ノ明約アルニ非サレハ之ヲ引受ケタルモノト看做サス而シテ縱令保險證券ニ  
 廣義ノ文字ヲ使用シ其文字ハ自ラ戰爭又ハ暴動ヲモ包含スル場合ト雖モ單ニ  
 之ヲ以テ此等ノ危險ヲモ擔保シタルモノト看做サ、ルナリ

相互ノ保  
 險會社

第十二章 相互ノ保險會社

相互保險會社トハ會社ノ株主又ハ社員カ被保險者タルト同時ニ他ノ社員又ハ株  
 主ニ對シテハ各保險者ノ權利義務ヲ有スルモノヲ云フ簡約ニ之ヲ言ヘハ各社員  
 又ハ株主ハ被保險者ナリ又保險者タルモノナリ然レトモ法律上ヨリ論スレハ保  
 險者ハ會社ニシテ株主若クハ社員ハ被保險者ナリトスルヲ妥當トス而シテ斯ノ  
 如キ會社ノ株主又ハ社員ノ權利及義務殊ニ保險料ノ支拂、追拂、會社債務ノ辨濟利  
 益分配及計算書ノ呈出ニ關スルモノハ其會社ノ契約若クハ定款ニ依リテ之ヲ決  
 定セサル可カラス若シ其契約又ハ定款カ不充分ナルトキハ則チ本法ノ規定ニ從

ヒテ權利關係ヲ定ム可キモノトス(第六百九十五條)元來相互保險契約ハ果シテ真正ノ保  
 險契約ト稱ス可キモノナルヤ又ハ會社契約ノ一種類タルニ過キサ、ルヤ是レ實ニ  
 一ノ疑問ナリトス若シ會社契約ナリトセン乎相互保險契約ト雖モ尙ホ會社法ニ  
 從ハサル可カラス之ニ反シテ純然タル保險契約ナリトセン乎則チ保險法ニ依ラ  
 サル可カラス我法律ハ此疑問ヲ防止センカ爲メニ右ノ如ク社員又ハ株主ノ權利  
 關係ハ其會社若クハ定款ニ依リテ決スルヲ原則トシ其不充分ナル時ニ於テノミ  
 保險法ノ條規ニ從ヒテ之ヲ定ム可キモノト爲セリ唯タ此規定ニ付テ一个ノ問題  
 ト爲ル可キコトハ本法第六節ニ所謂保險營業ノ公行ノ規定ハ之ヲ相互保險會社  
 ニ適用シ得ルヤ否ヤノ點是ナリ更ニ詳言スレハ相互保險會社ハ單ニ社員又ハ株  
 主即チ會社内部ノ人ニ對シテノミ保險契約ヲ締結スルニ止マリ毫モ第三者ヲ對  
 手トスルコトナシ斯ノ如キ事業モ亦之ヲ保險營業ト稱ス可キモノナルヤ否ヤト  
 釋スルニ法律上既ニ會社ヲ以テ法人ト認ムル以上ハ其會社ノ取締スル保險ハ即  
 チ保險營業ナリト云ハサルヲ得ス唯取引ノ對手人カ株主若クハ社員ニ限ルノ制  
 限アルニ過キサ、ルナリ是故ニ別ニ他ノ理由ナクハ本法第六節ノ規定ハ當然相

互ノ保險契約ニ適用セラル可キモノト斷定セサル可カラズ次ニ前述ノ如ク第六百五十九條ニ依レハ社員若クハ株主ノ權利義務ハ會社ノ契約又ハ定款ニ從ヒテ之ヲ定ム可キモノト爲スカ故ニ若シ契約又ハ定款ニ於テ別段ノ準備金ヲ積立ツルコトヲ要セスト約定シタル場合ニ在リテハ社員ハ其契約定款ニ依リ積立ヲ爲スノ義務ナシト云ハサルヲ得ズ然ルニ本法第六節ノ規定ニ從ヘハ保險營業者ハ特別ノ準備金ヲ積立ツ可キモノト爲スヲ以テ此規則ハ結局會社ノ契約若クハ定款ト牴觸ス可ク而モ亦本法ノ規定ハ契約若クハ定款ノ不充分ナル場合ニ於テノミ之ヲ相互保險契約ニ適用シ得ルニ過キサレハ或ハ右ノ準備金積立ニ關スル條規ハ此場合ニ適用スルコトヲ得サルヤノ疑ナキヲ得ズ然レトモ第六節ノ規定ハ全ク公益ヲ主眼トシテ設置セラレタルモノナルカ故ニ一私人ノ契約ニ因テ妄リニ之ヲ左右スルコトヲ許サズ若シ會社ノ契約又ハ定款カ此規定ニ牴觸スルトキハ勿論其效力ヲ有セサルナリ殊ニ保險契約ノ公益ニ及ホス關係ヨリ看ルモ亦特ニ相互保險會社ト其他ノ保險會社トヲ區別ス可キ理由ナシ從テ本法第六節ノ規定ハ悉ク相互保險會社ニ適用セラル可キモノト論結スルヲ以テ至當トス

第十三章 保險營業

保險營業ハ他ノ諸般ノ營業ト異ナリテ利害ノ關スル所頗ル廣大ナリ又此營業ハ實ニ永遠ヲ期スルモノニシテ夫ノ生命保險ノ如キハ人ノ生涯ヲ以テ契約ノ期限トス加フルニ該營業ハ其性質上極クテ詐欺ノ行ハレ易キモノナリ是ヲ以テ保險營業ヲ監督スルノ方法ハ他ノ營業ト比較シテ大ニ嚴密ナラサル可カラズ然ラザレハ非常ノ弊害ヲ醸成ス可キナリ故ニ何レノ國ノ法律ト雖モ保險營業殊ニ生命保險ノ營業ヲ以テ特殊ナルモノトシ甚々嚴密ナル監督ノ下ニ置カサルハナシ英吉利及佛蘭西ノ如キハ特ニ生命保險會社ノ監督方法ヲ規定セリ我商法モ亦茲ニ見ル所アリテ其第六百八十九條乃至第六百九十八條ヲ以テ前述ノ害ヲ豫防センコトヲ計レリ此規定ハ重モ千八百七十年英國ヴァイクトリア三十三四年ノ法律第六十一章生命保險會社ノ監督方法ニ摸倣シ之ヲ一般ノ保險營業ニ及ホシタルモノトス而シテ此規定ハ會社ナルト組合ナルト將タ一個人ナルトヲ論セス苟クモ保險營業ヲ行フ者ハ總テ之ヲ遵守セサル可カラズ今ヤ其規定ヲ詳述スレハ即チ左ノ如シ

(第一) 保險營業ヲ爲サント欲スル者ハ先ツ官許ヲ受ケサル可カラズ是レ監督上ノ便宜ヲ計ルノ趣旨ニ出ツルモノナリ

(第二) 保險營業ヲ爲ス者ハ年々支拂フ可キ被保險額ノ少クモ平均二倍ニ當ル金額ヲ準備ス可ク又其準備金ハ充分安全ナル方法ニ依リテ之ヲ利用シ得ルモ該證券ハ必ス之ヲ裁判所ニ寄託セサル可カラズ但シ其金額ヨリ生スル收益ハ保險營業者ニ屬スルモノトス(第六百九十九條)是レ別ニ説明ヲ要セサル所ナレトモ聊カ疑問ト爲ル可キハ保險營業者ハ其營業ヲ開始セル年月ヨリ此規定ニ從フ可キモノナルヲ將テ第二年度ヨリ之ニ依ル可キモノナルヤノ一點ナリ第六百九十條ヲ見ルニ保險會社ハ保險料其他ノ收入金ノ中ヲ以テ年々積立ヲ爲シ云々トアルモ今日保險營業ヲ開始シタルノミニテハ素ヨリ保險料其他ノ收入アル可キ理由ナキヲ以テ此場合ニテハ事實上積立ヲ爲シ得サル可ク從テ右ノ規定ハ畢竟保險料其他ノ收入アル場合ニハ其中ヨリ積立ヲ爲サハル可カラズトノコトヲ定メタルモノナラント思惟スル者アル可ク然リト雖モ同條ノ精神ハ何時保險シタル危難ノ發生スルコトアルモ其被保險額ノ支拂ニ差支ナカラシメントスルニ在リ即チ此規定ハ公益ヲ慮リタルモノナルヲ以テ保險料其他ノ收入ナシトテ之ヲ遵守スルコトヲ要セサルノ理由アラズ換言セハ此條規ハ保險營業ノ初年ヨリ積立ヲ爲サシム可キ趣意ニシテ若シ其當時別ニ收入ナクシハ社員若シハ株主タル者ヨリ特ニ出金ヲ爲シ以テ準備金ヲ積立テサル可カラズ即チ保險營業者ニ於テ未ダ收入ヲ得サルトキハ更ニ收入ノ方法ヲ設ケテ株主又ハ社員ヨリ金圓ヲ徵收シ積立ノ資ニ供ス可キモノナリ

(第三) 保險營業者ハ少クトモ毎年一回其年ノ收支一覽表及貸借對照表ヲ作りテ之ヲ公告シ且各社員及各被保險者ニ送達ヲ爲スノ義務アリ(第六百九十一條)此規定ハ究竟營業ノ現狀ヲ明カコシテ取引人ノ注意ヲ惹起シ兼テ又監督ノ便ニ供セントスルノ趣旨ニ出テ實ニ必要ナル條規ナリ然レトモ其各被保險者ニ對シテ收支一覽表及貸借對照表ヲ送達ス可シト規定シタルハ保險會社ヲシテ聊カ過當ナル義務ヲ負擔セシムルニ非サルヤノ疑ナキヲ得ス何トナレハ被保險者ハ其數許多ニシテ而モ各地ニ散在シ或ハ旅行ヲ爲シ又ハ轉居シ容易ニ其所在ヲ確メ得サル事情アリ然ルニ此等ノ人々ニ對シ一々右ノ書類ヲ送達スルコトハ

セハ取扱上非常ノ煩雜ヲ見ル可ク且若シ此義務ヲ怠ルトキハ法律上輕易ナラサル制裁ヲ受ク可キヲ以テ保險營業者ハ執達吏ヲ經ルカ又ハ書留郵便等ヲ以テシ後日送達ヲ明カニスル證據ヲ保存セサルヲ得ス多數ノ被保險者ニ對シ一々斯ノ如キ方法ヲ取ルハ當タニ費用ノ莫大ナルノミナラス殆ント其煩ニ堪ヘサルモノアル可ケレハナリ故ニ此條規ハ寧ロ被保險者ヨリ請求アレハ前述ノ書類ヲ送達ス可キコトニ改正スルヲ以テ穩當トス而シテ此修正ハ毫モ監督上ニ支障ヲ及ホスモノニ非サルナリ

(第四) 裁判所ハ何時ニテモ被保險者ノ申立ニ因リ保險會社ノ營業ノ現況取引ノ實況及貸借ノ關係等ヲ検査スルコトヲ得ヘシ此場合ニ於テハ裁判所ハ一人若クハ二人以上ノ鑑定人ヲシテ右ノ検査ヲ行ハシメ其結果ヲ被保險者ニ通知シ且之ヲ公告スルノ權アリ而シテ其検査及公告ノ費用ハ保險營業者之ヲ負擔セサル可カラス然レトモ被保險者ニ於テ何等ノ必要ナキニ拘ハラズ検査ノ申立ヲ爲スカ又ハ保險會社ヲ苦シマシムルノ惡意ヲ以テ其申立ヲ爲ストキハ勿論裁判所ニ於テ其申立ヲ却下スルコトヲ得ヘシ若シ誤テ検査ヲ行ヒタルトキハ

申立人ヲシテ其費用ヲ負擔セシムルコトヲ得ヘシ而シテ此權利ハ特リ裁判所ノミナラス行政官廳モ亦之ヲ保有スルモノニシテ唯タ二者ノ間ニ存スル差別ハ裁判所ハ被保險者ノ申立ニ因ルノ外検査ヲ行フコトヲ得スト雖モ之ニ反シテ行政官廳ハ申立ノ有無ニ關セズ職權ヲ以テ此検査ヲ爲シ得ルノ點ニ在リ(第六百九十條)

(第五) 保險營業者ハ單ニ一種類ノ營業ヲ爲スニ止マラスシテ尙ホ他ノ種類ノ保險營業ヲ行フコトアリ又保險營業ト共ニ全然別種ノ營業ヲ爲スコトモ之アリ例ヘハ火災保險ノ營業ヲ行フ者カ傍ラ海上保險ヲ爲スカ如キ又海上保險ノ營業ヲ行フ者カ別ニ運送業ヲ營ムカ如キ即チ是ナリ斯ル場合ニ於テハ其各營業ヨリ生スル收入ハ之ヲ各營業ニ區別シテ積立テ且別々ニ使用セサル可カラス蓋シ保險營業者カ種々ノ營業ニ從事スル場合ニ於テ其各營業ノ收入ヲ區分セサルトキハ一種ノ營業ヨリ生スル損失ハ自ラ他種ノ營業ニ影響シ延テ被保險者ニ損害ヲ及ホスノ結果ヲ惹起ス可ケレハナリ而シテ此規定ハ保險營業者カ破産シタル場合ニモ亦之ヲ適用ス可キモノナルカ故ニ縱令一ノ營業ニ付キ破

產スルモ他ノ營業ニハ毫モ影響ヲ及ホスコトナシ(第六百九十三條)

**(第六)** 以上講述シタル第二乃至第五ノ規定ニ背反シ又ハ被保險者總員ノ承諾ヲ經スシテ他ノ營業者ト合併シ又ハ被保險者ニ告知シタル保險營業ノ規則ヲ變更シ若シハ其規則ニ背反シタルトキハ各被保險者ハ豫告セズシテ何時ニテモ保險契約ヲ解除シ且其拂込ミタル現支拂期間ノ保險料總額ノ償還及拂込日ヨリノ法律上ノ利息ヲ求ムル權利アリ(第六百九十四條)保險契約カ他ノ契約ト最モ異ナル所ハ此解除訴權ノ附隨セル一點ニ在リトス即チ此場合及虛陳隱蔽其他特ニ法律ノ規定セル場合ニ於テハ保險契約ヲ解除スルヲ得ヘシ而シテ茲ニ一言注意ス可キハ右ノ現支拂期間ナル語辭ハ余輩ノ屢説明シタルカ如ク現保險期間ト同一ノ意義ニ解釋セサル可カラズ然ラサレハ甚タ不當ナル結果ヲ生スルト是ナリ

**(第七)** 破産法ノ通則ニ依レハ債務者カ支拂ヲ停止シタル場合ニ非サルヨリハ債權者ニ於テ被告宣告ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス然レトモ保險營業ノ場合ニ於テハ縱令保險者カ未タ支拂ヲ停止セサルモ將來義務ヲ履行スル能ハスト豫知ス

可キ取引ノ實況ニ至リタルトキハ被保險者ヨリ破産宣告ノ申立ヲ爲スコトヲ得ヘシ是レ通常破産ノ場合ト大ニ其趣ヲ異ニスル所ナリ(第六百九十四條)

**(第八)** 保險營業者ハ其營業地ヲ支配スル裁判所ノ裁判權ニ服從セサル可カラズ故ニ本店ノ外支店等ヲ有スルトキハ其支店所在地即チ營業地ヲ支配スル裁判所ノ裁判權ニモ服從ス可ク又本店所在地以外ニ於テ代辦人ヲ以テ營業スルトキハ其代辦人ニ與ヘタル權限ノ如何ニ拘ハラス其保險契約ニ關シテハ代辦人ノ營業地ヲ支配スル裁判所ノ裁判權ニ服從シ且其裁判所ニ差出ス可キ裁判上ノ代人ヲ定ム可キ義務アリ若シ之ヲ定メ置カサルトキハ其代辦人ヲ以テ裁判上ノ代人ト看做ス可シ是レ亦被保險者ヲ保護シ且監督ノ便ヲ計ルノ趣旨ニ出ツルモノナリ(第六百九十九條)

**(第九)** 内國ニ在ル外國保險營業者ノ代辦店ハ之ヲ支店ト看做シ支店ニ關スル一般ノ規定及本章ノ規定ヲ適用ス(第六百九十七條)

各種ノ保險  
海上保險

第二編 各種ノ保險  
第一章 海上保險

保險法 各種ノ保險 海上保險

海上保險ハ保險法上最モ早ク發達シ外國貿易ノ行ハルハ所ニハ最モ盛ニ締結セラレ其規定甚々細密ナリトス是レ余輩カ第一ニ此種ノ保險ヲ講述スル所以ナリ以下順次節ヲ分テ詳論スル所アル可シ

海上保險ノ目的物

第一節 海上保險ノ目的物

海上保險ハ海上一切ノ危險ヲ擔保スルモノナリ故ニ苟クモ航海中危險ニ罹ルノ恐アル事物ハ總テ海上保險ノ目的ト爲スヲ得ヘシ唯此危險ハ通常免ル可カラサルモノニ非スシテ不慮ノモノタルヲ要スルノミ我商法第九百五十三條ハ被保險物ノ重モナルモノヲ列舉セリ今其順序ニ隨ヒ少ク説明スル所アテントス  
(第一) 船舶 海上保險ノ目的物中最モ重要ニシテ且普通ナルモノヲ船舶トス而シテ海上保險法ノ所謂船舶ハ雷々ニ船體ヲ指スルミナラス其附屬品即チ帆樑帆端艇武器海員ニ供給スル食料其他一切ノ附屬品ヲ包含スルモノナリ海商法ニ依レハ運賃モ亦船舶ニ含蓄セラル、ヲ以テ船舶ニ負擔ス可キ責任ハ運賃ニ及フト雖モ之ヲ反シテ保險法ニ於テハ船舶ハ運賃ヲ包含スルコトナシ然ルニロニスレル氏ノ草案説明ニ依レハ運賃モ亦船舶之中ニ含蓄スルモノト爲セリ

是レ恐ラクハ謬妄ノ見解ナラン歐米諸國ノ保險法ハ皆ナ劃然船舶ト運賃トナ區別シ又我商法第九百五十三條第二項ニ於テモ船舶貨物運賃旅客運送賃等ナ別異ニ掲載シタルヨリ觀レハ運賃ノ船舶ニ包羅セラレサルコトハ明白疑フ可カラサル所ナリ

(第二) 運送貨物 保險法ノ歴史ニ徵スレハ海上保險ノ目的物中最モ古キモノハ即チ運送貨物ナリトス實ニ保險法ノ商業社會ニ發達シタル原因ハ船舶ヲ保險スル爲メニ非スシテ運送貨物ヲ保險スルニ在リシナリ而シテ保險法ニ所謂運送貨物トハ船舶ヲ以テ特ニ運送スル貨物ヲ指示セルモノトス從ヒテ船客ノ攜帶品海員ノ所持品其他衣服指環及腕環等ハ運送貨物ニ非ス若シ此等ノ攜帶品ニ付キ損失ノ補償ヲ得ント欲セハ特別ニ保險契約ヲ締結セサル可カラス單ニ普通運送貨物ニ對シ保險契約ヲ締結シタルノミニシテハ未タ以テ攜帶品ノ損失ヲ補償セシムルヲ得サルナリ而シテ普通運送貨物ノ保險ハ損失ノ起リシ當時船舶内ニ存在スル總テノ運送貨物ニ付キ取結セラレタルモノト認ムルヲ以テ常則トス佛國學者ノ所說ニ依レハ通常航海中或湊港ニ寄泊シテ其貨物ノ一

部分ヲ陸揚シ新クニ他ノ貨物ヲ積載シタルトキハ保險ハ其新貨物ヲ併セテ擔保スルモノトシ英國ノ判決例ニ於テモ亦保險者ハ危險ノ起リタル當時船舶内ニ存スル總貨物ニ付キ補償ノ責任ヲ負擔スルモノト爲セリ

(第三) 貨物運送賃及旅客運送賃 商法第九百二條ニ依レハ貨物運送賃ハ貨物ヲ到達港ニ送致シタル後ニ非サレハ之ヲ請求スルコトヲ得ス歐米諸國ノ海上法ニ於テモ亦同一ノ原則ヲ認識セサルモノナシ故ニ若シ中途不幸ニシテ其貨物ヲ喪失スルコトアラソカ船長ハ運送賃ヲ請求シ得サルヤ論ヲ俟タス語ヲ換ヘテ之ヲ言ヘハ運送賃ノ債權ハ貨物ヲ到達港ニ安着セシムルノ條件ニ繫ルモノナリ從テ貨物ノ運送賃ハ保險ニ付シテ之ヲ保護スルノ必要アリトス是レ即チ我法律及歐米諸國ノ法律ニ於テ貨物運送賃ノ保險ヲ認容スル所以ナリ唯タ佛國法律ハ多數ノ法制ト異ナリテ貨物運送賃ノ保險ヲ許サス是レ同國保險法ニ於テハ運送賃ノ如キ將來取得スル利益ハ之ヲ保險ノ目的物ト爲スコトヲ禁止スルニ由ルモノナリ

旅客運送賃ハ貨物運送賃ト異ナリ後拂ヲ以テ通別トス而シテ此運送賃ヲ保險ノ目的物ト爲シ得ル所以ハ他ナラス若シ船舶カ航海中危險ニ遭遇シテ損害ヲ被フリ旅客ヲシテ到達地ニ安着セシムルコトヲ得サレハ船長ハ其旅客ニ食料ヲ給與シ又他ノ船舶ヲ雇ヒ來リテ乗換ヲ爲サシメサル可カラサル等ノ損失ヲ受ク可ケレハナリ英米保險法ニ依レハ運送賃ノ語辭ヲ廣義ニ使用シ管タニ貨物ノ運送賃ヲ指示スルニ止マラスシテ船舶ノ賃賃料其他船主カ自己ノ貨物ヲ運送シ之ニ因リテ取得スル利益ヲモ包含スルモノトセリ然レトモ我法律ニ於テハ斯ル規定ナキ故ニ船舶ノ賃賃料ヲ以テ直チニ運送賃ト認ムルヲ得ス又船主カ自己ノ貨物ヲ其船舶ニ積載シ之ヲ運送シテ取得セル利益ノ如キハ本法上之ヲ運送賃ト稱シ得サルコト固ヨリ喋々ヲ俟タサルナリ

(第四) 貨物賣却ノ利益並ニ仲買人仲立人ノ手数料 貨物ヲ賣却シテ取得ス可キ利益及手数料ハ共ニ海上保險ノ目的物ト爲スヲ得ヘシ是レ本邦獨逸英米兩國和蘭及瑞典等ノ商法ニ於テ認識スル所ナリ獨リ佛國商法ハ前ニ講述シタルト同一ノ理由ニ因テ此利益及手数料ノ保險ヲ許容セスト雖モ其不當ナルコトハ明瞭ニシテ疑團ヲ容レサル所ナリ英國ノ判事ロウレンス氏ハバアッレ對シ



インソンスノ訴件ニ於テ此事ヲ論述シテ餘蘊ナシ其言ニ曰ク抑モ保險ハ補償ノ契約タルコト勿論ニシテ此精神ハ須臾モ忘失ス可カラズ佛國法律ニ於テ將來ノ利益ヲ保險ニ付スルコトヲ禁シタルモ亦此故ナリ然レトモ海上ノ事業ニシテ直接ニ危險ヲ受クルモノハ雷ヲ運送貨物ノミナラス其貨物ヲ到達港ニ送致シタル後之ヲ處分シテ取得シ得ヘキ利益ヲモ包含スルカ故ニ商人カ海上ニ於テ危險ニ遭遇スルトキハ則チ現在ノ貨物ヲ失フト同時ニ其貨物ヨリ當然發生スル利益ヲモ併セテ之ヲ失フニ至ル可シ保險法ニシテ既ニ商業資本ヲ保護スル以上ハ敢テ之ヨリ生スル利益ヲ保護セサルノ理ナク又之ヲ保護スルヲ以テ當然ナリトス故ニ將來取得シ得ヘキ利益ト雖モ猶ホ保險ノ目的物タルコトヲ得ヘシト

(第五) 冒險貸借債權 冒險貸借トハ商法第九百四十六條第一項前段ニ規定スル

カ如ク船長カ船籍港外ニ在テ船舶又ハ積荷ノ已ムヲ得サル需用ノ爲メ債權者ニ冒險料ヲ支拂フ約束ニテ航海中冒險抵當物ニ付テノ海上危險ヲ引受ケシムル條件ヲ以テ取結フ貸借契約ナリ此冒險貸借債權カ普通ノ債權ト相異ナル要點ハ冒險貸借ニ於テハ其抵當ノ目的物タル冒險物カ危險ノ爲メニ消滅スルトキハ債權者ハ債權ヲ失フモ普通ノ債權ニ於テハ抵當物ノ消滅スルニ拘ハラズ債權者ハ尙ホ債權ヲ主張スルヲ得ルノ點ニ在リ故ニ冒險貸借債權ハ冒險物ト其運命ヲ共ニスルモノト謂ハサル可カラズ從テ之ヲ海上保險ノ目的ト爲スコトヲ得ルナリ

佛國商法及同國學者ノ說ニ依レハ冒險貸借ノ元金ハ之ヲ保險ノ目的ト爲スコトヲ得ルモ利息即チ冒險料ハ之ヲ保險ノ目的ト爲スコトヲ得スト爲ス然レトモ我國其他ノ諸國ニ於テハ冒險料モ亦保險ノ目的ト爲スコトヲ得ルモノトセリ

(第六) 海損債權其他ノ船舶債權 海損債權ニハ共同海損債權ト單獨海損債權ト

ノ二種アリ共同海損トハ商法第九百三十條第一項前段ニ規定ニ規定スルカ如ク船舶及積荷ヲ共同ノ危險ヨリ救助セシカ爲メ故ラニ直接又ハ間接ニ船舶又ハ積荷ニ加ヘタル非常ノ喪失損害及同一ノ旨趣ニテ支出シタル非常ノ費用ナリ例ヘハ航海中危急存亡ノ場合ニ際シ船長カ冒險物全體ノ安全ヲ計ラシカ爲

船舶ノ一部又ハ積荷ノ全部若シハ一部ヲ海中ニ投棄シ因テ生シタル損害ノ如キハ之ヲ共同海損ト云フ之ヲ共同海損ト稱スルハ冒險物ノ各所有者カ其所  
 有物ノ價額ノ割合ニ應シテ各自損失ヲ負擔セサル可カラサルニ由ル我商法ノ  
 規定ニ依レハ共同海損ノ場合ニハ積荷全體ト船舶及運送賃ノ半額トカ其損失  
 ナ負擔ス可キモノトセリ英米法ハ我法律ト異ナリ船舶積荷及運送賃ノ全體カ  
 其損失ヲ負擔ス可キモノト爲ス斯ノ如ク冒險物ノ各所有者ハ共ニ損失ヲ負擔  
 セサル可カラスト雖モ犧牲ニ供セラレタル物ノ所有者ハ損失ヲ負擔スルコト  
 ナシ且ツ數回ノ危険ニ遭遇シタル場合ニ最初ノ危険ニハ安全ナリシモ其後ノ  
 危険ニ於テ犧牲ニ供セラレタル物ノ所有者モ亦損失ヲ負擔セサルナリ故ニ結  
 局安全ニ航海ヲ終了シタル物ノ所有者カ損失ヲ負擔ス可キモノトス次ニ單獨  
 海損トハ商法第九百四十條前段ニ規定スルカ如ク任意ニ非スシテ生シ又ハ船  
 舶ニ若クハ積荷ノミニ生シタル喪失損害及費用ナリ此海損ハ冒險物全體ヲ保  
 護スル爲メニ生シタルモノニ非サルヲ以テ各所有者格別ニ之ヲ負擔ス可キモ  
 ノトス以上二種ノ海損ニ基ク債權ハ亦海上ノ危険ヲ冒スモノナルカ故ニ其海

上保險ノ目的ト爲ルヤ論ヲ俟タス

此他ノ船舶債權モ亦船舶ト運命ヲ共ニスルモノナルカ故ニ從テ海上保險ノ目  
 的ト爲ルコトヲ得ルヤ明ケシ

(第七) 保險者自身ノ危険 保險者カ一トヒ被保險者トノ間ニ保險契約ヲ締結セ  
 ノカ一朝損失ノ生シタルトキハ被保險者ニ對シテ賠償ヲ爲サ、ル可カラス此  
 義務ヲ保險者自身ノ危険ト云フ保險者ハ此危険ヲ更ニ保險ニ付スルコトヲ得  
 ルナリ此保險ヲ保險法上再保險ト稱ス再保險ノコトハ總論ニ於テ之ヲ講説シ  
 タルカ故ニ再ヒ茲ニ贅辯ヲ費サ、ル可シ

以上列舉シタルハ海上保險ノ最モ普通ニシテ且重要ナルモノナリ此他海上危険  
 ナ冒スモノハ總テ海上保險ノ目的物ト爲スコトヲ得然レトモ茲ニ一ノ例外アリ  
 即チ商法第九百五十三條第三項ニ規定スル船舶乘組員ノ給料及報酬是ナリ元來  
 船舶乘組員ノ給料ハ船舶カ安全ニ航海ヲ終了シタルニ非サレハ受取ルコトヲ得  
 ス故ニ海上ノ危険ハ大ニ其利害ニ關係スルモノナリ從テ普通ノ原則ヨリ推論ス  
 レハ亦保險ノ目的ト爲スコトヲ得サル可カラス然ルニ法律上船舶乘組員ノ給料

及報酬ヲ保險ニ付スルヲ禁スルハ要スルニ公益上ノ理由ニ基クモノナリ即チ此等ノ保險ヲ許ストキハ船舶カ海上危険ニ遭遇シタル場合ニ乗組員カ死力ヲ盡シテ航海ノ安全ヲ計ラサルニ至ラソコトヲ恐レタルカ故ナリ何ソヤ船舶カ危険ニ罹リテ安全ニ航海ヲ終了セス從ヒテ給料ヲ取得スルコトヲ得サルモ保險ノ保護ニ依テ給料ニ對スル賠償ヲ得ヘケレハナリ斯ノ如クナラソカ商法第八百八十條ノ規定ハ殆ソト效用ヲ有セサル死文ニ歸センノミ故ニ法律ハ飽クマテ船舶ヲシテ安全ニ航海ヲ終了セシメントスルノ精神ヨリ乗組員ノ給料及報酬ハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得スト爲シタルナリ英米法ニ於テハ運賃ハ給料ノ母ナリトノ原則アリ即チ給料ハ運賃ヲ以テ支拂フモノナリ運賃ヲ得ルニ至ラサレハ給料ヲ支拂フ可キモノニ非スト云フニ在リ而シテ運賃ハ荷物ヲ到達港ニ安全ニ運送シテ始メテ請求ス可キモノナルカ故ニ船舶ノ航海ヲ安全ニ終了セサレハ運賃ヲ得ヘカラス從テ海員等ハ給料ヲ得ヘキニ非サルヤ勿論ナリ此理由ニ基キ英米法ニ於テモ我商法ト同シク乗組員ノ給料ヲ保險ニ付スルコトヲ得サルモノト爲ス然ルニ英米法ニ於テハ船長ノ給料ハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ許容セリ蓋シ船長ハ船

舶乗組員中上層ノ階級ニ在ルモノナルカ故ニ縦令給料ノ保險ヲ許容スルモ船舶カ海上危険ニ遭遇スルニ際シ死力ヲ盡シテ其安全ノ航海ヲ計ラサルカ如キコトナカル可シト爲セルカ故ナラン我國ニ於テハ商法第九百五十三條第三項ニ「船舶乗組員ノ給料及ヒ報酬」云々ト規定シ船長ヲ除外セサルカ故ニ船長ノ給料及報酬モ亦保險ニ付スルコトヲ得サルモノト爲サハル可カラズ是レ彼我法規ノ相異ナル一點ナリ英國ハ近世ニ至リ運賃ハ給料ノ母ナリトノ原則ヲ廢止セルヲ以テ實際運賃ヲ取得セルト否トニ拘ハラズ海員ハ給料ヲ請求スルコトヲ得故ニ船長以外ノ海員ノ給料モ亦保險ニ付スルコトヲ得ルヤノ問題ヲ生シ此問題今尙ホ決定セズ然レトモ理論上ヨリ言フトキハ海員ノ給料ヲ保險ニ付スルコトヲ禁止セルハ運賃ハ給料ノ母ナリトノ原則アリシカ爲メナリ既ニ此原則ニシテ廢止セラレタル以上ハ一般海員ノ給料ハ保險ニ付スルコトヲ得ルモノト爲スゴト妥當ナラソ歟終ニ一言ス可キハ商法第九百五十三條第三項ニ「給料及報酬」トアリ其給料トハ船長其他ノ海員各自ノ常職ニ對スル報酬ヲ云ヒ又報酬トハ海員カ當然ノ職務以外ニ格段ノ勞働ヲ爲シタル場合ニ取得スル報償ヲ云フ

第二節 被保險物ノ價格

被保險物ノ價格ハ保險者ノ損害賠償額ヲ定ムル標準ナリ元來保險ハ補償ノ契約ナルカ故ニ被保險物ノ價格ヲ超越シテ賠償ヲ受クルコトヲ許ス可キニ非ス從テ被保險物ノ價格ハ如何ナル標準ニ依リテ之ヲ定ム可キヤハ實ニ必要ナル問題ナリ

被保險物ノ價格ヲ定ムルニ付テハ二个ノ主義アリ第一ハ實際損害ノ生シタル當時ノ價格ニ依テ定ムルモノニシテ第二ハ冒險ヲ始ムル當時ノ價格ニ依テ定ムルモノナリ二者孰レカ保險法ノ精神ニ適スルヤト云フニ第一ノ主義ヲ推サ、ル可カラス何トナレハ保險法ノ目的ハ被保險者ヲシテ十分ノ補償ヲ得セシムルニ在リ詳言スレハ被保險者ヲシテ尙ホ危險ノ發生セサリシ場合ト同一ノ地位ニ置カントスルニ在リ從テ賠償額ノ標準タル被保險物ノ價格ハ實際危險ノ發生シタル當時ノ價格ニ依テ定ムルコト最モ適當ナレハナリ我商法ハ保險法總則ニ於テ此第一ノ主義ヲ採ルト雖モ海上保險及運送保險ニ付テハ第二ノ主義ヲ採ル是レ獨リ我國ノミナラス歐米諸國ニ於テモ概ス海上保險ニ付キ右第二ノ主義ヲ採用ス

ルナリ其理由ハ損失發生當時ノ價格ヲ定ムルハ頗ル困難ニシテ又到達港ニ於ケル價格ヲ定ムルハ實際買賣ヲ爲スニ非サレハ能ハサルヲ以テナリ故ニ各國ノ法律ハ船舶ニ積込ヲ爲ス當時其場所ニ於ケル價格ヲ標準トシテ被保險物ノ價格ヲ定ムルモノト爲ス以下第一運送貨物ノ價格第二船舶ノ價格第三運賃ノ價格第四、冒險貸借及海損債權ノ價格ノ四个ニ區別シテ聊カ説明スル所アラント欲ス

(第一) 運送貨物ノ價格

運送貨物ニ付テハ運送保險ニ關スル商法第六百七十五條ノ規定ヲ準用シテ其價格ヲ定ム可キモノトス同條ニ曰ク「價額ヲ保險證券ニ記載セサル場合ニ於テ損害ノ價額ヲ詳定スルニハ最初ノ代價及ヒ其附帶ノ費用ヲ標準トス若シ之ヲ知ル能ハサルトキハ積込ノ地及ヒ時ニ於ケル普通價額若シハ市場價額ニ諸稅保險費用積込費用及ヒ被保險者ノ負擔ニ歸スル運送費用ヲ合算シタルモノヲ標準トス」此規定ニ所謂最初ノ代價トハ元價ヲ指ス又附帶ノ費用トハ運送費用、手数料、保險料及諸稅ヲ云フ又普通價額ト市場價額ト相異ナル所ハ市場價額ハ商品ニ關スルモノニシテ普通價額ハ市場價額ナキ非商品ニ關スルモノナリ

又保險費用トハ當ニ保險契約締結ニ關スル費用ノミナラス證券印紙料、保險仲買人ノ手数料及保險料ヲモ包含スルモノトス。又積込費用トハ荷物積込ノ費用ハ勿論積込ノ準備ニ關スル費用例ヘハ荷造費用、解船ノ運送賃等ヲモ包含ス。獨逸商法並ニ佛國商法ニ於テハ運送貨物ノ價格ハ其船舶ニ積入ノ時日及場所ニ於ケル價額ニ積込及保險ノ費用ヲ合算シテ定ムルモノトス。要スルニ我商法ノ規定ト其揆チ一ニスルモノトス。

(第二) 船舶ノ價格

船舶ノ價格ヲ評定スルノ方法ハ商法第九百五十四條ニ規定セリ。同條ニ曰ク、船舶ノ被保險價額ハ危險ノ始マル時及ヒ地ニ於テ船舶ノ有スル價額トス。ト此規定ニ依レハ前項ニ述ヘタル運送貨物ノ價格ト同シク出帆港ニ於ケル出帆當時ノ價額ヲ標準トシテ船舶ノ價額ヲ評定スルモノトス。而シテ此價額ノ中ニハ艙裝費、食料及貯蓄品其他航海ノ準備費並ニ前拂セル水夫ノ給料等ヲモ包含スルナリ。英、獨及佛ノ法律モ亦我商法ノ規定ト其揆チ一ニス。元來此規定ハ保險法ノ精神ニ適合セスト雖モ古來ノ慣例トシテ諸國ノ採用スル所タリ。

(第三) 運賃ノ價格

運賃ノ價格ヲ評定スルノ方法如何此點ニ關シテハ我商法上何等ノ規定ヲ設ケス然レトモ此價格モ亦船舶及荷物ト同シク出帆港ニ於ケル出帆當時ノ價額ニ依テ之ヲ評定ス可キモノト謂ハサル可ラス。即チ總運賃額ヲ以テ運賃ノ價格ト爲ス可キモノトス。獨逸商法第八百四條ニ依レハ當事者ニ於テ純運賃額ヲ以テ運賃ノ價格ト爲スコトヲ約定セサルトキハ總運賃額ヲ以テ運賃ノ價格ト看做スモノトセリ。而シテ英國法ノ主義モ亦同シ。我商法豈ニ之ト相異ナレル主義ヲ採ランヤ。然レトモ此主義ハ保險法ノ精神ニ背馳スルモノト謂ハサル可ラス。何トナレハ船主カ運送ニ依テ利スル所ハ純運賃ニ限ル。從テ運賃ヲ受取ラサルカ爲メニ失フ所ハ純運賃ノ金額ニ外ナラス。故ニ若シ總運賃額ヲ以テ運賃ノ價格ヲ算定スルモノトセハ船主ハ損失以上ノ賠償ヲ得ルニ至レハナリ。要スルニ此主義ハ古來ノ慣習ニ依テ諸國ノ採用スル所タルナリ。

(第四) 冒險貸借及海損債權ノ價格

商法第九百五十六條ニ依レハ冒險貸借及海損債權ハ冒險抵當物又ハ共擔義務

ヲ負フ物ノ價額ヲ限トシテ保險ニ付スルコトヲ得從テ其價額ヲ標準トシテ此等債權ノ價格ヲ算定ス可キナリ而シテ若シ此等債權ノ價額カ冒險抵當物又ハ共擔義務ヲ負フ物ノ價額ニ滿ラサルトキハ債權額ニ依ル可キモノトス即チ物件ノ價額ト債權ノ價額トヲ比較シテ其少額ノモノニ依ル蓋シ冒險抵當物又ハ共擔義務ヲ負フ物カ如何ニ高價額ヲ有スルモ冒險貸借債權者又ハ海損債權者ノ危險ニ因テ損失スル所ハ單ニ其債權額ニ限り又冒險抵當物又ハ共擔義務ヲ負フ物カ小價額ナランカ冒險貸借債權又ハ海損債權價額ハ如何ニ大ナルモ債權者ノ危險ニ因テ損失スル所ハ單ニ物件ノ價額ニ限レハナリ

海上ノ危險

第三節 海上ノ危險

海上ノ危險トハ海上ニ於テ起ル可キ諸種ノ危險ヲ總稱ス尤モ總論ニ於テ述ヘタル要件ヲ具備ス可キヤ論ヲ俟ダス而シテ保險法上海上ノ危險ヲ分テ二種トス一、通常ノ危險ニ、非常ノ危險即チ是ナリ通常ノ危險トハ通常必ス起生ス可キ危險ヲ云フニ非スシテ普通保險契約ヲ締結スルトキハ其契約上當然擔保スル所ノ危險ヲ云フ夫ノ通常免カル可カラサル危險ノ如キハ保險法上ニ所謂危險ニ非サルナ

リ非常ノ危險トハ普通ノ保險契約ニ於テ擔保セサルモノニシテ特約ヲ以テ擔保スルヲ必要トスル危險ヲ云フ從テ此場合ニハ保險料ハ割合ニ多額ナルヲ通常トス然ラハ普通ノ危險トハ如何ナル種類ノモノナリヤト云フニ商法第九百五十九條第一項ニ例示スルカ如ク暴風雨、破船、坐礁、膠沙、流水、衝突、投荷、火災、破裂、盜難、劫掠等ナリ尤モ此等ハ單ニ例示ニ過キサルヲ以テ此他海上ニ於テ起生スル普通ノ危險ニ付テハ特約ヲ爲サ、ルモ常ニ保險者ノ負擔ニ歸ス可キモノトス次ニ非常ノ危險トハ如何ナル種類ノモノナリヤト云フニ第九百五十九條第二項ニ規定スルカ如ク戰爭其他總テ國ノ處分ニ出ツル危險ナリ而シテ此國ノ處分ニ出ツル危險ノ重要ナルモノハ掠奪、宣戰、報復、封海、鎖港、差押及此類ノ事由ニ因ル危險ナリトス此等ノ危險ハ明約アルニ非サレハ保險者ノ負擔ス可キモノニ非ス海上危險ハ何時ニ始マリテ何時ニ終ルモノナルヤ此問題ハ保險者ノ責任ニ重大ナル關係ヲ有ス蓋シ保險者ハ約束ノ範圍内ニ於ケル危險ノ責任ヲ負擔スルモ其以外ノ危險ニ付テハ何等ノ責任ヲ有セサレハナリ以下第一、船舶ノ危險第二、運送貨物ノ危險ノ二個ニ分テ説明セントス

(第一) 船舶ニ關スル危險ノ期間

船舶ニ關スル危險ノ期間ハ當事者ノ特約アル場合ヲ除キ普通ノ場合ニ於テハ保險者ノ擔保セル航海ヲ爲シソカ爲メニ積荷又ハ底荷ノ積入ヲ始ムル時ニ始マリ到達港ニ於テ荷卸ヲ終リタル時又ハ不當ノ遲延ナク其終リ得タル可キ時ニ終ルモノトス(第九百五十五條)而シテ積荷又ハ底荷ノ積入ヲ始ムル時トハ荷物ヲ船舶ニ積込マンカ爲メニ陸地ヲ離レシメタル時ヲ云フ例ヘハ船舶ニ荷物ヲ積込マンカ爲メニ解船ニ之ヲ移シタル時ノ如シ故ニ實際荷物ヲ船舶ニ積込ミタルヤ否ハ問フ所ニ非サルナリ又荷卸ヲ終リタル時トハ荷物ノ陸上ヲ終リタル時ヲ云フ從テ既ニ荷物ヲ本船ヨリ解船ニ轉載セルモ未ダ實際陸上ヲ終ラサル間ハ未ダ荷卸ヲ終リタリト謂フコトヲ得ス以上述ヘタル期間内ニ於テ發生シタル危險ハ保險者ノ責任ニ歸ス可キモノナリ然レトモ當事者カ特ニ危險ノ始時又ハ終時ヲ約定シタルトキハ其特約ニ依リテ責任ヲ定ム可キヤ素ヨリ論ヲ俟タス此他尙ホ一ノ例外アリ即チ全ク荷卸ヲ終ラサルモ荷受人若クハ被保險者カ荷物ノ引渡ヲ受ケタルトキ又ハ荷受人若クハ被保險者カ自ラ監督シテ

6

荷物ヲ解船ニ轉載シタルトキハ危險ノ期間ハ茲ニ終了シ其後ノ危險ニ付キ保險者ハ責任ヲ有セサルモノトス佛國商法第三百二十八條ニ依レハ保險契約證書ニ於テ危險ノ期間ヲ定メサルトキハ危險ノ期間ハ船舶カ出帆スル時ニ始マリ其到達港ニ到着スル時ニ終ルモノトセリ此規定ハ我商法ノ規定ト多少ノ差異アリテ存ス蓋シ我商法ノ規定ニ依レハ船舶カ出帆セサルモ尙ホ危險期間ノ始マルコトアリ又船舶カ到達港ニ到着スルモ尙ホ未ダ危險期間ノ終ラサルコトアレハナリ英米法モ亦我商法ノ規定ト異ナリ當事者間ノ特約ノ存セサルトキハ危險ノ期間ハ船舶カ安全ニ到達港ニ到着スル時換言スレハ船舶カ到達港ニ於テ安全ニ投錨スル時ニ終ルモノトセリ然レトモ英米ノ實際ニ於テハ當事者カ船舶ニ關スル危險ノ期間ヲ特約スルヲ通例トス日耳曼及和蘭ノ法律ハ我商法ノ規定ト其揆ナ一ニスルナリ

(第二) 運送貨物ニ關スル危險ノ期間

運送貨物ニ關スル危險ノ期間ニ付テハ我商法上ニ何等ノ規定ヲ設ケス恐クハ是レ欲點ナラン陸上運送保險ニ付テハ商法第六百七十二條第二項ニ規定シテ

曰ク運送ノ期間ハ別段ノ契約アルニ非サレハ運送人ニ物ノ交付ヲ始ムル時ヨリ受取人ニ其引渡ヲ終フル時マテトス下此規定ハ直チニ探テ海上運送保險ニ通用スルコトヲ得ス歐洲大陸諸國ノ法律ニ依レハ運送貨物上ノ危險ハ貨物ヲ船舶ニ積載センカ爲メ海岸ヲ離ル、時直チニ發生スルモノトス獨逸商法第八百二十八條ノ規定モ亦此主義ニ基クモノニシテ貨物上ノ危險ハ貨物カ船舶ニ積込マル、ノ目的ヲ以テ海岸ヲ離レタル時ニ發生シ其貨物カ到達港ノ海岸ニ到着シタル時ニ終了スルモノトセリ然レトモ運送貨物上ノ危險ハ貨物ヲ船舶ニ積載スルカ爲メ海岸ヲ離ル、時ニ發生スルモノトスル以上ハ貨物ノ陸上ヲ終リタル時ニ危險ノ期間ヲ終了セシムルモノト爲スコト蓋シ權衡ヲ得タルモノナラン英國法ハ此點ニ關シテ何等ノ規定ヲ設ケス從テ各場合ニ於ケル當事者ノ意思ヲ推測シテ危險ノ期間ヲ規定ス可キモノトス又佛國法ニ於テハ運送貨物上ノ危險ハ猶ホ船舶ノ場合ト同シク船舶出帆ノ時ニ始マリ其到達港ニ到着シタル時ヲ以テ終ルモノト規定セリ我商法ニ於テハ前ニ述ヘタルカ如ク此點ニ關シテ規定ヲ設ケサルカ故ニ勿論當時者ノ意思ヲ推測シテ其期間ヲ定ム

可シト雖モ若シ當事者ノ意思明瞭ナラサルトキハ船舶ニ關スル規定ヲ準用シ危險ノ期間ハ貨物カ船舶ニ積載セラル、目的ヲ以テ海岸ヲ離レタル時ニ始まり其陸上ヲ終リタル時又ハ不當ノ遅延ヲ必レハ當然其終リ得タル時ニ終ルモノト解釋スルヲ至當トス

損失ノ補償

第四節 損失ノ補償

海上危險ノ爲メニ被保險者カ損害ヲ被フリタルトキハ保險者之ヲ賠償ス可キコト論ヲ俟タス而シテ此賠償ノ義務ハ縱令被保險者カ船長其他ノ人ニ對シテ求償權ヲ有スルトキト雖モ消滅スルモノニ非ス例ヘハ荷主カ貨物ヲ保險ニ付シタル場合ニ其貨物カ船長ノ過失ニ因リテ損害ヲ受ケタルトキハ荷主ハ船長ニ對シテ求償權ヲ有スルニ拘ハラヌ尙ホ保險者ニ對シテ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得然レトモ保險ハ素ト補償ノ契約ニ外ナラサルヲ以テ船長及保險者ニ對シテ二重ニ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス即チ船長ヨリ損害ノ賠償ヲ受ケタルトキハ保險者ニ對シテ之ヲ請求スルコトヲ得ス又保險者ヨリ損害ノ賠償ヲ受ケタルトキハ船長ニ對スル求償權ハ保險者ニ移轉ス可キモノトス從テ被保險者タル荷主



ハ自由ニ船長ニ對スル求償權ノ全部若シハ一部ヲ拋棄スルコトヲ得ス若シ之ヲ  
 拋棄シタルトキハ保險者ニ對シテ其責ニ任セサル可カラサルナリ  
 次ニ如何ナル損害ハ保險者ニ於テ之ヲ負擔セサル可カラサルヤト云フニ素ヨリ  
 保險者カ擔保シタル危險ノ爲メニ生シタル損害ヲ負擔ス可キモノナリ然ルニ各  
 事實ニ付キ細密ニ研究スルトキハ往々疑團ヲ生スルヲ免カレス而シテ如何ナル  
 損害ハ保險者ニ於テ之ヲ負擔ス可キヤノ問題ヲ了解セントスルニハ却テ如何ナ  
 ル損害ハ保險者之ヲ負擔セサルヤノ問題ヲ説明スルヲ以テ捷徑ト爲ス故ニ以下  
 保險者カ負擔セサル損害ノ場合ヲ説明セント欲ス(第九百六十六條)  
 (第一) 水先案内料、挽船料、船舶又ハ積荷ニ付キ支拂フ可キ手數料、關稅其他ノ諸稅  
 此等ノ費用ハ航海ノ普通ニ生スル費用ニシテ決シテ不慮ノ損害ニ非ス從テ保  
 險者之ヲ負擔ス可キモノニ非サルナリ  
 (第二) 年數、腐朽又ハ蝕蝕ニ因リテ生シタル損害  
 此等ノ損害ハ物ノ性質上必ス免カル可カラサルモノニシテ亦不慮ノ損害ニ非  
 ス故ニ保險者之ヲ負擔セサルナリ

物性  
 物性  
 物性

動物ヲ保險ニ付シタル場合ニ其動物カ自然ノ原因ニ因リテ斃死シタルトキモ  
 亦保險者其損害ヲ負擔ス可キモノニ非ス縱令其斃死ノ原因ノ一部ハ船中ニ閉  
 藏シタルニ因ルトキト雖モ亦同シ例ヘハ牛馬ヲ運送スルニ當リ其疾病ニ罹リ  
 タルニ之ヲ陸上ニ放置セハ斃死ヲ免カル可キモ船中ニ閉藏シタルカ爲メニ遂  
 ニ斃死シタルカ如キ場合ニ於テモ保險者ハ其損害ヲ負擔スルノ責任ナシ何ト  
 ナレハ海上保險ハ動物其物ノ疾病ヲ擔保スルニ非ス唯々海上ノ不慮ノ危險ヲ  
 擔保スルモノナリ而シテ船中ニ閉藏セルコト斃死ノ一原因ト爲リタリトスル  
 モ牛馬ヲ船舶ニ積載シテ運送スルコトハ之ヲ閉藏スルコト通常免カル可カラサ  
 ルコトナレハ假令之カ爲メニ斃死スルモ是レ普通豫想シ得ヘキ原因ニ因リテ  
 斃死シタルモノニシテ不慮ノ海上危險ノ爲メニ斃死シタルモノニ非サレハナ  
 リ  
 又酒、油、アルコールノ如キ漏出シ易キ物若シハ陶磁器、硝子ノ如キ破碎シ易キ物  
 ノ性質上普通ニ生スル損害ハ保險者之ヲ負擔スルノ責任ナシ於是乎此等ノ物  
 件上ニ生シタル損害ハ果シテ不慮ノ危險ニ基ケルモノナルヤ又ハ性質上自然

ニ生シタルモノナルヤニ付キ往々困難ナル問題ヲ生ス歐洲大陸ノ法律ニ於テハ此難問題ヲ避ケン爲メ斯ル性質ヲ有スル物件ニ付テハ特別ノ規定ヲ設ケテ法律上豫メ保險者カ負擔セサル損害ノ割合ヲ定メ其割合マテノ損害ハ物ノ性質上自然ニ生シタルモノト看做シ保險者ノ責任ヲ免カレシム英米ニ於テハ斯ノ如キ法律ノ規定ナキモ當事者カ相互ノ間ニ特約ヲ結フヲ通例トス我商法ニハ之ニ關シ何等ノ規定ヲ設ケサルカ故ニ實際上或ハ困難ナル問題ヲ生ズルニ至ラン

(第三) 通常ノ使用ニ因リテ生シタル損耗

凡ソ物ハ之ヲ使用スルニ從ヒ多少ノ損耗ヲ來スチ免カレス而シテ斯ノ如キ損耗ハ保險者之ヲ負擔スルノ責任ナシ然レトモ實際上ノ問題ニ至テハ如何ナル損耗ハ通常ノ使用ニ因ルモノニシテ如何ナル損耗ハ不慮ノ危険ニ基クモノナルヤナ判別スルコト甚ダ困難ナリ全ク同一ノ事件ニ付キ英國ノ判事ト米國ノ判事トカ全ク正反對ノ判決ヲ與ヘタルヲ見テモ其困難ナルヲ知ル可シ例ヘハ船舶ニ附屬スル錨綱カ海中ノ岩礁ニ觸レテ切斷セラレタル場合ノ如キハ通常

ノ使用ヨリ生シタル損害ナルカ將ダ不慮ノ危険ヨリ生シタル損害ナルカヲ區別スルコト甚ダ困難ナリ英米ノ判決例ニ依レハ斯ル損害カ通常ノ碇泊場ニ於テ生シタルトキハ之ヲ通常ノ損害ト爲シ若シ通常ノ碇泊場ニ非サル場所ニ於テ生シタルトキハ之ヲ非常ノ損害ト爲ス然レトモ通常ノ碇泊場ニ於テ起ルモ其原因カ非常ノ波濤等ニ在ルトキハ之ヲ非常ノ損害ト看做サ、ル可カラス

(第四) 船長又ハ海員ノ行爲ニ付キ船舶所有者ノ責任

元來被保險者ハ自己ノ故意ノ所爲ハ勿論懈怠又ハ過失ノ所爲ヲ保險ニ付スルコトヲ得ス何トナレハ若シ斯ル保險ヲ許ストキハ之カ爲メニ生スル弊害舉テ數フ可カラサレハナリ而シテ船舶所有者主カ責任ヲ帶フル所ノ船長又ハ海員ノ所爲ハ畢竟船舶所有者主ノ所爲タリ從テ此等ノ者ノ行爲ヨリ生スル損失ハ保險者之ヲ負擔ス可キモノニ非ス英國ノ「ロイド」カンベル氏曰ク被保險者カ自己ノ不正ノ所爲ヨリ生シタル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得サルハ一般保險ノ原則ナリト英國ニ於テ實際ニ起リタル一例ヲ舉ケレハ或船舶ニ乗組メル水夫ノ一部カ傳染病ニ罹リテ死亡シタルニ拘ハラヌ船長ハ詐欺ノ健康證書ヲ作りテ

マルセーユノ港ニ入レリ然ルニ其事實露見シテ遂ニ其船舶ヲ燒棄ス可シトノ命令ヲ受ケタリ裁判所ハ此事實ニ對シ下シタル判決ノ要領ニ曰ク此船長ノ所爲ニ因リテ生シタル損害ハ保險者之ヲ負擔スルノ責任ナシト又獨逸商法第八百二十五條第四項ニハ被保險者ノ過失ヨリ生スル損害及荷物又ハ將來取得ス可キ利益ヲ保險シタル場合ニ於テハ荷物ノ引渡人受取人又ハ荷物管理者ノ資格ニ於テ負擔スル過失ヨリ生シタル損害ハ保險者ノ負擔ス可キモノニ非スト規定シ佛蘭西商法第三百二十五條ニハ被保險物ノ不良ナルニ因リ損害ノ生シタルトキ又ハ船長若クハ荷主ノ過失ニ因リ損害ノ生シタルトキハ保險者ハ之ヲ負擔スルノ責任ナシト規定シタリ之ヲ要スルニ被保險者ノ所爲又ハ被保險者カ責任ヲ有スル第三者ノ所爲ヨリ生シタル損害ハ保險者ノ負擔ス可キ限ニ在ラサルコトハ一般海上保險法カ認ムル所ノ原則ナリトス

(第五) 航海不耐用又ハ機裝若クハ乗組員ノ不十分ヨリ生シタル損害

航海不耐用トハ船體カ航海ニ適セサルヲ云ヒ機裝ノ不十分トハ船舶ノ航海ニ必要ナル一切ノ食料石炭其他藥品等附屬品ノ缺乏スルヲ云ヒ乗組員ノ不十分

トハ船長又ハ海員ノ數不足ナルカ又ハ員數ハ十分ナルモ無能力者アル場合ヲ云フ此等ノ原因ヨリ生シタル損害ニ付テハ保險者之ヲ賠償スルノ責任ナキコトハ一般保險法ノ認ムル所ナリ唯々其之ヲ負擔セサル理由ニ至リテハ歐洲大陸ノ法律ト英米法律トノ間ニ差異アリ歐洲大陸一般ノ法律ニ依レハ船長ハ航海ヲ爲ス前其船舶ノ航海ニ耐ユルヤ否ヲ調査シ若シ航海ニ耐ヘサルコトヲ發見シタルトキハ其航海ヲ停止シテ修繕ヲ加ヘサル可カラズ又機裝ヲ爲スニ方リテハ相當ノ乗組員ヲ備ヘ且ツ食料品ヲ準備セサル可カラサルノ義務アリ從テ船長カ此等ノ義務ヲ盡サ、ル爲メ損害ヲ生スルモ保險者ハ之ヲ負擔スルノ義務ナシトセリ之ニ反シテ英米法ハ船舶ノ不耐用機裝及乗組員ノ不十分ヲ一括シテ之ヲ船舶ノ不適航ト總稱シ而シテ船舶ノ適航ヲ以テ保險契約ノ一條件ト爲セリ蓋シ英國ハ古來海上商業ノ旺盛ナル國ナルヲ以テ貿易並ニ人命ヲ保護スルノ目的ヨリ斯ル規定ヲ設ケタルナリ故ニ若シ船舶不適航ナルトキハ即チ此條件ヲ欠缺シタルモノニシテ保險契約ハ無効ニ歸セサルヲ得ス從テ縱令船長カ十分ノ注意ヲ爲シタルモ尙ホ其不適航ヲ發見スルコト能ハザリシトキ

換言スレハ船長ニ何等ノ過失ナキトキト雖モ保險者ニ責任ナキナリ今以上ノ  
 二法ヲ比較スルトキハ其結果上二個ノ差異アリ第一ニ歐洲大陸ノ法律ニ依レ  
 ハ實際船舶ノ不適航ニ因リテ生シタル損害ニ非サレハ保險者ハ常ニ之ヲ負擔  
 セサル可カラス然ルニ英米法ニ依レハ苟モ船舶ガ不適航ナルトキハ最初ヨリ  
 保險契約ノ効ナキヲ以テ如何ナル損害アルモ保險者之ヲ負擔スルノ責ナシ第  
 二ニ歐洲大陸ノ法律ニ依レハ船長カ其義務ヲ盡サ、ル場合ニ非サレハ保險者  
 ハ常ニ責任ヲ負擔セサル可カラス然ルニ英米法ニ依レハ船長カ其義務ヲ盡シ  
 タルト否トヲ問ハス唯タ船舶ガ不適航ナルヤ否ヲ問フノミ而シテ我商法ハ歐  
 洲大陸法ノ主義ヲ採用シタリト雖モ此二主義ノ當否ハ立法上大ニ研究ス可キ  
 問題ナリト信ス

(第六) 線路又ハ航海ノ變更ニ因リ生シタル損失

全地球三分ノ二ヲ占ムル渺茫無涯ノ大洋中ニ於テモ古來ノ經驗並ニ慣習ニ依  
 リ自ラ安全ニシテ且ツ便宜ナル一定ノ線路アリ此線路ハ正常ノ線路ニシテ航  
 海ニ從事スル者ハ能ク之ヲ了知スト認ム可キモノナリ是故ニ英米法律ニ於テ

ハ此線路ヲ嚴守スルコトヲ以テ保險契約ノ一條件ト看做セリ換言スレハ當事  
 者ハ此一定ノ線路ヲ遵守ス可キ條件ヲ以テ保險契約ヲ締結シタルモノトス從  
 テ被保險者カ猥リニ此線路ヲ變更シタルトキハ保險契約ノ利益ヲ享クルコト  
 ナ得ス又同法ニ依レハ保險ニ付シタル航海ハ相當ノ期間内ニ於テ之ヲ成就セ  
 シメサル可カラサルノ條件ヲ認メタリ蓋シ海上ノ保險ニ在リテハ其航海ノ時  
 期ハ危險ニ重大ノ關係ヲ有スルヲ以テ當事者ノ意思ハ此時期ニ重ヲ置キタル  
 モノト推定ス可ケレハナリ從テ其航海カ若シ不相當ニ延滞スルトキハ被保險  
 者ハ此條件ヲ破リタルモノナルヲ以テ如何ナル損害アルモ保險者ニ對シテ其  
 賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

我商法ニ於テハ線路ヲ嚴守スルコト及相當ノ期間内ニ航海ヲ終了ス可キコト  
 ナリテ海上保險契約ノ條件ト認メス故ニ縱令線路ヲ變更シ又ハ航海ヲ遲滞ス  
 ルモ之ニ因リテ保險契約ヲ無効ニ歸セシムルコトナシ然レトモ線路ノ變更又  
 ハ航海ノ遲滞ノ爲メニ損害ヲ生スルモ保險者ハ之ヲ賠償スルノ義務ナキモノ  
 トス蓋シ線路ノ變更及航海ノ遲滞ハ概シ共ニ危險ヲ増加シ若クハ危險ヲ變更

スルモノナルカ故ニ保險ノ總則タル商法第六百五十四條ニ依ルモ保險者ハ其義務ヲ免カル可ク要スルニ我商法上線路ヲ嚴守スルコト及相當ノ期間内ニ航海ヲ終了ス可キコトヲ以テ海上保險契約ノ條件ト爲スノ規定ナシト雖モ我保險法總則第六百五十四條ニ依ルニ契約ヲ取結ヒタル後ニ情況ノ變更カ發生シタル爲メ其危險カ増加シ又ハ變更セル場合ニ於テハ保險者ハ其契約ニ羈束セラル、コトナシト規定セリ而シテ線路ヲ變更シ航海ヲ遲滯スルトキハ自ラ危險ニ變更ヲ及ホスヲ以テ保險者ハ之カ爲メニ責任ヲ免カル、コトヲ得ヘシ英米法ニ於テモ線路ノ變更航海ノ遲滯アリタル時ヨリ契約ヲ無効ト爲スモノニシテ當初ニ溯リテ無効ト爲スニ非ラサルコト尙我商法ノ如クナレハ結局英米法ト我商法トハ一揆ニ歸着スルモノト謂フヲ得ヘシ

航海ノ變更モ亦線路ノ變更ト同シク保險者ノ義務ヲ釋免スルノ理由ト爲ルモノナリ而シテ航海ヲ變更スルトキハ常ニ危險ニ變更ヲ生スルモノナルカ故ニ保險ノ總則タル商法第六百五十四條ニ依テ保險契約ハ全ク無効ニ歸ス可シ航海ノ變更ト線路ノ變更トハ何ニ依テ之ヲ區別スルヤト云フニ線路ノ變更ハ

單ニ出帆港ヨリ到達港ニ至ル間ノ線路ヲ變更スルニ止マリテ到達港ヲ變更スルモノニ非ス之ニ反シ航海ノ變更ハ到達港ヲ全ク變更スルモノナリ之ヲ要スルニ此二者ノ區別ハ到達港ヲ變更スルヤ否ニ在ルモノトス例ヘハ東京ヨリ長崎マテノ航海ニ於テハ通常東海ヲ經由スルヲ慣習ト爲スニ拘ハラヌ北海ヲ航行シタルカ如キハ是レ線路ノ變更ナリ又長崎ニ航行スル目的ヲ拋棄シテ小樽ニ航行スルカ如キハ是レ航海ノ變更ナリ此二者ノ間ニハ效力上一ノ差異アリテ存ス即チ航海ノ變更アリタルトキハ其航海ヲ變更スルノ決心ヲ爲シタル時ヨリ保險者ハ全ク其義務ヲ免カル從テ縱令船舶ハ一定ノ線路ヲ通行スルモ尙ホ保險者ハ責任ヲ有セス之ニ反シ線路ノ變更ノ場合ニハ其變更ノ決心ヲ爲シタルノミニテハ未タ保險契約ニ何等ノ影響ヲ及ホサズ實際線路ヲ變更シテ始メテ保險契約ニ影響ヲ及ホスモノトス之ヲ要言セハ線路ノ變更ニ於テハ實際ノ變更ヲ必要トシ航海ノ變更ニ於テハ變更ノ決心アリタル時ヨリ直チニ變更ノ效果ヲ生スルナリ

以上述ヘタルカ如ク一旦線路ヲ變更シ又ハ航海ヲ遲滯シタル上ハ其後ノ危險

ニ付テハ保險者ニ賠償ノ責任ナシ然レトモ又線路ノ變更又ハ航海ノ遲滯ニシテ尙ホ正當ノ所爲タルコトアリ換言スレハ線路ノ變更又ハ航海ノ遲滯アルモ保險者ノ責任ヲ釋免セサル場合アリテ存ス今其場合チ一言セシニ凡ソ被保險者カ上(有形又ハ無形上ノ勢力其他正當ナル原因ノ爲メ必要上止ムヲ得スシテ線路ヲ變更シ又ハ航海ヲ遲滯シタル場合ニ於テハ其變更又ハ遲滯ハ保險法上正當ノコトニシテ保險者ノ責任ヲ釋免スルモノニ非ス而シテ其重ナル場合ハ即チ左ノ如シ

(一) 必要ナル修繕ノ爲メ止ムヲ得ス線路以外ノ港ニ立寄ルモ又ハ修繕ニ必要ナル時間其港内ニ滯在スルモ正當ノ變更若シハ正當ノ延滯ナルヲ以テ保險者ハ其責任ヲ免カル、ヲ得ス又船舶ニ積載セル荷物ノ輕キニ失スルカ若シハ重キニ失スルニ因リ積荷ノ權衡ヲ得セシムルカ爲メニ線路以外ノ港ニ立寄リ若シハ滯在スルモ正當ノ變更ナリ從テ亦保險者ノ義務ヲ釋免スルモノニ非ス

(二) 船舶カ最初出帆ノ際ニハ十分ノ海員ヲ乗込マシメタルモ中途疾病其他ノ

原因ニ因リ海員ニ不足チ生シタルトキ之ヲ補充スルノ目的ヲ以テ線路以外ノ港ニ立寄ルモ其變更ハ正當ナルモノナルヲ以テ保險者ハ責任ヲ免ル、コトヲ得ス然レトモ最初ヨリ十分ノ海員ヲ乗込マシメサル場合ハ乗組員ノ不充分ナル理由ニ因リ保險者ヲレテ其責任ヲ免レシムルノ結果チ生ス可シ

(三) 船舶カ暴風雨ノ爲メ線路以外ニ漂流セル場合モ猶ホ正當ノ變更ナリ又暴風雨ヲ避クルカ爲メ線路ヲ變更シ或ハ出帆ヲ遲延スルモ保險者ハ責任ヲ免ル、コトヲ得ス然レトモ些少ノ暴風雨ノ爲メニ出帆ヲ停止スルカ如キハ止ムヲ得サルノ延滯ニアラサルヲ以テ保險者ハ其責任ヲ免ル可シ

(四) 敵國若クハ海賊ノ掠奪ヲ避ケンカ爲メ線路以外ニ出テ又ハ出帆ヲ延期スルモ保險者ハ責任ヲ免ル、ヲ得ス但掠奪ノ危險ハ現在ニシテ且ツ確實ナルコトヲ要ス

(五) 護衛船ヲ搜索センカ爲メ線路以外ニ出ツルモ其變更ハ亦正當ナリトス然レトモ其護衛船ヲ必要トスルニ至リタルハ船長ノ怠慢又ハ出帆ノ遲延ニ原因セサルコトヲ要ス且ツ近港ニ於テ護衛船ヲ得タル可キニ殊更ニ遠港ニ赴

キテ之ヲ求ムルカ如キハ素ヨリ不當ノ所爲ナルヲ以テ保險者ハ其責任ヲ免ル、コトヲ得ヘシ

(六) 我商法ニ於テハ明白ナラサルモ英米法律ニ依レハ難船ニ因リ將ニ失ハントスル人命ヲ救助センカ爲メニ線路以外ニ出ツルモ不正當ノ變更ニ非ストセリ例ハ航海中船舶ノ將ニ沈没セントスルヲ見テ之ヲ救助センカ爲メニ線路ヲ變更スル場合ノ如シ尤モ此點ハ英米法律ニ於テモ久シク一ノ疑問タリシカ現今ニ至リ人類ノ道義ト經濟上ノ原則トニ依リ人命ヲ救助スル爲メ線路以外ニ脱出スルハ正當ノ所爲ナリト確認スルニ至レリ然ラハ被保險人ハ難船ニ因リテ喪失セラレントスル貨物ヲ救助センカ爲メニ線路以外ニ脱出スルコトヲ得ルヤ否ト云フニ米國判決例ニ依レハ斯ル場合ハ正當ノ變更ニ非ス從テ保險者ノ責任ヲ釋免スルモノト爲セリ英國ニ於テハ此點ニ關シ未ク直接ノ判例ヲ見サレトモ其一般法理ノ傾向ハ猶ホ米國ト同一ナルモノノ如シ又我商法ニ於テハ何等ノ明文ナキヲ以テ少クトモ一ノ疑問タ可キヤル明カナリ

(七) 危險カ目前ニ迫リ且ツ抗拒シ得サルトキ之ヲ避ケンカ爲メニ線路以外ニ脱出スルモ亦其變更ハ正當ニシテ保險者ノ責任ヲ釋免ス可キモノニ非ス例ハ被保險船ノ水夫カ航海中海賊ノ襲撃ヲ恐レ其船舶ヲ棄テ、上陸シ又ハ水夫カ航海前途ノ險難ヲ恐レ他ニ回航センコトヲ船長ニ強要シタルトキノ如キハ縱令船長カ其方向ニ回航スルモ正當ノ變更ナリトスルカ如シ以上ハ航路變更ノ正當ナル主要ノ場合ヲ例示シタルニ過キス之ヲ要スルニ有形上若シハ無形上ノ勢力ニ因リ必要上止ムヲ得スシテ線路ヲ變更シタルトキハ保險者ノ責任ニ何等ノ影響ヲモ及ホスコトナシトノ原則ニ歸着スルモノナリ

(第七) 船舶カ國際公法上必要トスル書類若クハ萬國ノ條約ニ依リ規定セラレタル書類ヲ具備セサルヨリシテ生シタル損失  
船舶ニ於テ斯ル書類ヲ具備セサルトキハ開戦ノ際ハ其船舶カ國籍ヲ證明スルコトヲ得サル理由ヲ以テ沒收ノ不幸ニ遭遇スル恐レアリ故ニ大洋ヲ航行スル船舶ハ必ス國籍ヲ證明ス可キ書類ヲ備フルコトヲ要ス若シ之ヲ怠リタルカ爲

ノ沒收等ノ不幸ニ陥リテ損害ヲ生スルコトアルモ保險者ハ賠償ノ責任ナシ

(第八) 戰爭其他國ノ處分ニ係ル危險ニ因リ生シタル損失  
斯ル損失ハ特約アルニアラサレハ保險者之ヲ負擔スルノ責任ナシ國ノ處分ニ  
係ル危險トハ掠奪封港鎖港報復又ハ差押ノ如キヲ云フ報復トハ奪取セラレタ  
ルモノヲ取戻スヲ云ヒ封港トハ相當ノ實力ヲ以テ港口ヲ警護シ船舶ノ出入ヲ  
禁スルヲ云ヒ鎖港トハ同シノ實力ヲ以テ入港ハ之ヲ許スモ出港ヲ禁止スルヲ  
云ヒ差押トハ政府ノ命令ヲ以テ船舶ヲ差押フルヲ云フ此等ノ危險ハ保險法上  
所謂非常ノ海上危險ナルヲ以テ此危險ニ付テハ特別ノ明約アラサレハ保險者  
之ヲ賠償スルノ責務ヲ負擔セス

保險契約ノ解除

### 第五節 保險契約ノ解除

保險契約ハ前ニ述ヘタルカ如ク最上ノ誠意ヲ必要トスル特種ノ契約ナルヲ以テ  
之カ解除ニ付テモ亦普通ノ契約ト其方法ヲ同ウセス抑モ被保險者カ保險契約ヲ  
取結フニ方リテハ其契約ニ重要ノ關係ヲ有スル總テノ事實及ヒ情況ニ付キ詳細  
且ツ眞實ニ之カ陳述ヲ爲スノ義務アリ從テ若シ被保險者カ事實ヲ默秘シ又ハ虛

偽ノ陳述ヲ爲ストキハ其善意タルト惡意タルトヲ論セス保險者ハ其契約ヲ解除  
スルノ權アリトス故ニ縱令被保險者ニ於テ自ラ重要ナル事實ナリト思慮シタル  
情況ヲ詳述シ又ハ保險者ノ質問ニ對シ充分ニ自己ノ知ル所ヲ盡スモ尚ホ其契約  
ニ重要ナル情況ニ付キ虛妄若シハ不充分ノ點アルトキハ之カ解除ヲ免レサルモ  
ノトス茲ニ所謂重要ナル情況トハ其事實カ保險契約ニ至重ノ關係ヲ有シ之カ爲  
メニ被保險物ノ危險又ハ時期等ニ關シテ保險契約ノ締結ニ影響ヲ及ホス可キ事  
情ヲ云フ又契約取結ノ後被保險物ニ付キ情況變更シ爲メニ保險者ノ引受ケタル  
危險カ増加シ若シハ變更スル場合又ハ保險料ノ支拂ニ付キ明示若シハ默示ノ延  
期ナキトキ契約上又ハ慣習上ノ期間ニ受取證書ト引換ニテ其支拂ヲ求ムルモ尙  
ホ之ヲ得サル場合ニ於テハ保險者ハ其契約ヲ解除スルヲ得ヘシ是レ保險法總則  
第六百五十三條及ヒ第六百五十四條ノ規定スル所ニシテ海上保險ニモ亦適用シ  
得ヘキモノナリ而シテ我海上保險法ニ於テハ此他ニ尙ホ特別ノ解約方法ヲ設ケ  
タリ即チ商法第九百五十八條ノ規定是レナリ同條ニ曰ク被保險者ハ危險ノ始マ  
ル前ニ航海ヲ止メタルトキハ被險保額ノ二百分一ノ損害賠償ヲ支拂ヒテ契約ヲ



解除スルコトヲ得ト法律ニ於テ斯ク契約ノ解除ヲ許シタル理由ヲ釋スルニ凡ソ海上ノ貿易ハ其損益ノ變動特ニ甚ダシク昨ハ是ニシテ今ハ非ナルコト屢々見ル所ノ現象ナリ故ニ斯ル場合ニ於テハ被保險者ハ一時其貿易品ノ發送ヲ停止スルノ必要アリ然ルニ若シ保險契約ヲ締結シタルカ爲メ隨意ニ其貿易ヲ廢止スルヲ得ストセン乎其貿易商ハ豫知シ得ヘキ莫大ノ損失ヲ袖手シテ看過セサル可カラサルニ至リ海上ノ危險ヲ保護シテ貿易ノ發達ヲ計ラントスル海上保險ハ却テ之ヲ妨害スルノ結果ヲ來ス可シ是レ被保險者ニ契約解除ノ權ヲ與ヘタル所以ナリ

保險料ノ  
増減

第六節 保險料ノ増減

被保險者カ契約上ノ航海期間ヲ延長シタルトキハ其割合ニ應シテ保險料ヲ増加セサル可カラサルコトハ商法第九百六十二條ノ規定スル所ナリ抑モ海上保險契約ニハ既ニ總則ニ於テ述ヘタルカ如ク航期保險時期保險及ヒ混同保險ノ三種アリ同條ノ規定ハ此三種中果シテ何レニ適合ス可キモノナルヤ先ツ試ニ第一種ノ契約ニ付キ之ヲ考察スルニ此場合ニ於テ航期ヲ延長シ之ヲ保險ニ付スルハ全ク別個ノ契約ナリ故ニ保險者ハ前ト同一ノ割合ヲ以テ延長ノ保險ヲ承諾セサル可

カラサルノ義務ナシ例ヘハ茲ニ東京ヨリ上海マテノ航期保險ヲ取結ヒタル後更ニ上海ヨリ新嘉坡マテノ航海ヲ延長セル場合ニ於テハ保險者ハ東京上海間ノ保險料ト同一ノ割合ヲ以テ上海新嘉坡間ノ延長航海ヲ保險セサル可カラサル理由ナシ何トナレハ海上危險ノ程度ハ前後同一ナル可キモノニ非サレハナリ次ニ第二種ノ保險契約ニ付テハ如何ト云フニ此契約ニ付テモ亦該規定ヲ適用スルコトヲ得ス何トナレハ同條ニハ第一ニ航海期間ヲ延長シタルトキハ云々トアリテ單ニ時期ヲ延長シタル場合ヲ規定セサレハナリ第二ニ危險ハ時期ニ因リテ其大小ノ程度ヲ異ニシ決シテ四季同一ナルモノニ非ス故ニ保險者ハ前契約ト同一ナル保險料ノ割合ヲ以テ保險契約ヲ取結ハサル可カラサル理由ナシ然ラハ我商法第九百六十二條ノ規定ハ僅カニ第三種ノ混同保險ニノミ適用シ得ルモノト云ハサル可カラス左レトモ是レ果シテ正鵠ヲ得タルモノナルヤ否ヤ大ニ疑ヲ抱カサルヲ得ス請フ試ニ之ヲ論セン抑モ航海ノ危險ハ前述ノ如ク時期ニ因リテ其程度ヲ同ウセス保險者カ保險契約ヲ取結ヒタルハ航海及時期ニ最モ重キヲ置キ自己ノ見ル所ニ因リテ保險料ヲ定メタルモノナリ然ルニ其時期既ニ經過シ目下危險甚

保險法 各種ノ保險 海上保險 保險料ノ増減

タ多キ時ニ際スルモ尙ホ前ト同一割合ノ保險料ヲ以テ保險契約ヲ取結ハサル可  
 カラストセハ保險者ハ大ニ迷惑ヲ被ムルモノト云ハサルヲ得ス草案起稿者ロエ  
 スレル氏ハ説明シテ言ヘラク元來保險者ハ縱令保險料ヲ増加スルモ自己ノ意思  
 ニ反シテ新ニ危險ヲ負擔スル義務ナキコト一般ノ原則ナリ然レトモ被保險者カ  
 全航海ノ危險ヲ引受ケタルトキハ保險者ハ同一ノ割合ヲ以テ更ニ危險ヲ擔保ス  
 ルノ義務アリト其意蓋シ或港ヨリ或港マテノ航海ヲ保險ニ付シタルトキニ於テ  
 當事者カ時期ヲ定メタルハ單ニ保險料ヲ算定セシカ爲メニ外ナラス然ルニ未ダ  
 航海ハ終了セサルニ疾ク既ニ其定メタル時期經過シタルトキハ其後ノ危險ニ付  
 キテモ尙ホ同一ノ割合ヲ以テ危險ヲ負擔スルノ義務アリト云フニ在ラシ若シ當  
 事者ノ意思果シテ起案者ノ想像スルカ如クナランニハ商法ノ規定ハ不當ニ非ス  
 然レトモ通常斯ノ如キ意思ヲ以テ契約ヲ締結スル者ナカル可ク又保險者カ斯ノ  
 如キ意思ナリシトハ推測スルコト能ハス何トナレハ保險者ハ危險カ航海及時期  
 ニ於テ制限セラレタルカ故ニ此點ニ着眼シテ保險契約ヲ取結ヒタルモノニシテ  
 無制限ノ責任ハ何人モ之ヲ負擔スル者ナケレハナリ起案者ノ意見ニ從フトキハ

下ノ如キ結果ヲ生セサルヲ得ス例ヘハ或期限ヲ定メテ此期限ハ夫ノ危險最モ多  
 キ時ト稱セラル、二百十日前ニ經過スルニ因リ低廉ノ保險料ヲ以テ保險契約ヲ  
 取結ヒタリトセンニ其期限經過スルモ航海終了セサルノ理由ニ因リ其最モ危險  
 多キ時期ニ至ルモ尙ホ同一割合ノ保險料ヲ以テ損失ヲ擔保セサル可カラサルニ  
 至ル可シ斯ル場合ニ於テハ當事者ノ意思ハ蓋シ前時期ヲ以テ契約締結ノ一要項  
 ト爲シタルコトハ毫モ疑ナ容ル可キモノニ非サルナリ由是觀之我商法ノ規定ハ  
 全ク其當ヲ得タルモノト謂フヲ得ス  
 次ニ商法第九百六十二條ノ末段ニ然レトモ其時期ヲ短縮スル場合ニ於テハ之ヲ  
 減スルコトヲ得ストアリ此規定ハ法理上其當ヲ得タルモノト信ス然レトモロエ  
 スレル氏ノ言ヘル如ク期合ハ單ニ保險料ノ割合ヲ定ムルノ標準ニ過キストセハ  
 期間ヲ短縮シタルトキモ亦同一ノ割合ヲ以テ保險料ヲ減ス可キヲ當然トス然ル  
 ニ我商法ハ期間ヲ延長シタルトキハ同一ノ割合ヲ以テ保險料ヲ増加シ期間ヲ減  
 縮スルトキハ之ヲ減スルコトヲ得スト爲スハ前後ノ規定相矛盾シ其趣旨ノ貫徹  
 セサル譏ヲ免レス惟フニ第九百六十二條ノ規定ハ宜シク一考ヲ費ス可キモノナ

委棄ノ性質

第七節 委棄

第一款 委棄ノ性質

委棄トハ被保險物ノ損害莫大ナル場合詳言セバ被保險物全損シタルカ又ハ全損ニ至ラサルモ之ヲ修繕スルニ多額ノ費用ヲ要シ若クハ修繕ヲ爲スノ途ナキ場合ニ於テ被保險者カ保險金額ノ全部ヲ受取ルノ條件ヲ以テ被保險物並ニ之ニ附着スル諸般ノ權利ヲ保險者ニ委付スル行爲ヲ云フ而シテ之ヲ行フニハ絶對ノ委付ヲ必要トシ被保險物ノ一部分又ハ其他ノ條件ヲ附シテ之ヲ委付スルコトヲ得ス即チ被保險物ノ全體ヲ無條件ニテ委付スルヲ必要トス

被保險物カ全ク破損シ最早從來ノ名稱ヲ付スルコトヲ得サルニ至ルトキハ保險法上之ヲ稱シテ實際上ノ全損ト云ヒ又被保險物ノ損害ハ全部ニ至ラスト雖モ之ヲ原狀ニ回復スルニハ非常ノ費用ヲ要シ或ハ之ヲ回復スルノ途ナキトキハ之ヲ法律上ノ全損ト云フ而シテ實際上ノ全損タルト法律上ノ全損タルトヲ論セス被保險者ハ被保險物ヲ保險者ニ委付シ以テ保險金額ヲ請求スルコトヲ得ヘシ

委棄ヲ爲シ得ヘキ場合

委付ノ權ハ素ヨリ被保險者ニ專屬ス從テ被保險者カ此權利ヲ實行スルト否トハ全ク其自由ニシテ保險者ヨリ強テ委付ヲ請求スルコトヲ得ス故ニ若シ被保險者カ被保險物ノ委棄ヲ欲セサルトキハ保險者ハ實際發生シタル損害ノミヲ賠償スル責任アリテ保險金金額ヲ支拂フ義務ナシ又我商法第九百六十五條ニ依レハ一旦爲シタル委棄ノ申込ハ之ヲ取消スコトヲ得サルカ如シト雖モ同第九百七十一條ニ依レハ保險者之ヲ承諾セサル間ハ何時ニテモ其申込ヲ取消スコトヲ得ルニ似タリ余ハ之ヲ取消スコトヲ得サル旨ヲ明カニスルノ必要ヲ認ムルモノナリ

第二款 委棄ヲ爲シ得ヘキ場合

被保險者カ被保險物ノ委棄ヲ爲シ得ル場合ハ實際上若クハ法律上全損ニ歸シタル場合ニ限ルコト前ニ一言シタル所ノ如シ尙ホ詳細ニ其場合ヲ舉クレハ左ノ如シ(商法第九百六十五條)

(第一) 船舶カ沈没シ破碎シ又ハ踪跡ヲ失ヒ又ハ使用ニ耐エサルトキ 沈没トハ船舶カ全ク海中ニ沈没シタルコトヲ云フ斯ル場合ニ於テハ船舶カ唯々沈没シタルノミニテ少シモ損害ヲ受ケサルコトアル可シト雖モ尙ホ保險法上之ヲ全

保險法 各種ノ保險 海上保險 委棄 委棄ノ性質 委棄ヲ爲シ得ヘキ場合

損ト看做スモノタリ何トナレハ船舶カ一タヒ海底ニ沈没スルトキハ之ヲ引揚

クルニハ非常ノ日數ト費用トヲ要スルヲ以テ通例ト爲セハナリ

破碎トハ船舶ヲ組織セル諸種ノ材料カ破滅シテ最早船舶ナル名稱ヲ附スルコ

トヲ得サル場合ヲ云フ是レ實際上全損ノ場合ナリ

踪跡ヲ失フトハ船舶カ其所在ヲ分明ニセス永ク音信ヲ絶テタル場合ヲ云フ此

場合ニ於テモ亦保險法ハ之ヲ全損ト看做セリ然レトモ船舶カ踪跡ヲ失ヒタリ

ト看做サル、ニハ左ノ二條件ヲ具備セサル可カラズ即チ

一、船舶カ保險契約ノ到達港ニ達セサルコト

二、船舶出航ノ時又ハ其船舶ニ付キ最後ノ通信アリタル時ヨリ沿岸航海ニ在

リテハ六個月其他ノ航海ニ在リテハ一年ヲ經過シタルコト

是ナリ此二條件ヲ具備スレハ船舶ハ失踪シタルモノト看做サル可シ而シテ其

船舶ハ保險者カ擔保シタル航海ニ向テ出帆シタルコトノ證明アルトキハ被保

險者ハ之ヲ保險者ニ委付スルコトヲ得ルモノトス故ニ例ヘハ横濱ヨリ上海マ

テノ航海ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ横濱ヲ出帆シタルハ上海ニ向テ航行ス

ルノ目的ナラサル可カラズ若シ他ノ到達港ニ向ヒ航行スルノ目的ナルトキハ

保險者ハ何等ノ責任ナキヲ以テ被保險物ノ委付ヲ受ク可キ義務ナシ然レトモ

此等ノ條件ヲ具備スル以上ハ委棄ヲ爲スコトヲ得ヘクシテ又縱令後日ニ至リ

其船舶カ再ヒ發見セラル、コトアルモ敢テ委棄ノ効力ニ影響ヲ及ホスモノニ

非ス佛國法律ニ依レハ失踪ヲ推定スルノ期限ヲ遠航ト近航トニ區別シ遠航ヲ

二個年近航ヲ一個年ト爲セリ然レトモ今日ノ如ク船舶ノ速力迅速ナルコト往

時ニ倍シ且ツ通信ノ便普ク開ケタル時代ニ在リテハ斯ル長日月ハ不必要ナル

ヲ以テ則チ我法律ハ前述ノ如ク之ヲ短縮セルモノナル可シ

有期保險即チ時期保險ニ於テハ果シテ船舶カ其期間ニ失踪シタルモノナルヤ